

第五十一回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案(政府提出)委員會會議錄(速記)第十二回

會議

大正十五年二月十八日(木曜日)午前
時三十三分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 加藤政之助君

理事 永田善三郎君

理事 吉津 度君

理事 岩切 重雄君

飯塚春太郎君 神部 爲藏君

太田信治郎君 工藤 鐵男君

奧村 千藏君 佐藤富十郎君

松本 眞平君 堀切善兵衛君

山本条太郎君 佐々木文一君

長田 桃藏君 星島 二郎君

山内 範造君 本多貞次郎君

沼田嘉一郎君 清水 長郷君

佐々木平次郎君 岡田 溫君

倉元 要一君

同月十六日委員森蠶洞君辭任ニ付其ノ

補闕トシテ同日來栖七郎君ヲ、今十八

日委員三好榮次郎君及堤康次郎君就レ

モ辭任ニ付其ノ補闕トシテ本日佐藤富

十郎君及阿由葉勝作君ヲ議長ニ於テ選

定セリ

出席政府委員左ノ如シ

外務政務次官男爵 矢吹 省三君

大藏政務次官 武内 作平君

大藏參與官 三木 武吉君

大藏省主稅局長 黑田 英雄君

大藏技師 矢部規矩治君

農林政務次官 小山 松壽君

商工政務次官 棚瀬軍之佐君

商工參與官 野村 嘉六君

商工省工務局長 宮内國太郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左

ノ如シ

農林技師 窪田 圓平君

商工技師 大山清一郎君

商工技師 平野 久保君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

○加藤委員長 ソレデハ一昨日ニ引續

イテ關稅定率法中改正法律案ノ委員會

ヲ開キマス、ソレデ第七類ハ既ニ終了

シタルデアリマスガ、長田君ガ一箇條

此際ニ質問シタイト云フコトデアリマ

スカラ、ソレヲ御許シヤウト思ヒマス、

御同意願ヒマス——長田君

○長田委員 二百五十六ノ漆ニ付テ伺

ヒタイデス、輸入額ガ十三年度ニハ二

百八十四萬圓アルノデアリマスガ、日

本ノ漆ハ今日ニ於テ最早改良指導ノ餘

地ガナイ狀態デアリマセウカ、今尙ホ

何處カ適當ナ地ニ於テハ改良指導ノ御

運ビニ農林省デナツテ居ルノデアリマ

セウカト云フダケヲ伺ッテ置キタイト

思ヒマス

○矢部政府委員 只今御尋ノ問題ニ付

キマシテハ、農林省カラ御答ヲスルノ

ガ適當デアルト思ヒマスガ、只今此處ニ

見エマセヌカラシテ、私カラ代ッテ御答

ヲ致シマス、只今御話ニナツタ二百八十

四萬圓ノ輸入ト云フモノガ十三年度ニ

於テゴザイマシタ、此額ハ段々殖エテ

參リマシテ、内地ノ漆ノ作付ト云フモ

ノモ減ッテ來タ、此調節ニ付テハ餘程考

ヘナケレバナラヌ、二百八十四萬圓ノ

輸入ニ依リマシテ内地ノ需要ヲ充シ、

尙ホ其製品ト云フモノガ外國ニ出テ、

ソレノ原料トモ相成ッテ居ル、之ヲ一概

ニ止メルト云フコトニナリマスルト、

製品ノ輸出ニ影響ガ及ンデ參リマス、

一方段々此内地ノ作付ヲ考ヘマシテ、

一層ノコト支那カラ自由ニ此漆ヲ仰グ

ヤウニ致シマシテ、内地ノ方ハ棄テル

方ガ宜カラウト云フ議論モゴザイマス

ケレドモ、段々研究致シマスルト云フ

ト、内地ノ漆ニハ一ツノ特色ガゴザイ

マスノデ、支那漆ノミデイカヌ所ハ、内

地ノ漆ヲ以テ補ハナケレバナラヌ、一

概ニ之ヲ廢滅ニ歸セシメルト云フコト

ハ宜シクナイト云フ所カラシテ、農

林省ニ於テモ相當考ヘラレテ居ルヤウ

デアリマス、今ノ所關稅ヲ以テ保護ス

ルト、漆器ノ事業ニ影響ヲ及ボシマス

ノデ、此漆ノ作付ニ對シマシテ、特別

ニ考ヘタル計畫ヲ以テ、増殖ヲ圖ッテ行

クト云フ風ニ致シテ居ルヤウデアリマ

ス、ソレハ山間ノ僻地ニ參リマスルト

云フト、畑地ト山トノ間ニマダ作付ヲ

スル土地ガ相當ニゴザイマスノデ、之

ヲ開發シテ植付ヲ獎勵シテ行クト云フ

方針デアリマスサウデアリマス、之ニ

依リマシテ内地ノ漆ノ作付ヲ増殖致シ

マシテ、關稅ノ保護ノ方法ニ依ラナイ

コトニ致シマシタ、ソレ故ニ此案ニゴ

ザイマス通り六圓八十錢ノ稅金ヲ其儘

据置イテ、漆ノ値段ヲ高メナイヤウニ

致シタ次第デゴザイマス

○長田委員 拜承致シマシタガ、此内

地ノ漆ガ林產物トシテ相當價值ノアリ

シ時代ガアッタニ拘ラズ、收支相償ハナ

イト云フ關係デ、續々此漆ヲ栽培スル

コトヲ中止シテ居ルヤウナ狀態デアリ

マスガ、農林省ハドノ方面ニドノ程度

ノ指導改良等ヲ行ッテ居ラレマスルカ、

農林省ノ政府委員ガ御出デニナリマシ

テカラデモ宜シウゴザイマスガ、御示

シ置キヲ願ッテ置キタウゴザイマス

○加藤委員長 ソレデハ今ノ長田君ニ

對スル答辯ハ農林省ノ政府委員ガ來テ

カラニ讓リマシテ、是カラ第八類ノ質

問ニ入リマス、山内君

○山内委員 第八類ノ二百七十二、綿

織絲ニ付テ御尋致シマス、此英式番手

二十四番ヲ超エザルモノニ五圓八十錢

ノ稅ガ掛ケテゴザイマス、ソレカラ其
次ギ以下番手ニ依テ稅率ガ上ッテ居リ
マス、是ハ皆現行ノ儘ニナッテ居リマ
ス、確カ此五十議會ニ於テモ綿絲ノ輸
入關稅ノ撤廢ノ建議案ガ出マシテ、サ
ウシテ滿場一致ヲ以テ議會ヲ通過致シ
テ居リマスニモ拘ラズ、矢張此關稅改
正ニ於カレマシテ現行率ヲ存置セラレ
テ居ル理由ヲ一應御同致シマス

○矢部政府委員 此問題ハ總テノ方面
カラ見マシテ、重大ナル問題デアリマ
ス、政府ニ於キマシテ調查會ニ於キマ
シテ慎重審議ヲ致シタヤウナ次第デゴ
ザイマス、御承知ノ如ク綿絲紡績ノ事
業ハ日本ノ産業中最モ大ナルモノデア
リマシテ、拂込資本額ガ四億内外デア
リマス、其鍾數ガ五百萬ヲ超ヘテ居ル
有様デアリマシテ、此製品ノ輸出額ガ
一億二千萬ニモ達シ、尙ホ綿布ト致
シマシテハ三億ヲ超ヘテ居ル有様ニ在
リマス、斯様ニ發達ヲ致シマシタ關係
カラ此關稅ヲ撤廢セヨト云フ議論ガゴ
ザイマシタ、前年議會ニ於キマシテ撤
廢ノ議ガ成立ッタト云フノモ、其發達ト
云フコトガ一つノ原因デアラウト考ヘ
テ居リマス、併ナガラ仔細ニ考ヘテ見
マス、支那ニ於ケル紡績事業即チ日本
ノ製品ガ輸出サレテ行ク先ノ事業ト云
フモノガ、近年ニ於キマシテハ成績ガ
宜シイ、殊ニ外人ノ經營ニ依リマシテ
成立ッテ居ル事業ハ段々成績ヲ擧ゲテ

行キマス、我國ノ當業者モ其方面ニ向
テ資本ヲ投ズルコトモ少クナイ、是ハ
洵ニ結構デアルト思ヒマス、是等ノ趨
勢カラ考ヘテ見マス、或ル程度迄分
業的ニ行フヤウニナルノガ宜シイ、徒
ニ競争ヲシテ行クノハ宜シクナイ、モ
ウ一つハ貿易ノ事務ニ關係ヲ致シマシ
テカラ日英間ノ貿易ヲ見マス、隨分
英吉利ノ品物ガ排斥サレツツアリマス
ガ、其上々々々先進國ガ進ンデ行ク有様
デ、支那ニ對シマシテモ、支那ノ文化支
那ノ事業ガ進ンデ參リマスレバ、其上
ニ進ンデ行カナケレバナラス、紡績ニ
於テモ支那ニ於テ太絲ガ發達致シマシ
テ、我國ニ於キマシテ細絲ヲ製造シナ
ケレバナラスト思ヒマス、現在ハ我國
ノ紡績事業ハ過渡ノ時代ニ在ルモノデ
ナイカ、太絲ニ於キマシテ成功ヲ致シ
テ居ル、マダ細絲ニ對シマシテハ
完全ノ域ニ達シテ居ラスト云フ有様デ
アリマス、又近頃ニ於キマシテ狀勢ガ
變ッテ參リマシタノハ華盛頓會議ノ事
情デゴザイマス、是ニ付テハ御承知デ
モゴザイマセウガ、支那ノ關稅ト云フ
モノガ五分デアル、其五分ト云フモノ
ニ付テハ收入ヲ得ラレヌ所カラ、支那
政府ハ收入ヲ殖サウト云フノガ一つノ
計畫デアリマス、一方ニ於キマシテ支
那ニ於テ釐金ヲ廢スルナラバ、一割二
分五厘迄ヲ許スト云フ條約ガゴザイマ
ス、若シ支那ノ計畫ガ成立ッナラバ一
割二分五厘迄參リマスガ、ソレヲ待タ

ズシテ華盛頓ニ於キマシテ、五分ノ半
額二分五厘ヲ取敢ズ増サウト云フコト
ニナリマシテ、現在支那ニ於ケル會議
ニ於キマシテ之ガ議セラレツツアリマ
スカラ、變化スルコトハ免レナイ、極ク
最低ニ決メラレマシテモ七分五厘迄紡
績絲ニ掛ケルコトハ明ニナッテ居リマ
ス、是等ヲ考ヘマス、我國ハ事業ガ發
達シテ支那方面ニ向ッテ輸出シテ行ク、
今ノ支那ニ於ケル會議ニ依リマシテ稅
率ガ決リマスドウ云フ影響ヲ受ケル
カ分ラヌノデアリマス、尙ホ此貿易表
ヲ御覽下サイマシテモ太絲ガ支那カラ
相當ニ輸入サレツツアル、又細絲モ他
ノ方面カラ相當ニ輸入サレツツアリマ
ス、斯様ノ狀態ニ在リマスノ今此關稅
ヲ撤廢致シマシテ、人工的ニ此形勢ヲ
促進スルコトニ致シマスレバ、我が紡
績業ハ急激ニ變化ヲ受ケルコトニナリ
マス、相當準備ガ出來ナイ中ニ變化ヲ
受ケルノデアリマスカラ、此事業ニ取
リマシテハ打撃ナラザルヲ得ナイ、勿
論政府ニ於キマシテモ是等ニ付テハ慎
重考ヘマシテ、國民ノ必需品デアル綿
布ノ消費稅ヲ廢スルト云フ位ニナッテ
居リマス、其方面ヲモ見テ此五分内外
ノ稅率ヲ置クト云フコトハ至當デアラ
ウト考ヘテ居リマス、尙ホ御尋ニ應ジ
マシテ御答致シマスガ、ソレダケ申上
ゲテ置キマス

○山内委員 細絲ノ方ハ内地需給ノ關
係上、内地ノ紡績業者デ日本ノ需要ダ
ケニ充ルヤウナ譯ニイカヌ、ソレカラ
普通細絲ト申シマスガ、此細絲ノ方ハ
是ハ贅澤ニ屬スル傾ガアルガ、是ハ矢
張大シタコトハナイモノデアリマセウ
カ、價格ナドヲ知リマセヌカラ其點ヲ
御伺シタイ、尙ホ政府委員カラ御答モ
ゴザイマシタヤウニ、一方ニ於テハ綿
織物ノ稅ヲ廢スル、斯ウ云フコトニナ
テ居ル、其趣旨カラ考ヘマシテモ此綿
絲ニ對スル輸入稅ヲ撤廢セラレナイト
云フコトハ、何等カ矛盾シテ居ルヤウ
ニ考ヘラルル、而シテ凡テ内地ノ紡績
業者ハ吾々ノ目カラ見マス、日本ノ
内地産業ノ中デモ最モ有利ナル事業ノヤ
ウニ見ラレテ居リマス、殊ニ會社ノ配
當利益ハ總テノ工場ニ優ッテ居ル有様
デアリマス、尙ホ是ヲシモ内地産業ノ
保護ノ側ニ於テ現行率ヲ存置シナケレ
バナラス、殊ニ五十議會ニ於ケル衆議
院ノ滿場一致ノ希望マデモ排斥シテ、
現行法ヲ存置シナケレバナラスト云フ
理由ガ甚ダ薄弱ノヤウデアリマスガ、
今一段詳細ナル御説明ヲ願ヒタイ

○宮内政府委員 山内君ノ御尋ニ御答
致シマス、我國ノ綿絲紡績業ハ既ニ著
シキ發達ヲ遂ゲテ居リマシテ、今日ニ
於テ關稅ヲ以テ之ヲ保護スルノ必要ハ
ナイノデアラウト云フ、斯様ナ御尋ト
拜承致シマシタ、我國ノ綿絲紡績業ハ
御話ノ如ク既ニ相當ノ發達ヲ遂ゲテ居
ルコトハ事實デゴザイマス、大日本紡
績聯合會加盟ノ五十一社ニ就テ見マシ

テ居ル事業ハ段々成績ヲ擧ゲテ

成立ッテ居ル事業ハ段々成績ヲ擧ゲテ

成立ッテ居ル事業ハ段々成績ヲ擧ゲテ

成立ッテ居ル事業ハ段々成績ヲ擧ゲテ

成立ッテ居ル事業ハ段々成績ヲ擧ゲテ

成立ッテ居ル事業ハ段々成績ヲ擧ゲテ

テモ、配當率ハ最高三割八分ノ好成绩ヲ擧ゲテ居ルモノモアルノデアリマスケレドモ、併ナガラ一面ニ於テ又缺點ヲ續ケテ居ルモノモ少ナクナイノデゴザイマス、而シテ總平均ハ拂込資本ニ對シテ二割二分ニ當テ居ルヤウデアリマス、頗ル有利ナルガ如ク考ヘラレマスケレドモ、其内容ヲ見マスレバ有力大會社ハ何レモ古イ歴史ヲ有シテ居ルノデアリマシテ、過去ニ於テ法外ナル好況時ニ際會致シマシテ、ソレヲ經過シタ時ニ於テ蓄積致シマシタ多額ノ積立金ヲ有シテ居リマス、又一面ニ於テハ十二分ニ固定資本ニ對シテ銷却致シテ居ルノデアリマス、若シ是等ノ準備ガゴザイマセズ、是等ノ事柄ガナカッタナラバ、今日ニ於テ斯ノ如キ好成绩ヲ續ケルコトハ出來ナイノデアリマス、ソレハ五十一社ニ付キマシテ表ガ出來テ居リマスガ、ソレデ御覽ニナレバ明瞭デアリマシテ、之ヲ平均致シマスルト即チ積立金ヲ合算致シマシテ、實資本ト致シマシテ計算致シマスト云フト、平均一割四分ニ當テ居リマス、而シテ優良社ガ五十一社ノ中十社アリマスガ、其十社ヲ除ク四十一社ノ平均ニ付テ見マスルト、甚シク低クナッテ居ルノデアリマシテ、拂込資本ニ對スル約一割ノ積立ヲ合セテ、實資本ニ對シテ約八分ノ利益ヲ示シテ居ルニ過ギナイデアリマス、又新シク設立サレマシタ十社、即チ大正七年以後ノ設立ニ係

ルモノニ付テ見マスルト、平均三分五厘ト云フヤウナ情勢ヲ示シテ居ルノデアリマス、斯様ナ狀態デアリマシテ現在ノ成績ヲ以テ見マスレバ、利益配當率ガ非常ニ高イモノガアルト云フコトハ疑ハゴザイマセヌケレドモ、之ヲ平均致シマシテ決シテ過當ノ利益ヲ擧ゲテ居ルト云フモノデハナイト信ズルノデアリマス、然ルニ斯様ナ有利ナ事業ニ對シテ撤廢シナイノハドウ云フ譯カト云フ御尋デアリマスガ、有利ナ事業トノミハ考ヘテ居リマモスト共ニ、私運刻致シマシテ前ノ政府委員ノ答辯ヲ聞キ漏ラシマシテゴザイマスガ、四圍ノ狀態ニ顧ミ、外國ニ於ケル需要ヲ顧ミマシテ、我ガ綿絲紡績業ハ綿業ノ根本デアアルト云フコトヲ考ヘテ、各般ノ事情ヲ考慮シマシテ此關稅ト云フ重大問題ヲ決定シナケレバナラスト思フノデアリマス、綿絲亡ビテ綿業獨リ盛ンナルト云フコトニハ往カヌノデアリマス、故ニ最モ利害關係ヲ有スル綿絲紡績業ハ四圍ノ狀態ノ推移ニ考ヘマシテ之ヲ斷ズベキデアリマシテ、輕ニ斷ジ得ルコトハ出來ナイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、殊ニ其研究ニ要スベキ項目ハ先程モ矢部政府委員ヨリ申上ゲタカト存ジマスガ、多數ニアリマス、今後ニ於テ其狀態ノ推移ヲ篤ト見ナケレバナラヌ、其意味ニ於テ之ヲ据置クト云フコトハ最モ妥當ナリト信ジ

テ居ルノデアリマス
○山内委員 能ク分リマシタガ、我國紡績業ノ發達ト共ニ一方又綿絲織物ノ發達、或ハ莫大トカ其他綿絲織物ノ發達モ非常ナ勢ヲ以テ發達シツツアルノデアリマス、輸出貿易ハ非常ニ盛ニナッテ居ル、之ヲ獎勵シテ國際貸借ノ一部ニ資スルト云フコトモ國策ノ一大要素デアラウ、或ル意味カラ申シマス、綿絲ハ殆ド所謂綿絲布業者、所謂産業ノ原料デアアルト看做シテモ宜シイ、況ヤ綿絲ハ内地ニ於テ下層階級ノ需要ト云フ社會政策ノ意味カラ申シマシテモ、斯ノ如キ稅率ハ此場合撤廢シテ詰リ昨年ノ議會ニ於テ滿場一致シテ決定致シマシタ趣旨ニ副ハレルト云フヤウナコトハ、最モ必要ナ時機デハナカラウカト思ヒマス、種々ノ御説明ニ依テ暫ク今ノ儘ニ、或ハ支那ノ關稅其他ノ狀況モ暫ク此儘ニ見ルト云フノガ妥當デアラウト云フヤウナ御説ノヤウニモ考ヘマスガ、今ノ現行率ガアツモ、綿織物ノ發達ハ可ナリニ進歩シツツアルノデアアルカラ、之ヲ撤廢セズシテモ、マダ獎勵宜シキヲ得バ發達ノ見込ガアル、斯ウ云フヤウナ御見解ノヤウデアリマス、今政府委員ヨリ御説明ニナリマシタ會社ノ配當率ノ上カラ申シマシテモマダ保護ノ必要ガアル、斯ウ云フ御説ノヤウデアリマスケレドモ、是ハ綿絲關稅撤廢ニ對シテ、織物業者ノ利益カラ見マスレバ、最近其配當

率ノ低イノハ、ソレハ御説ノ如ク大正七八年ノアノ好景氣時代ニ、或ル意味カラ今日カラ云フト非常ナ無謀ナ費用ノヤウデ、固定資本モ非常ニ大ナルモノヲ入レテ居ル、サウ云フヤウナアノ好景氣ヨリ經濟界ノ變態ニ處シテ出來タモノヲ援護スルト云フ意味ニ於テハ、ソレハ此位ノ關稅ノ擁護デハ迎モ回復ハ出來マイト思ヒマスガ、大體ニ於テ我ガ紡績業者ハ相當ニ儲カッテ居ルヤウニ感ジマス、又綿織物業者ノ陳情書等ヲ見テモ、總括的ニ當リ前ニヤリサヘスレバ紡績業者ハ相當ニ儲カリツツアル、斯ウ云フヤウナ意見ガ出テ居ル、要スルニ政府ハ一方ニハ綿織物ノ關稅ヲ撤廢シテ社會政策ヲ行フト云ヒ、サウシテ其他ノ産業ノ原料タルモノニハ皆大部分無稅ヲ關稅ヲ撤廢シツツアルニモ拘ラズ、綿絲ニ對シテハ五十議會ニモ滿場一致ヲ以テ決シテ居ルニモ拘ラズ、尙ホ存置スルト云フ御所見ニ對シテハ、今少シク適當ナ理由ガ存シテハ居ナイカト云フ感ジヲ持ツノデアリマス、併シ是レ以上ハ全ク意見ニナルノデスカラ、質問ハ此程度デ打切りマス
○飯塚委員 私モ綿織絲ニ付テ質疑ヲシテ見タイト思ヒマス、今前ノ質問者カラモアリマス通り、實ハ五十議會デ此綿織絲ノ關稅ヲ撤廢スルト云フコニ付テノ私ハ主張者ノ一人デアリマシテ、其關係カラシテ院議デ之ヲ無稅ト

シタニモ拘ラズ、ソレヲ尙ホ前年通り有稅トスルト云フコトニ付テハ、前ノ關稅上一言ノ質問ヲ致サナケレバナラスノデアリマス。カラ質問ヲ致シマス、此綿織絲ト云フ紡績工業ナルモノハ五十議會ノ時ニモ實ハ政府ニ向ッテ一々辯明致シマシタカラ、本日ハ其説明ハ省略スル積リデアリマスガ、私共日本ノ紡績業ト云フモノハ日本ノ工業トシテ一番進歩シタモノデアアル、是ハ基礎確實ナル工業ハ何カト申セバ此紡績工業ヲ措イテ他ニナイト思フ、能ク世間デハ紡績會社ハ二割五分ノ配當ガアル、五割ノ配當ガアルカラ之ヲ保護スル必要ガナイト云フ人モアリマシガ、配當ノ多イト云フコトモ基礎確實ナル工業ト見ル一ノ標準ニハナリマスケレドモ、吾ミノ見テ以テ紡績工業ハ基礎確實ナリト云フノハ配當ノ有無デハナイ、配當ガ如何ニアツテモ、又儲カッタカラト云ツテ基礎確實ト云フモノデハナイ、又放漫ノ經營ヲシテ居ルカラ、損ヲシテ居ルカラ基礎確實デナイトハ言ヘナイト思フ、故ニ儲カッタ儲カラナイト云フコトハ基礎ニ付テノ標準トスルコトハ出來ナイ、日本ノ紡績工業ガ果シテ基礎確實デアルヤ否ヤト云フコトヲ考ヘルノニハ、先ヅ之ニ對スル所ノ競爭者トノ工業ヲ比較シテ、他ノ國ノ工業ニ脅威サレルコトガナイナラバ、日本ニ取ッテ心配ガナイト見ナケレバナルマイト思フ、然ラバ今日ノ狀況ハドウデアアルカ、先ヅ太絲ニ付テ云フ

ナラバ、支那ガ日本ニ取ッテ第一ノ敵デアアル、是ハ表ヲ見テモ分リマスガ、太絲ニ付テハ支那ヲ措イテ他ニナイト思フ、英吉利カラモ、獨逸カラモ、亞米利加カラデモ來ル氣遣ナイコトハ明デアアル、唯同ジヤウナモノガ出來ルノハ支那デアリマス、支那ノ紡績業ト云フモノハ固ヨリ外國人ノ經營スルモノモアリマス、支那人ノ經營スルモノモ、日本人ノ經營シテ居ルモノモアル、併シ一番ノ強敵ハ矢張支那ニ於テ日本人ガ經營シテ居ル所ノ紡績業者ガ、日本ノ紡績業者ト對抗スル地位ニアルコトデアアル、是ハ專門家ノ調べデアツテ、政府ニ於テモ異論ノナイコトトガ思フ、若シ間違ッテ居ッタ間違ッテ居ルト御話ヲ願ヘバ宜イ、ドウシテ恐ロシイカト云ヘバ機械ノ設備ト云ヒ、工場ノ設備ト云ヒ、ソレハ大小ニ拘ラズ、決シテ日本ニ劣ラナイ、經營法ニ於テモ勿論日本人ニ劣ラナイ、又能率ニ於テモ支那ノ職工ハ或ハ能率ハ低イデアリマセウ、低イ代リニ賃銀ガ安イ、加フルニ日本人ガ經營監理シマスカラ、支那ニ於ケル紡績業ノ能率ト云フモノハ、日本人ノ經營シテ居ル所ノ紡績業デ一番擧ッテ居ル、ソレ故ニ昨年上海ニ於テ同盟罷工ガ起ッテ非常ナ問題ニナリマシタガ、其原因ハ何デアアルカト云フト、西洋人ガ經營シテ居ル所ノ紡績業カドウシテモ日本ノ紡績業ニ敵ハナイト云フ、其「エンビ」カラシテ支那人ヲ煽動シテ

アノ罷業ヲ起シタト云フコトハ、全ク日本ノ紡績業ガ能率ガ擧ッテ居ルト云フコトガ原因ニナツテ居ル、其位支那ノモノハ劣ッテ居リマス、デアアルカラ支那ノ紡績業ト日本紡績業ト比較シマスルト、少シモ支那ノモノハ恐ルルニ足ラナイ、ケレドモ先ヅ敵トスルノハ支那デアアル、併ナガラ職工モ能率ガ擧リ、監理テモ生産力ニ於テモ優ニ世界的デアアルト云フ所マデ行ッテ、初メテ基礎確實ナリト云ハレルノデアアルト思フ、決シテ儲カルカラ儲カラナイカラト云フコトハ標準トスベキデナイト思フ、從テ損ヲスルカラ基礎薄弱ナリトハ云ヘナイ此點カラ云ヘバ今日日本ノ紡績工業ハ基礎確實デアツテ、之ヲ保護スル必要ナシト認ムル工業デアルト云フコトハ明デアアル、經濟調査會ニ於テ專門家ガ集テ調査シタ所ノ經濟調査ニ見マシテモ、日本ニ於テ發達シタル工業ナリト認ムルモノハ紡績業ガ其一デアツタ、故ニ是ハ保護スル必要ナシトスル工業デアアル、併ナガラ尙ホソレデモ何カ保護スル必要アリヤ否ヤト、今度考ヘテ見ナケレバナラス、換言スレバ關稅ヲ取ツタ方ガ宜イカ惡イカト云フコトデアリマス、十分發達シテ居ッテモ此關稅ガナインナラバ、其發達シテ居ル所ノ工業ヲ脅威スルモノガアルカト云フコトヲ考ヘテ見ナケレバナラス、若シ脅威スルモノガアツタナラバ關稅ヲ撤廢スル必

要ハナイ、矢張置カナケレバナルマイト思フ、其見地カラシテ關稅ガアルナラバドレダケノ害ガアルト云フコトヲ研究シテ見ナケレバナラス、害ガナインナラバ——利益ガアルト云フコトデアアルナラバ是ハ撤廢シナケレバナラスト云フ結論ニナルト思フ、併ナガラ之ガアルナラバドレダケノ害ガアルカト云フコトヲ考ヘマスルト、一モ二モナイ、實際ニ於テ關稅ガナインナラバ支那カラ入ッテ來ルカト云フト、支那カラ入ッテ來ナイ、日本ノ品ガ向フヘ賣レルノハ向フノ支那ガ高イカラ賣レルノデハナイ、日本ノ品ガ安イカラ賣レルト云フノデモナイ、日本ノ太物ガ向フニ賣レルノハ全ク品質ガ違フ、品ガ違フカラ支那ヘ賣レル、品ガ安イカラ支那ヘ賣レルト云フノデハナイ、支那ニ於テ高イカラ賣レルノデハナイ、品質ガ違フ、デアリマスカラ關稅ガ若シナクトモ支那カラ日本ヘ入ッテ來ナイ、何トナレバ品質ガ違フ、又支那ノ品ガ安クハナイ、少クトモ價ハ同ジデアアル、ダカラ關稅ガ無クトモ支那ノ品物ガ入ッテ來ナイト云フ事ハ專門家ノ說ニ明デアアル、然ラバ關稅ガアルトドウナルカ、日本ノ現物ガ足りナイヤウニナルト、關稅ノ蔭ニ隱レテ日本ノ紡績業者ハ賣止ヲヤッタリ操業短縮ヲシテ相場ヲ吊上ゲルヤウナ事ヲスル、ソレガ爲ニ或ル時ハ逆轉ヲ生ジタ事モアル、其結果ハドウナルカト云フト、日本ノ綿絲ヲ使フ

織物業者ハ非常ニ不便ヲ感ズル、ソレガ爲ニ高イ原料ヲ買ハナケレバナラヌ、原ガ得ラレヌト云フ事ガ出來ル、是ハ當業者ノ爲ニ非常ニ不便ヲ困ルト云フコトハ事實デアル、是ガ關稅ガ無イナラバ、日本ニ若シ原料ガナケレバ、支那カラ入レルコトガ出來ル、又日本ノ原料ノ相場ガ高ケレバ支那ノ相場ト平均スルカラ、無暗ニ賣止或ハ操業短縮ナドヲシテ相場ヲ吊上ゲルコトガ出來ナイ、ソコデ初メテ日本ト支那ノ綿絲ノ相場ト云フモノガ共通ニナッテ、少クトモ綿絲ノ相場ト云フモノガ安定スルコトハ事實デアル、此理由ニ依テ關稅ト云フモノガアレバ綿業ノ爲ニ害ガアル、紡績業ノ爲ニハ利益デアルガ綿業ノ爲ニ害ニナル、之ヲ廢セバ原料ガ安定スルカラ綿業ノ爲ニ利益ニナルコトハ事實デアル、併シ内地ノ紡績業者ノ爲ニハ不利益ニナル、茲ニ利害ガ衝突スル譯デアル、ソコデ問題ハ何レヲ保護シタラ宜カラウカト云フ問題ニナルト思フ、綿業者ノ爲ニ關稅ヲ廢シタラ宜シイカ、紡績業者ノ爲ニ關稅ヲ置イタラ宜カラウカト云フ問題ニナル、ソコニ於テ私共ハ考ガ違フノデアリマス、紡績業ト云フモノハ基礎確實ナモノデアル、是ハ僅カノ關稅位デ保護シナクテモ一人歩キノ出來ル工業デアル、茲ニ至ッテ初メテ基礎確實ナリヤ否ヤヲ吟味スベキモノデアル、資本モ

十分デアル、積立金モアル、現ニ配當モシテ居ル位デアル、サウシテ永イ間ノ經驗ニ依テ經營法モ上手ニ出來テ居ル、會社モ大量生産デアル、少シ位ノ事デハビクトモシナイ工業デアルカラ、萬一ノ時ニ賣止或ハ賣惜ミヲシタリ、操業短縮ヲシテ相場ヲ吊上ゲルヤウナ事ヲ彼等ニサセル必要ガナイ、而シテ綿織物業者ハドウカト云フト、今モ御話ガアツタ通り、日本ノ貿易ノ國際貸借ヲ緩和スル非常ナ有力ナ輸出貿易デアル、此貿易ノ消長ハ日本ノ總テノ經濟ニ非常ナ關係ガアル、之ヲ大ニ獎メナケレバナルマイト思フ、絹織物其他ノ物ヨリハ綿織物ト云フモノハ非常ニ彈力ノアル工業品デアル、現ニ支那南洋、總テ日本ノ貿易ノ勢力範圍ニ於テ一番見込ノアルモノハ此綿織物デア

ル、恐ラク日本バカリデナク、世界列國ノ工業家ガ綿織物ヲ以テ自分ノ國際貸借ヲ緩和シヤウトシテ居ル、日本ハ幸ニ近ク支那、南洋ノ如キ、今後益綿織物ヲ使フ販路ヲ控ヘテ居ルノデアアルカラ、此綿織物ニ力ヲ入レルコトハ日本ノ國是デナケレバナラヌ、故ニ綿織業ノ爲ニ計ッテ、是ノ爲ニ少シデモ害ノアルモノハ之ヲ撤廢スルコト云フ政策ヲ執ラナケレバナラヌト思フ、而シテ綿織物業者ガ常ニ困難スルモノハ何カト云フト、原料ガ安定シナイト云フ事デア

ル、其原料ノ安定シナイ原因ハ何カト云フト此關稅ガアルカラデアル、故ニ日本ノ國是トシテ綿織物ヲ大ニ發達サセルト云フ見地カラ、原料ヲ安定スル爲ニ關稅ヲ撤廢シナケレバナラヌ、紡績業ハ既ニ基礎確實ナル工業デアルカラ、關稅撤廢ノ爲ニ其基礎ニ動搖ハ無イト云フ結論カラ、私共ハ是ガ撤廢ノ案ヲ出シタノデアアル、縱シ多少紡績業者ニ困難ガアルトシテモ——支那カラ入ッテ來ル爲ニ内地ノ紡績業者ガ困難スルト云フケレドモ、其支那カラ入ッテ來ル品ハ誰ノモノデアルカ、矢張日本

モノハドンナ物カト云フト——日本ノ紡績ハ今マデハ儲カル、儲カルカラ少シモ紡績業ト云フ方ニ貢獻シナイ、唯儲カリサヘスレバ宜イト云フ造方デア、是ガ儲カラナケレバ機屋ノ言フコ、モ聞クガ、大キイ紡績會社ヘ行ッテ斯ウ云フ物ヲ造ッテ吳レト云フテモ造ッテ吳レナイ、何十俵、何百俵ナラバ造ッテモ吳レルデセウガ、端下ノモノデハ造ラナイト斷ルノガ事實デア、ケレドモ特殊紡績ト云フモノハ日本ニ無イカト云フト——日本ノ紡績ナルモノハドンナモノカト云フト、例ヘバ百番デモ、八十番デモ、瓦斯燒モアレバ、瓦斯燒デナイモノモアル、右燃ハ有ルガ、左燃ガ無イ、織物ニハ右左燃ガナケレバナラヌノニ、日本ニ必要ノナイ物ニ付テハ綿縮ミヲ織ルヤウナモノデナイナラバ、後ハ右燃デア、又燃ノ數カラ云フテモ縱絲ト横絲トハ違ッテ居ルガ、日本ノ縦絲ニモ付カズ、横絲ニモ付カナイ合ノ子ヲ使ッテ、是ヨリシカ無イカラト云フノデ之ヲ使ッテ居ルガ、英吉利アタリヘ行ッテ紡績絲ヲ買ハウト思フト色ミナ變リ絲ガアル、然ルニ日本デハ一定ノ物ヨリナイト云フノデア、カハ織物ハ進歩シナイ、デア、カラ此特殊紡績ト云フモノヲ發達サセナケレバ日本ノ綿織物ハ發達シナイ、是ガ發達シナケレバ綿ノ貿易ト云フモノハ止ッテシマウコトニナル、故ニ紡績業ト云フモノヲ督勵シテ特殊紡績ト云フモノ

ヲ拵ヘサセテ、サウシテ「マンチエスタ」グロ「ゾ」ヲ拵ヘテ、東洋ニ於テ歐羅巴ノ先進國ト爭ハナケレバナラヌト云フコトガ、商工省アタリノ政策トシテ最モ努メナケレバナラヌ管デア、其特殊紡績ヲ拵ヘテ吳レト云フコトハ無理デア、一俵カニ俵拵ヘテ吳レト云フコトヲ大キイ紡績會社ニ向ッテ注文シタ所デ、拵ヘナイノハ無理ハナイ、ソコ原料ヲ入レテ試驗ヲシナケレバナラヌ、サウ云フ特殊紡績ニ付テハ特ニ便宜ヲ圖ッテ試驗ヲサセテ、近キ將來ニ於テ高等綿布ヲ海外ニ於テ「マンチエスタ」グロ「ゾ」ト競争シナケレバナラヌト云フ一ツノ見識、方法ガナケレバナラヌ、其政策ハ此處ニハアリマセヌ、何處ニ在リマス、ケレドモ商工省デハ現ニ數年來綿織物試驗場ト云フモノヲ設立シ、ソレニ何億トカ、何十萬トカ云フ大變ナ金ヲ掛ケテ、試驗場ヲ建テタイト云フ希望ガアッテ、ソレニ對シテハ常ニ内部ニ於テ主張シテ來タコトヲ私ハ聞イテ居ル、私共カラ見テモ必要ダト思フ、何ノ爲ニ綿織物試驗場ヲ拵ヘルカト云フト、所謂特殊紡績——日本ニ在ル絲デハ仕方ガナイカラ特殊ノ絲ヲ入レテ、高等綿布ヲ試驗シテ、サウシテ新シイ商品ヲ造ラウトノ趣意カラ出デマシタニ相違ナイ、果シテサウデア、ナラバ特殊紡績バカリデナク、其染色、仕上ゲ等ニ付テモ大ニ研究シナケレバ

ナラヌト云フコトモ知ッテ居ナケレバナラヌ、ソレマデハ此特殊紡績ト云フモノノ輸入ヲ自由ニサセルト云フコトガ必要デア、一俵デモ二俵デモ當業者ニ於テ輸入スルト云フ政策ヲ採ラナケレバナラヌ、又當業者ニ試驗ヲサセテ此特殊紡績ニ依テ斯ウ云フ商品ガ出來タ、ソレデモ二十俵モ三十俵モ此絲ガ入用ダト云フコトニナルナラバ、今度ハ紡績業者ハ必要デア、カラ二十俵、三十俵ナラバ私ガ拵ヘマセウト云フノデ出來テ來ル、ソレデ拵ヘテ來タ時ニ特殊紡績ヲ保護スル、サウシテソレニ向ッテ若シ經濟ガ合ハヌト云フナラバ機械モ換ヘナケレバナラヌ、技師モ更ヘナケレバナラヌ、サウ云フ必要ガアルナラバ其時ニ初メテ關稅ヲ掛ケテ保護スル必要ガアル、今日ハ特殊紡績ニ付テハ極ク原始時代デア、カラ、之ヲ自由ニシテ内地ノ紡績業ヲ刺戟スル時代デア、稍出來上ッタ時ニ保護シナケレバアル、故ニ私共ハ此點カラ見テモ特殊紡績ト云フモノハ今日十分デナイ、原始時代デア、カラ、之ヲ無稅ニシナケレバナラヌ、所謂從來ノモノハ基礎デア、カラ免稅シナケレバナラヌ、即チ輸入ヲ自由ニシテ之ヲ内地ニ於テ獎勵シナケレバナラヌ、斯ウ云フ考デ總テノ細物、太物等ニ付テ關稅ヲ撤廢シナケレバナラヌト思ヒマス、從來ノ太物ニ付テノ撤廢ノ議論ト特殊ノ物ニ付テノ撤廢トハ其議論ガ違フ、ソレデ五十

議會デハ此事ヲ言ッタノデア、今段ニ御話ヲ聞キマス、支那ノ關稅ガ或ハドウデア、アルトカ、ドウナルカ分ラヌト云フコトハ、是ハ私ハ大變間違ッタコトデハナイカト思フ、何故カト云フト、若シ現在ノ儘ニ於テ之ヲ撤廢スル必要ガアルナラバ之ヲ撤廢シテ可ナリ、又今日ノ場合ニ於テ保護シナケレバナラヌト云フノナラバ保護シナケレバナラヌ、若シ先ニ行ッテドウナルカト云フヤウナコト迄モ考ヘテスルナラバ紡績業ノ爲ニ先ノコトヲ考ヘテヤルナラバ、綿織物業者ノ爲ニ考ヘテヤルナケレバナラヌ、綿織物業者ハ今ガ困ッテ居ルト云フヤウナ譯デアリマス、之ヲ保護スル必要ガアルト云フコトデア、アルナラバ、先ヅ此方面ノ改善ヲシナケレバナラヌト思フ、殊ニ今回調査委員會ヲ置イテ必要ガアルナラバ年々デモ改正スルト云フ狀況ニナッテ來タナラバ變ヘテモ差支ナイデハナイカ、今日ノ場合ニ紡績業者ノ爲ニ考慮シテ据置クト云フナラバソレデモ宜イガ、綿織物業者ノコトヲ考慮シテ之ヲ撤廢スルト云フコトガ必要デア、アルト云フノ底のノ意見ヲ主張シタノデ、今日モ尙ホ同様デアリマス、斯様ナ理由ニ依テ五十議會ニ於テハ法律案迄モ議決シタ所ノモノデア、成程御説明ノ通りニ据置クマ云フコトニ付テハ外ニ理由ガ

ナケレバナラヌト考ヘマスカラ、之ヲ私ハ承リタイト思ッテ居リマス、只今モ山内君カラ其説明ヲ求メタコトモ同ジデアリマスガ、其儘成行ヲ見ルト云フコトデアレバ甚ダ不徹底ナコトデアルト思フ、私ハ何所マデモ今ノ答辯ヲ聽イテ見タイ、ソレ以上ニ何カアルナラバ宜シ、無イナラバ私ハ五十議會ニ於テ徹底的ニ主張シタコトガアルノデアリマスカラ此關係上尙ホ質問ヲ致サナケレバナラヌト思フノデアリマス、併シ前ノ御説明ト全部同ジデアルナラバ宜シイガ、別ノ御考ガ御有リニナルナラバドウカ御答辯ヲ願ヒタイ

○宮内府委員 只今斯道ニ造詣深キ飯塚君ヨリ致シマシテ詳細ナル御説ガゴザイマシタ、大體ニ於キマシテハ御意見モ大分混ッテ居ルヤウデアリマスガ、併シ之ヲ据置クト云フ理由ニ付キマシテハ、今日之ヲ申上ゲル必要ハナイト存ズルノデアリマス、只今紡績業者ノ基礎確實ナリト云フヤウナコトハ、資本トカ、積立金トカ、サウ云フコトヲ目的ニ置イタノデハナイノデアアル、日本ハ既ニ五百二十四萬鍾ノ鍾數ヲ持ッテ居リマシテ、外國ニモ二十萬鍾モ出シテ居ル、斯様ナ狀態デアルカラシテ、此狀態ヲ以テスレバ紡績業ト云フモノハ非常ニ發達セネバナラヌト云フ御説デゴザイマス、成程其通りデゴザイマス非常ニ澤山ノ生産ヲ致シマシテ出シテハ居ルノデアリマスガ、併ナ

ガラ先程申上ゲタヤウニ會社ノ内情ニ於キマシテハ各種各様ニナッテ居リマシテ、配當ノ如キモ極ク配當率ノ少イノモアルノデアリマシテ、今日ニ於テ必ズシキ全般ニ於テ會社ガ安固ナル基礎ヲ持ッテ居ルト云フコトハ私共認メテ居ラヌノデアリマス、又次ニ之ヲ撤廢スレバ支那カラシテ支那絲ガ澎湃トシテ這入ッテ來ルカラト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、ソレハ御話ノ通りニ私共ニ於キマシテモ、支那關稅ヲ撤廢シタ曉ニ於テハ支那ヨリ澎湃トシテ、之ガ這入ッテ來ルト云フコトハ認メテ居ラヌノデアリマセヌ、私ハ其點ニ於テハ矢張御同感デゴザイマス、然ラバ斯様ナ狀態ニ於テ内外共ニ既ニ強固ナル基礎ヲ持ッテ居ルノデアルカラ、之ヲ撤廢シタ所デ何等不安ハナイノデヤナイカト云フ結論ニ到達シマスガ、實ハ左様ニ參ッテ居ラヌノデアリマス、何トナレバ是ハ私共カラ申上ゲル必要モナイノデゴザイマスケレドモ、色々内部ノ事情ヲ見マスト云フト工場法施行法ノ三年目ニ於テハ深夜業ノ廢止ニナルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、此深夜業ヲ廢止スルト云フコトニナリマスレバ、時間ノ上ニ於キマシテ四分ノ一——四分ノ一ト云フコトハ或ハ二交替ヲ取ルカ、三交替ヲ取ルカソレニ依テ我國ノ紡績ノ生産ノ上ニ影響ヲ及ボスト云フコトニナルノデゴザイマシテ、是ハ紡績業者ニ取りマシテ

一面ニ於テ非常ニ考慮スベキコト考ヘルノデゴザイマス、大體ニ於キマシテハ我が紡績業ハ今日ニ於テハ其利益ヲ割イテ、而シテ是ガ擴張、新設ニ努力シヤウト考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、其點ニ於キマシテハ紡績業者ト致シマシテハ非常ニ深憂ヲ懷イテ居ルノデゴザイマス、又一面ニ於キマシテハ先程來度ニ申上ゲタヤウニ、支那ニ於テハ關稅ガ改正ニナルノデアリマシテ、斯様ニナッテ參リマスト云フト、我國ニ於キマシテ將來支那ヘ輸出ヲスルト云フコトニ付キマシテモ、綿絲布共ニ餘程考慮ヲ要スベキコトニナルノデアリマス、又印度方面ニ於テ既ニ綿絲布ニ付テハ餘程ノ困難ガ起ッテ居ルノデアリマシテ、之ニ付キマシテモ我が紡績業ノ問題ニ對シテ餘程ノ考慮ヲ要スベキコトニナルノデゴザイマス、或ハ支那ニ於キマシテモ法權回復ノ問題モゴザイマス、或ハ支那ニ於キマシテ政治情ノ安定、ソレ等ノ事カラ考ヘテ見マスト云フト、我が紡績業ハ今日晏如トシテ居ル譯ニ參ラヌト存ズルノデアリマス、殊ニ又其紡績ノ内容カラ見テシマシテモ、細絲、太絲——是ハ昔ノ區別デアルト云フ御話デゴザイマスガ、太絲ニ付キマシテハ今日餘程進歩ヲシテ居ルノデゴザイマス、太絲ト申シマスレバ、太絲ニ於キマシテ幾多ノ難關ニ出會ッテ居ルノデアリマスガ、將來ニ於キマシテ

ハ飯塚君等ノ御話ノ通り、「マンチエスタ・グーヅ」ニ對抗スベク、漸次ニ細物ニ轉換スルト云フ氣運ニ向ハナケレバナラヌ、斯様ナ内容ノ方カラ見マシテモ餘程努力致シマシテ、之ニ轉換セシムベク用意ト決心ガナケレバナラヌ、斯様ナ時機ニ際會ヲ致シテ居リマシテ、サウシテ假ニ之ヲ撤廢スルト致シマシテ、而シテ其效果ガ如何程ノ效果ガゴザイマセウカ、飯塚君ハ之ヲ撤廢スルト云フコトハ利益ガアル、其效果ヲ考ヘテ見レバ利益ガアッテ害ガナイト云フ御説デアリマスケレドモ、私共ハ左様ニマダ斷定ヲスルコトガ出來ナイノデアリマス、之ヲ撤廢致シマシテ如何程ノ利益ガアルカ、支那ニ於キマシテ支那絲ガ澎湃トシテ這入ッテ來ル、澎湃トシテ這入ッテ參リマセヌデモ、我國ニ於テ綿絲ガ安イ時分ニモ常時安定シテ支那ノ綿絲ヲ入レルコトガ出來ルト云フ、永久的ニサウ云フヤウナ平常的ニ安定ヲ望ミ得ラレルモノナラバ非常ニ宜シイカモ知レマセヌ、併ナガラ今日ニ於キマシテハ先程飯塚君モ屢御述ニナリマシタ通り、既ニ支那絲ノ進歩ニ於キマシテモ——支那四億ノ人口ニ對シテ三百餘萬ノ鍾數シカゴザイマセヌノデ、是ガ支那ニ於テ供給ガ餘リアルト云フコトハ到底申スコトハ出來ナイノデゴザイマス、此情勢カラ申シマシテモ此支那絲ガ常時ニ這入ッテ來ルト云フコトハ、是ハ到底今日ノ

現狀ヲ以テ致シマシテモ望ムコトガ來
ナイノデハナイカト考ヘルノデゴザイ
マス、斯様ナ不安ナル基礎ノ下ニ於キ
マシテ、而シテ支那絲ガ這入ッテ來ル
云フ、而シテ我國ノ市價ヲ調節スル
云フヤウナ事ニ望ミ繋ギマシテ、之ヲ撤
廢スルト云フコトハマダ尙早デアルト
存ズルノデゴザイマス、然ラバ撤廢シ
テ如何ナル害ガアルカ、斯様ニ申セバ
今日ニ於キマシテ支那絲ハ這入ッテ參
リマセヌ、サウ這入ッテ參リマセヌノデ
ゴザイマス、震災ノ時ニ一時五千相位
這入リマシタヤウナ狀態デゴザイマス
ル、今ハ是ガ這入ッテ參リマセヌケレド
モ、併ナガラ若シ關稅ヲ撤廢スルト云
フコトニナリマスナラバ、所謂相場ノ
變動ニ依リマシテ、所謂銀ノ賣買ヲ致
シマシテサウシテ其變動ニ依テ、徒ニ
我が高イ時ニノミ我國ニ之ヲ供給スル
ト云フヤウナ、不安ナ狀態ヲ與ヘルノ
ミデアッテ、少シモ安定スルコトハ出來
ナイト思フ、之ニ依リマシテ——斯様
ニ不安ナル支那ノ綿絲ヲ基礎ト致シテ
我國ノ事業ガ立ッテ行クト云フコトハ、
今日ニ於テ想像スルコトガ出來ナイノ
デアリマス、支那絲ヲ永久ノモノト考
ヘテ、ソレニ依テ我が綿織物業者ガ綿
業立國ヲ策セントスル今日ノ狀態ニ於
テ出來ナイコトト考ヘルノデアリマ
ス、此點カラ考ヘマスレバ關稅ヲ撤廢
スルコトハ徒ニ不安ヲ與ヘルノミデ
アッテ、實益ハ何等無イカノヤウニ考ヘ

ラレマス、斯様ニ一面ニ於キマシテ内地
ノ紡績業者ハ非常ナ決心ヲ要スル時機
ニ際會シテ居リマス、之ヲ撤廢シタ所
ガ支那絲ガ當時入ッテ來ルトハ考ヘレ
マセヌ、却テ我が綿絲ニ不安ノ影響ヲ
與ヘマス、綿絲ガ不安ナレバ之ヲ基礎
トスル綿業モ不安ヲ免レナイト云フコ
トニナル、此點ニ付テハ全體ノ成行ヲ
能ク見マシテ、徐ロニ其對策ヲ講ズル
コトガ國家トシテ大切ナ事デアラウト
考ヘルノデアリマス、關稅ガ有ルカラ
紡績業者ガ跋扈スル、是ハ所謂操業短
縮ノ事ヲ御考ニナッテ居ルコトト拜承
致シマスガ、併シ操業短縮ト云フコト
ハ關稅ノ有ル無シニ拘ラズ實ハ有リ得
ベキ經濟上ノ現象ダラウト考ヘテ居リ
マス、操業短縮ト云フ言葉ハ惡ウゴザ
イマスガ、綿絲業ガ非常ニ不安デアリ
マシテ需用ガ無イ、滯貨ガアルト云フ
場合ニ於テ自ラ操業ヲ短縮スルコトハ
是ハ一面ニ於テ仕方ガナイコトデアラ
ウト考ヘル、唯其際ニ於テ多數ノ者ガ
少數ノ者ヲ壓迫シテ操業短縮ニ加ハラ
セルト云フヤウナコトガゴザイマスレ
バ、ソレハイケマセヌケレドモ、併ナガ
ラ左様ナ狀態ハ今後ニ於テハ容易ニ行
ハルベキコトデハナイト考ヘル、何故
ナラバ多數ノ利害關係ヲ異ニシテ居ル
會社ガ寄りマシテ、斯様ナ不況ナ時代
ニ於テ操業ヲ短縮スルト云フヤウナコ
トハ、衆人環視ノ間ニ於テ容易ニ行ハ
ルベキコトデハナイト考ヘマス、ノミ

ナラズサウ云フ場合ニ於キマノテハ綿
絲バカリデナク、綿業モ不況ノ時代デ
アリマス、斯様ナ場合ニ於キマシテ綿
絲業者、綿業者ガ自ラ一定ノ限度ニ於テ
安定ヲ圖ルト云フコトハ、餘リ非難ス
ベキコトデハナイト考ヘテ居リマス、
關稅ガ若シ無カタナラバ支那カラ非
常ニ安イ絲ガ入ッテ來ルト云フ御話ガ
アリマシタガ(「ソナナ事ハ言ヒマセヌ」
ト呼フ者アリ)——其次ニ特殊綿絲ノ
御話ガゴザイマシタ、特殊綿絲ニ付キマ
シテハ私共モ御趣旨ニハ御同感デゴザ
イマス、併ナガラ特稅綿絲ト云フモノ
ヲ區別スルコトガ技術上困難デアリマ
シテ、此特殊綿絲ヲ一ツ抜イテ、稅表ノ
上ニ考慮スルト云フコトガ困難デア
コトガ一ツ、尙ホ一ツ特殊綿絲ニ付テ
ハ今日既ニ研究ヲサレ、造ッテ居ルモ
モアルノデゴザイマス、其方面モ考ヘ
ナケレバナラヌト云フコトカラ致シマ
シテ、之ヲ今日ハ据置イタノデゴザイ
マス、商工省ニ於テ綿業試驗場ニ就テ
考ヘテ居ルト云フノハ全ク其點デゴザ
イマス、併シマダ今日ニ於テハ之ヲ撤
廢スル時期ニ達シテ居ラヌト考ヘテ居
リマス

○飯塚委員 關稅ガ撤廢サレタカラト
云ッテ支那カラ綿絲ガ入ルトハ思ヒマセ
ヌガ、唯相場ガ一緒ニナルト云フコト
ダケハ分ッテ居ル、故ニ私ハ政府ガ紡績
業者ノ爲ニ圖ッテ忠ナルモノデアルケ
レドモ、紡績業者ヲ何ノ爲ニ保護スル
カト云ヘバ、要スルニ時ニ依テ違ヒマ
スケレドモ、今日基礎確實ナモノデモ、
モット先ヘ行ッテ損ヲスルコトモアルカ
モ知レヌ、ソレヲ親ガ子ノ思フヤウニ
先ノ事マデ心配サレルモノハ甚ダ謀ッ
テ忠ナルコトガ過ギルト思フ、今日ハ
技術ニ於テ經營法ニ於テ總テノ點ニ於
テ何等恐レル所ハナイ、日本ノ紡績業
者ハ支那マデ行ッテ西洋人ヲ凌駕シテ
ヤッテ居ル、之ヲ危ナイ——ト云ッテ何
時マデ保護スル考カ、保護關稅ト云フ
モノハサウ云フ趣旨デハナイ、鐘紡ト
雖モ放漫ナコトヲヤレバ損ヲスルノハ
當リ前デアアル、一生懸命ヤッテ出來ル程
度ニナレバ宜シイ、關稅ノ陰ニ隱レテ
賣止メヲスル、操業短縮ヲスルト云フ
コトハ事實デアアル、操業短縮モ自己ノ
爲ニ勝手ニヤルノハ宜シイケレドモ、
結束シテ操業短縮ヲヤッテ日本ノ貿易
ヲ阻害スルト云フコトハ惡イ事デア
ル、之ヲ防グニハ關稅ヲ撤廢スルヨリ
仕方ガナイ、關稅ガ無クナッテモ支那カ
ラ來ルコトハナイ、矢張日本カラ向フ
ヘ賣レル、ソレハ同ジ番手デモ性質ガ
違フカラ向フヘ賣レルノデアアル、決シ
テ關稅ガ有ルカラ向フカラ入ッテ來ナ
イ、關稅ガ無ケレバ向フカラ入ッテ來ル
ト云フコトハナイ、唯關稅ガ有ルト同
ジ物ガ關稅ノ陰ニ隱レテヤル爲ニ逆鞘
ガ出ルト云フコトガ事實アル、サウス
ルト土臺ガ安定シナイト綿織物業者ガ安
定ヲシナイ、關稅ノ陰ニ隱レテ賣止メ

ヲシタリ値上ダラスルト云フト、綿絲
ガ安定シナイコトニナル、サウスルト
綿織物業者ガ安定シナイ、隨テ輸出貿
易ガ安定シナイト云フコトニナル、安
定シナイト云フ言葉ノ意味が大變違ッ
テ居ルト思ヒマス、併シ是ハ意見デス
カラ能ク御考ヲ願ハナケレバナラス、
故ニ此立場カラ云ヒマスナラバ、全ク
日本ト支那ノ紡績業ノ現狀ハ、經營ノ
方法能率ノ點カラ云ッテ何等日本ト支
那ト共通ニシテ置ク方ガ一般綿業ノ爲
ニモ亦紡績業者ノ爲ニモ差支ナイ、斯
ウ考ヘテ居リマスカラ、是ハ意見ノ相
違デ仕方アリマセヌガ、今一ツ先キニ
申シタ細絲、太絲ト云フヤウナ事、今日
特殊紡績、日本ニ在ル所ノ紡績會社ハ
金ヲ使ヒ澤山ノ職工ヲ使ッテ、エライモ
ノノヤウニ言ッテ居ルガ、英吉別ヤ其他
ノ紡績ニ比シテドノ位幼稚ダカ知レナ
イ、唯金ヲ儲ケルコトガ上手デ、棉花
ノ買方、船ノ關係ノ色ミナ事デ以テ紡
績業者ト云フモノハ非常ニ金ヲ儲ケ
ル、サウシテ紡績業ニ貢獻シテ居ルト
云フケレドモ、併シ織物業者ノ方カラ
言フト、日本ノ紡績ト云フモノハ、今日
ノ所謂「マンチエスタ」、グーズ」ヲ製
造シテ居ル者ニ比シテ日本ノ紡績ナド
ト云フモノハチットモ何モ出來テ居ナ
イト云ッテ宜イ、今マデアル所ノ「シー
チング」「シャーチング」ナドニ付テハ
結構デアリマスガ、今後日本ノ綿織物
ノ紡績ト云フモノハ「マンチエスタ」

グーズ」ト競争シナケレバナラスガ、日
本ノ綿紡績ハ進歩ハナイ、之ガ頂上デ、
爲替ノ關係デ是マデ行ッテ居ルガ、今後
進歩ハナイ、是カラハ別ナ方面ニ向カ
ハナケレバナラス、其紡績ノ原料ト云
フモノハ日本ニナイノデアル、現ニ商
工省ガ綿織物試験場ト云フモノニ澤山
ノ金ヲ要求シテ、試験場ヲ設立シタイ
ト内部ニ於テ議ノアルノハソレデア
ル、原料ガナイ、ソレデ當業者モ其原料
ヲ仕入レテ、新ナル所ノ商品ヲ作ラウ
トシテ非常ニ苦心シテ居ル、ソレニ特
殊綿絲ト云フモノニ税金ヲ掛ケテドウ
シテ日本ノ綿紡績ト云フモノニ進歩ノ
シヤウガナイ、ソレデチットモ拵ヘヤウ
トシナイ、拵ヘテモ儲ラナイカラ拵ヘ
ナイ、私ニハソナ詰ラナイ、僅ナモノ
ヲ拵ヘル餘地ガナイト言ッテ突放シテ
置イテ、日本ノ工業綿織物ノ爲ニハ少
シモ考ヘテ居ナイ、之ヲドウシタナラ
バ日本ノ紡績業ヲ發達サセルコトガ出
來ルカト云フニ、此際特殊紡績ト云フヤ
ウナモノ、僅カ半相デモ——一俵デモ二
俵デモ必要ニ應ジテ、有ル所カラ自由ニ
仕入レテ、サウシテ試験ヲサシタガ宜
イ、現ニ商工省ハソレヲ入レテ試験シ
ヤウト云フ考デアルカラ、ソレニ便宜
ヲ與ヘナイト云フコトハ云ヘナイ、ソ
レニ税金ヲ掛ケルト云フケレドモ、自
由ニ入レテ試験ヲサセナケレバナラス
事情ガアル、而モ政府ニ於テ相當ノ學
者ガアリ、技師ガアリ、此品ガ日本ニ無

イモノダト云フコトノ區別ハ現物ニ付
テ分ルカラ、特殊ノ紡績ト云フモノヲ
無稅デ入レテ獎勵シナケレバナラス、
サウシテ特殊紡績ヲ使ッタモノノガドン
ノ出來ルト、利ニ銳イ當業者ハドウ
モ今ノ機械ハ全部變ヘナケレバナラ
ス、是非保護シテ貫ヒタイト云フ時ニ、
税金ノ何割掛ケルト云フコトニスル、
是ハ實ニ「デリケート」ナモノデ、斯ウ
云フコトハ商工省ノ技師ノ諸君ハ能ク
分ッテ居ル事デアリマス、又此特殊紡績
ノ區別ガ分ラナイヤウナ技術者學者ハ
免職ダ、若シモ分ルナラバソコノ所ヲ
聞キタイ、自由ニ特殊ノ例ヲ開イテモ
免稅シテ入レルト云フコトガ綿織物獎
勵ノ爲ニ必要デハナイカ、紡績業ヲ刺
戟スル爲ニ無稅デ入レル考ガアリヤ否
ヤト云フコトヲ承リタイ

○宮内政府委員 其區別ガ困難デゴザ
イマスルノデ、若シ區別スルモノガ參
リマシタナラバ、其時ノ生産ノ狀態ナ
リ、消費ノ狀態ナリ、各方面ノコトヲ考
ヘテ考慮シタイト思ヒマス

○永田委員 私ハ先ニ綿絲關稅ノ撤廢
ヲ論ジマシタ際政府委員トシテ、午後
黒田サンノ御出席ヲ願ヒタイト思ヒマ
スガ、委員長カラ御相談ヲ願ヒマス

○加藤委員長 ドウゾ黒田君ノ出席ヲ
大藏當局ニ要求シマス

○長田委員 二百五十六ノ漆デゴザイ
マスガ、之ニ對スル稅率ハ同一デアッ
テ、輸入額ハ二百八十四萬圓ト云フ事

ニナッテ居ルノデアリマスガ、殊ニ漆器
ハ日本ノ重要ナル產物トナッテ居ルノ
デ、而モ日本漆ノ吾々ノ知ッテ居ル範圍
デハ植林ノ狀態ガ年々減ッテ參ルヤウ
ナ感ガ致シテ居ルノデアリマス、此重
要ナ產物ヲ廢亡ニ歸スル儘ニ放擲サレ
ルノデアリマスガ、林產物當局ニ伺ッテ
見ルト、目下漆樹ハ續々伐木サレルヤ
ウデアリマスガ、之ニ對シテ何か改植、
増植ニ對シテ保護獎勵ノ必要ヲ御感ジ
ニナッテ居ルノデアリマスガ、ドノ地方
デ之ヲ獎勵シテ行クカト云フコトヲ伺
ヒタイ

○窪田農林技師 仰シヤッタ通り我國
ノ漆畑ト申シマスガ、漆ノ立木ニ對シ
テハ段々減ッテ行クヤウナ傾向ガアリ
マスノデ、年々此生産モ減少シテ居ル
狀態デアリマスノデ、今仰シヤッタ通り
日本産漆ハドウシテモ日本漆器工業ニ
缺クベカラザルモノデアリマシテ、日
本漆器ノ一層發展ヲ望ム爲ニハ、ドウ
シテモ此生産ヲ増加スルヤウナコトニ
シナケレバ、到底日本漆器業ガ段々衰
微スルト云フコトハ明デアルト考ヘマ
ス、從來漆ノ栽培ヲ獎勵シタコトモゴ
ザイマシタ、又現ニ其苗木ダケハ養成
所ニ補助ヲシテ居リマスケレドモ、到底
ソレダケノコトデハ此類勢ニアル漆裁
培ヲ發展サセルコトハ困難デアラウト
云フコトニ着眼致シマシテ、昨年内地
ノ各主ナル漆生産地、即チ福井方面ト
カ、若狹方面トカ、東北方面ニ對シマシ

テ、其狀況等ヲ調ベマシタ所、ズット前ニ漆ノ栽培ヲ極力獎勵シタコトガアリマシタガ、其結果ドウモ面白クナイト云フ原因ヲ調ベル積リデアリマシタガ、今獎勵シタノハ農産物ト殆ド同ジヤウナ、例ヘバ桑畑ニ相當スルヤウナ所ニ植エタ、ソレカラ林業ニ適スル土地ノ好イ所、杉ヤ檜ニ適スル所ニ主トシテ植エタノデアリマスガ、其後養蠶ガ盛ニナリ、木材ノ價格ノ騰貴ノ爲ニ漆ガ收支償ハナイト云フ結果ニ陥ッテ、段々減ルヤウナ情勢ヲ導イタ、ソレデ大面積ニ植エヤウト云フ計畫モアッタラシイガ、併ナガラ漆ヲ一町歩ニ植エテ置キマスト漆掻人夫ガ採收時期ニ於テ三人位働クコトガ出來ルト云フ程度ノコトデアリマスカラ、サウ大面積デナクテモ漆ノ栽培ト云フコトハ成立ツモノデアルト云フコトガ分リマシタ、殊ニ現在漆ノ收支ガ償ハナイト云フコトハ、曾テ植エタ木ガ殘ッテ居ルノガ所々點々トシテ在ル爲ニ、ソレヲ漆掻人夫ガ纏メテ、廣イ間ニ採收シテ居ル爲ニ、工程ガ上ッテ、隨テ勞銀ガドウシテモ引合ハナカッタ、斯ウ云フ關係ニナリマスカラ、之ヲ或程度ノ集團的ニ栽培スルナラバ、サウシテ農業ノ桑トカ林業ノ方カラ云ヘバ杉トカ檜ト云フ物ヲ排除スルコトナシニ、適當ノ面積ガアルナラバ、ソコニ獎勵シテ植エテ行クナラバ十分收支モ引合フデアラウシ、其事業モ成立ッテ行クト云フコトニ着

眼致スコトガ出來マシタノデ、東北六縣ノ方ニ付テ、ドウ云フ所ヲ選ブカ、東北六縣地方ニ付テ考ヘテ見マス、ドウ云フ所ニ獎勵シテ植エタラ宜イカト云フト、森林デアリマス、如何ナル森林デモ三反歩五反歩ノ空地ノ無イ所ハナイ、三反歩、一町歩位ノ所ハ到ル所ニ在ル、其所ヘ杉ヲ植エテ行キ、其大キナ森林中ニサウ云フ所ヲ撰ッテ植エテ行クト云フコトモ、喬木ヲ養成スル上ニ於テ適當デナイト云フ關係ニ付込ミマシテ、或程度ノ集團的ニ漆林ヲ仕立テル爲ニ、大丈夫漆掻人夫ガ或數ノ者ヲ一地方ニ置クコトガ出來ル、隨テ生産費ガ低下スルコトガ出來ルト云フコトヲ考ヘマシテ、傾坂トカ堤防ノ兩側ノ所ニ成ベク纏メテ植エルヤウナコトニシマス、サウ云フ意味デ空地ヲ調ベマシタ所、東北六縣デ約一萬四千八百餘町歩ノ適地ノアルコトヲ調ベマシタ、此割合カラ其他ノ地方ヲ調ベマスト、少クモ三四萬町歩ハ日本ニ在ルデアラウ、ソレダケアルコトニナリマスレバ、十分我國ノ漆事業ノ策ハ立チ得ルノデアラウト云フ結論ヲ得タノデアリマス、ソレデ今後國有林等ニモ成ベク空地ノ所ニハ或程度ノ集團的ニ模範的ニヤッテ貰ハウト云フコトデ、目下國有關係當局トソレ、打合中ニ屬シテ居リマス、ソレデ斯ウ云フ風ニシテ獎勵シマシタ所デ漆ハドウシテモ六七七年ノ年所ヲ經ナケレバ其採收ヲ納ムルト

云フコトハ出來マセヌ、サウスルト其間待ツコトガ出來ナイガ、此處デ關稅ヲ若シ上ゲルト云フコトニナリマスト、日本漆器ノ方ニモ影響シマスカラ、サウ云フ獎勵ノ實ヲ舉ゲル迄ノ間ハ、ドウシテモ支那漆ノ供給ニ待タナケレバナラヌト云フコトモアリマスカラ、此際ハサウ云フ獎勵ノ方ヲ私共ノ方デ極力努力スルト云フ下心ヲ持チマシテ、關稅ハ据置マシタ方ガ適當デアラウト云フコトニ考ヘマシタ

○長田委員 能ク分リマシタガ、御説明ニ依ルト今日ニ至ル迄日本漆ノ保護獎勵ニ對シテハ全然手ヲ着ケテ居ナカッタ、此ノ失敗デアッタト云フコトノ自白トシカ承ルコトガ出來ナイ、兎ニ角ハ昔カラ日本漆ト云ッテアルノデアリマスガ、吾ミノ耳ニサヘ既ニ收支引合ハナイ、伐木ハイカスト云フヤウナ狀態ガ現ハレテ居リマスカラ、今少シク早ク氣付イテ適當ナル、今日御説明ヲ承ッタヤウナ密集地帯ニ之ヲ植付ケルヤウナ指導獎勵ヲ爲サッタナラバ、今日ノヤウナ結果ニナラナカッタと思ヒマス、是ハ過去ノ事デ仕方ガアリマセヌガ、雷ニ苗木ノ補償位ニ止メズ、進ンデ相當ノ試驗ヲシテ之ヲ見セル、是ハ御話ニナリマシタガ、見セテ、矢張林産物デアリマスカラ、殖林事業ノソレノ如ク積極的ニ保護ヲシテヤラナケレバイカヌト私ハ考ヘルノデアリマス、左様ニ御願シテ質問ヲ終リマス

○加藤委員長 ソレデハ休憩致シマス、午後二時カラ繼續シマス

午後零時十一分休憩

午後一時五十五分開議

○加藤委員長 ソレデハ午前ニ引續イテ質疑會ヲ續ケマス——岩切君

○岩切委員 午前中ニ綿絲ノ關稅撤廢ニ關スル御質問ガアッタノデアリマスガ、此問題ハ極メテ重要ナ見地ニ立ッテ居ル問題デアルト思フノデアリマス故ニ、此方針ヲ商工省ノ御當局ニ伺ヒタインデアリマス、午前質問ハ主トシテ綿絲ノ關稅ハ撤廢スベシト云フ趣旨ニ於ケル御質問ノヤウニ私見テ居リマシタ、勿論其立場カラ考ヘマシテ、綿絲ノ撤廢ト云フコトモ極メテ理由ノアル問題デアルト私ハ考ヘテ居ル、併ナガラ私ハ其撤廢スルコトガ果シテ適當デアリヤト云フ根據ヲ確メル爲ニ、最近ノ綿絲業界カラ觀察シマシタ商工省ノ意見ヲ聞イテ見タイト思ヒマス、ソレハ大體日本ノ紡績業ト云フモノハ、二億圓位ノ資本ヲ之ニ下シテ居ル、輸出綿絲ニ於テハ三億圓以上ノ物ガ出テ居ルノデアリマシテ、生絲ニ亞グ最モ重要ナル國家産業上ノ物デアルト考ヘルノデアリマス、ソコデ私ハ斯ウ云フ事ヲ聞イテ見タイノデアリマスガ、前ニモ問題ニ一寸出テ居リマシタガ、支那ノ關稅ト云フモノガ若シ自主權デモ確立サレルト云フコトニナルト、隨テ我國

ノ支那ニ於ケル綿絲業ト云フモノハ、相當ナ影響ガ出テ來ナケレバナラヌ、ソコデ午前ノ質問ニモアリマシタ通り、若シ此綿絲ノ關稅ヲ撤廢スルト云フコトニナレバ、隨テ支那カラ日本ニ入ッテ來ル綿絲ト云フモノハ、非常ニ容易クナッテ來ル、勿論支那ニ於ケル綿絲業者ト云フモノハ、日本ノ資本デ出來タノデアアルカラ、是ハ差支ナイデハナイカト云フ議論モアルガ、此處デ私ハ商工省ノ方針ヲ聞カナケレバナラヌノデアリマスガ、一體將來支那ニ日本ノ紡績業ト云フモノガドシ、移ッテ行く、是ハ向フハ賃銀ガ廉イトカ、種々ナ關係カラ、内地デ産業ヲ起スヨリカ、ドウシテモ支那ノ方ガ有利デアアルカシテ、隨テ日本ノ紡績業者ト云フモノモ、漸次支那ニ向ッテ事業ヲ移シテ行く情勢ニアルト思ヒマス、ソコデ段々日本ノ紡績業ガ支那ニ將來移ッテ行く、採算上向フノ方ガ便利デアアルカラ移ッテ行くト云フコトニナッテ、加フルニ又其處ヘ支那ノ關稅問題ガ起ッテ來テ、或ハ關稅自主權ノ立場カラ、支那ノ唯一ノ財源ハ關稅デアアルカラ、我國ノ紡績業ニ對シテ不利ナ關稅ヲ向フデ設定スル事ガ無イトモ限ラヌ、斯ウ云フ立場ニ於テ、當局ハ日本ノ——東洋ノ市場ト云フモノヲ殆ド日支ノ間ニ共通セシメテ、經濟的ニ我國ノ産業ヲ支那ニモドシ、起シテ、兩者ノ間ニ圓滿ナ産業上ノ提携ヲ拵ヘテ行くダケノ準備ガア

ルノデアアルカ、或ハ支那ニドンドン移ッテモ、我國ノ紡績業ニ對シテハ影響ハ無イ、殊ニ特殊紡績業ト云フモノノ確立ノ話モ出テ居タガ、我國ガ支那ノ關稅問題ノ爲ニ苦シイ立場ニナッテ來レバ、支那ヨリモ違ッタ紡績業ヲ起シテ、之ニ對抗スルヨリ外途ガナイト考ヘルガ、サウ云フ問題ガ差迫リマシテ、一方ニハ支那ノ關稅問題ガ起リ、一方ニ綿絲ノ關稅ヲ撤廢シテ、此間ニドウ云フ調和ガ取ラレルノデアアルカ、又ドウ云フ影響ヲ及ボシテ來ルカト云フコトヲ一ツ商工省ノ御意見ヲ承リタイ

○野村政府委員 只今岩切君ノ御質問ハ、根本政策ニ付テノ御質問デアリマシテ、順序カラ申シマス、商工大臣ガ答辯スベキ筋合ト思ヒマス、併シ大臣ハ本會議ニ出テ居ッテ、只今居リマセヌカラ、私ヨリ申上ゲテ置カウト思ヒマス、岩切君ノ御述ベニナッタ通りニ、支那ノ工業ガ發達スルト、今日迄相當ノ物ヲ支那ハ輸入ニ仰イデ居タノガ、段段ト其輸入ガ止マル、サウシタナラバ日本ノ工業發展ノ爲ニドウ云フ關係ヲ及ボスカ、是ハ唯當面ノ問題ノミナラズ、將來ニ互テ如何ナル計畫ヲ立テテ居ルカ、斯ウ云フ御質問ノ趣旨ノヤウニ拜聽致シマシタ、是ハ御尤ナ御質問デアリマス、又諸工業其他總テ文化ノ、程度カラ見マス、日本ト支那トハ申迄モナク今日デハ日本ノ方ガ高イ、併ナガラ支那モ段々國民ノ自覺ト四圍ノ

刺戟、色々ノ關係ニ於テ、自然ニ發達ノ道程ニ進ムコトデアラウト思フ、此點ニ對シマシテ、單リ綿絲綿布ニ關シテ日本ノ輸出ノ將來ヲ考慮スルノミナラズ、其他ニモ數億ノ品物ヲ支那ニ輸出シテ居リマスガ、支那國民ノ發達ガ懸テハ總テ日本ノ商工業ニ影響ヲ及ボスコトデアラウト思ヒマス、其點ニ對シテ一體ドウ云フ方針ヲ執ルカト云フコトハ、問題ガ甚ダ大キデアリマシテ、隨テ御答致シマシテモ、單ニ當面ニ則シタ御答ノミデハ、此問題ヲ解決スルコトガ出來ナイヤウニ思ヒマス、一面同ジク東洋ニ位シ、共榮共存、日本ノ産業ヲ發展セシメテ、支那ノ方ニ輸出スルト同時ニ、支那ノ方ノ人ノ自然ノ自覺ヲ待ッテ、共榮シテ行くコト云フノガ當然ガラウト思ヒマス、此點ニ對シテノ方法ハ、兩國間ノ懇親ヲ最モ深クシテ、サウシテ互ニ諒解シ合ウテ、足ラヌ物ハ向フヘ渡シ、又此方ノ足ラヌ物ハ向フカラ輸入ヲ仰グ、斯ウ云フヤウナ共榮ノ主義ニ基イテ其道程ニ進ム、是ハ主ニ外交方面ノ問題デアリマスガ、同時ニ國民全體ガ矢張此方針デ進マナケレバナラヌト思ヒマス、ソレカラ又物質上ノ綿絲綿布其他ノ工業品ニ付キマシテハ、内地ニ於キマシテ成ルタケ生產業ヲ安クシテ物ヲ造リ、其點ニ於テ支那人ヲシテ納得セシメ、又極ク精巧ナ物ヲ造リマシテ、支那ノ工業品ト比較シテ、向フヲシテ感ゼシメルヤウニス

ル、此點ニ付テハ内地ノ産業ニ對シテ一層改善ニ努力シテ掛ラナケレバナラヌト思フ、倭ソレナラバ一體ドウ云フ風ナ方法デアリツツアルカ、斯ウ云フ御質問ガ出ルダラウト思ヒマスガ、此事ニ付テハ商工省ト致シマシテハ、或ハ輸出貿易ニ對スル組合ヲ組織スルトカ、又工業品ニ對シテハ粗製濫造ヲ避ケテ、成ルタケ立派ナ物ヲ造ルト云フ共同施設ノ方法ヲ新タニ起ストカ、色々ヤッテ居ルヤウナ次第デアリマス、若シ夫レ綿絲ト綿布、斯ウ云フ風ナ特殊ノ物ニ至ッテ、ドウ云フ風ナ事ヲヤッテ居ルカ、斯ウ申サレマス、商工省ト致シマシテハ、一般ニ通ジテ輸出ニ對スルモノニ改善改良ヲ加ヘ、又工業品ノ生産ニ對シテ改善改良ヲ加ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、之ヲ以テ及ボシテ矢張綿絲綿布ニ對シテモ同一ノ道程ヲ辿ル考デアリマス、先ヅ大體斯ウ云フヤウナ考デアリマス

○岩切委員 モウ一遍伺ヒマス、數字デ申シテ見マス、大正十三年度ノ綿織物ト云フモノガ三億二千六百萬圓ダケ輸出シテ居ル、其内デ支那ニ出シタノガ一億三千七百萬圓、殆ド三分ノ一強ノモノヲ出シテ居ル、ソコデ簡單ニ質問シマス、若シ政府ノ保護策宜シキヲ得テモ、支那ノ關稅自主權ノ確立ト云フコトハ、モウ日本ノ昔ト同ジヤウニ是ハ當然出來テ來ル、其際支那ノ關稅ガ大分高クナル、七分五厘ト云フ

第五類第二號 關稅定率法中改正法律案(政府提出)委員會議錄 第十二回

大正十五年二月十八日

程度デ到底止マラナイ、モット高クナツタ場合ニ、一億三千萬圓ノ日本ノ綿織物ノ輸出ハ、非常ナ打撃ヲ蒙リハシナイカ、折角我國ガ二億圓以上ノ資本ヲ投ジテ、日本ノ國產ノ生絲ニ亞グ物トシテ發達シテ來タ此紡績業ガ、支那ノ關稅ノ爲ニ必ズ將來影響ヲ受ケテ來ル、其場合ニ日本ノ紡績ト云フモノヲ支那ニ移シテ、之ヲ維持シテ行クト云フ方針ヲ執ルカ、又ハ特殊ナ紡績業ヲ確立シテ是デ對抗スルカ、ソレニシテモ二年、三年デハ出來ナイト考ヘルガ、或ハ五年掛ルカ、十年掛ルトスルト、ソレニ對シテ一體政府ハドウ云フ方針ヲ執ッテ居ルノデアルカ、斯ウ云フ質問ヲシタノデアリマス

○野村政府委員 支那ノ自主權確立ノ結果關稅ガ上ル、サウナッタナラバ非常ニ影響ヲ生ジハセヌカ、御尤ナ御質問デアリマス、其點ニ對シマシテハ現在北京ニ於テ外交官ガ折衝シテ居リマスガ、吾々ノ希望デハ約定通りニ二分五厘以上ニ何トシテモ超サスコトヲ希望スル次第デアリマス、併ナガラ岩切君ノ御説ノ通り、サウコチラデ思ッテ居テモ、中々他人相手ノ事デアルカラ、ドウ變更スルカ分ラヌ、變更シタ時ニハドウスルカ、御尤ノ御質問デアリマス、ソレニ依テハ斯ウ云フ億以上ノ輸出品ニ對スル大影響ガアル、隨テ特殊紡績ニ對シテノ考ハドウスルカト云フコトデアリマスガ、此點ニ對シテモ、豫算面ニ

ハ現ハレテ居リマセヌガ、特殊紡績ニ對シテ商工省ト致シマシテモ相當ニ考慮シテ、其研究ヲ色々ヤッテ居ル次第デアリマス、唯豫算面等ニハマダ現ハレテ居リマセヌガ、今仰シタル御心配ニナツタ點ハ、當局亦其憂ヲ固ウスルモノデアリマスカラ、是ハ非常ニ心配シ攻究シツツアルノデアリマスガ、未ダニ其成案ヲ得ナイノハ遺憾ト致シマス

○加藤委員長 次ハ永田君

○永田委員 午前中綿絲ノ關稅ニ付テ色々御意見ガアリマシテ、宮内政府委員カラソレゾレ御答辯ガアリマシタガ、實ハ昨年此事ガ委員會デ問題ニナリマシテ、其當時御立會ヲ願ッタノハ黑田主稅局長ト心得テ居リマス、隨テ此際政府ヲ代表シテ居ラレル黑田政府委員ニ御尋シテ置クコトガ、連絡上最も適當ト思ヒマスノデ、少シク御伺シタイト思ヒマス、先程黑田局長ハ御留守デシタガ、飯塚サンカラ昨年綿絲ノ關稅撤廢ノ法律案ヲ通過シマシタ時ノ御話ガ詳シクアリマシタ、ソレニ對スル宮内政府委員ノ御話ガアリマシタガ、併シソレダケデハ昨年吾々ガ法律案ヲ通過サセマシタ其意向ヲ更ニ改メルト云フ理由ニナラナイ、昨年も政府デハ餘リ關稅ノ撤廢ト云フ事ニハ御賛成ハナカッタ、色々黒田局長カラ、ドウモ困

ケノ御話ハ昨年モ能ク聞イタガ、ソレデハ迎モ承知ガ出來ナイト云フノデ、衆議院ハ各派ガ一致シテ政府ノ御説明ニ満足スルコトガ出來ズ、遂ニ撤廢ヲ議決シタヤウナ譯デアリマス、隨テ昨午政府ガ御説明ニナツテ居ッタヤウナ理由デハ、最早此案ヲ維持スルコトノ出來ナイコトハ當然デアアル、隨テ昨午ノ議會ノ院議ヲ容レズシテ、茲ニ其儘ニ据置クト云フノニハ、昨年ノ御話ヨリ更ニ進ンダ別ノ理由ガナケレバ、吾々トシテハ承服スルコトガムヅカシイ、斯ウ云フノガ此案ニ對スル沿革デアリマス、ソコデ私ハ先般第四回ノ委員會ニ於キマシテ主稅局長ニ御伺ヲシタ、ソレハ今回ノ關稅改正デ稅ヲ見積ル際ニ於キマシテ、其率ヲ盛ル標準ヲ何處ニ置イタカト云フコトヲ御尋シタ、其際ノ私ノ言葉ヲ要約シマスルト云フト、色々其方法ハアル、又理由モアルダラウガ、其中ニ一ツ看過スコトノ出來ナイ問題ガアル、ソレハ公式ノ意味ニ於テ看過スコトガ出來ナイモノデアアル、何デアアルカト云フト、ソレハ詰リ議會ニ現ハレタル議會ノ意思ト云フモノデアラウト思フ、即チ請願ノ形ニ於テ、或ハ建議案ノ形ニ於テ、或ハ法律案ノ形ニ於テ、議會ガ其意思ヲ發表シタモノニ付テハ、政府ハソレヲドウ取扱ッタカ、當業者ノ陳情デアルトカ、或ハ學者ノ說デアルトカ、政府ガ唯斯ウ考ヘルト

カ云フ事ヨリモ、ヨリ以上議會ノ發表シタ意思ト云フモノハ公的ノ意味ニ於テ力ノアルベキモノデアラウト思フ、故ニソレニ對シテドウ云フ風ニ御考ニナツタカト御尋シマシタ所ガ、黒田政府委員ハ「此調査ヲスルニ際シテハ、勿論議會ニ於テ、或ハ建議、或ハ請願ト云フ形ニ於テ、色々御意見ガ出テ居リマスルモノハ、勿論十分ニ參考ニ致シタノデアリマス、又民間ニ於テモ」云々、斯ウアリマシテ、最後ニ「其結果委員會ニ於キマシテ色々研究ノ結果ガ斯ウナツタノデアリマスカラ、決シテ無視シテ居ルヤウナ次第デハアリマセヌ」ト言

ナイト云フ原則ヲ以テ此稅率ヲ見積ル實際問題ニナツテ見ルト云フト、此綿絲ノ問題ハ一寸モ議會ノ意思ト云フモノハ何處ニモ尊重サレナイ、サウシテ昨年ノ委員會ニ於ケル政府ノ御話ヨリ、更ニ進ンデ之ヲ維持シナケレバナラヌト云フ特殊ノ理由トシテ、別ニ強イ理由ヲ今迄御説明ヲ承ッテ居ラナイ、サウスルト吾々ハドウ云フ點カラ議會ノ意思ヲ無視サレタノカト云フコトガ、甚ダ了解ニ苦ム譯デアアル、此點ヲ第一ニ黒田政府委員ニ御同致シタイ、ソレカラ第二ニハ、私共ガサウ云フ意味デ今度ノ關稅改正ニハ餘程議會ノ意思ヲ尊重シテ貰ハナケレバナラヌト思ッテ居ッタノガ、少シモ尊重サレテ居ラヌ、而モ政府ノ之ヲ否定スル意見ト云

シタ意思ト云フモノハ公的ノ意味ニ於テ力ノアルベキモノデアラウト思フ、故ニソレニ對シテドウ云フ風ニ御考ニナツタカト御尋シマシタ所ガ、黒田政府委員ハ「此調査ヲスルニ際シテハ、勿論議會ニ於テ、或ハ建議、或ハ請願ト云フ形ニ於テ、色々御意見ガ出テ居リマスルモノハ、勿論十分ニ參考ニ致シタノデアリマス、又民間ニ於テモ」云々、斯ウアリマシテ、最後ニ「其結果委員會ニ於キマシテ色々研究ノ結果ガ斯ウナツタノデアリマスカラ、決シテ無視シテ居ルヤウナ次第デハアリマセヌ」ト言

○野村政府委員 支那ノ自主權確立ノ結果關稅ガ上ル、サウナッタナラバ非常ニ影響ヲ生ジハセヌカ、御尤ナ御質問デアリマス、其點ニ對シマシテハ現在北京ニ於テ外交官ガ折衝シテ居リマスガ、吾々ノ希望デハ約定通りニ二分五厘以上ニ何トシテモ超サスコトヲ希望スル次第デアリマス、併ナガラ岩切君ノ御説ノ通り、サウコチラデ思ッテ居テモ、中々他人相手ノ事デアルカラ、ドウ變更スルカ分ラヌ、變更シタ時ニハドウスルカ、御尤ノ御質問デアリマス、ソレニ依テハ斯ウ云フ億以上ノ輸出品ニ對スル大影響ガアル、隨テ特殊紡績ニ對シテノ考ハドウスルカト云フコトデアリマスガ、此點ニ對シテモ、豫算面ニ

ハ現ハレテ居リマセヌガ、特殊紡績ニ對シテ商工省ト致シマシテモ相當ニ考慮シテ、其研究ヲ色々ヤッテ居ル次第デアリマス、唯豫算面等ニハマダ現ハレテ居リマセヌガ、今仰シタル御心配ニナツタ點ハ、當局亦其憂ヲ固ウスルモノデアリマスカラ、是ハ非常ニ心配シ攻究シツツアルノデアリマスガ、未ダニ其成案ヲ得ナイノハ遺憾ト致シマス

○永田委員 午前中綿絲ノ關稅ニ付テ色々御意見ガアリマシテ、宮内政府委員カラソレゾレ御答辯ガアリマシタガ、實ハ昨年此事ガ委員會デ問題ニナリマシテ、其當時御立會ヲ願ッタノハ黑田主稅局長ト心得テ居リマス、隨テ此際政府ヲ代表シテ居ラレル黑田政府委員ニ御尋シテ置クコトガ、連絡上最も適當ト思ヒマスノデ、少シク御伺シタイト思ヒマス、先程黒田局長ハ御留守デシタガ、飯塚サンカラ昨年綿絲ノ關稅撤廢ノ法律案ヲ通過シマシタ時ノ御話ガ詳シクアリマシタ、ソレニ對スル宮内政府委員ノ御話ガアリマシタガ、併シソレダケデハ昨年吾々ガ法律案ヲ通過サセマシタ其意向ヲ更ニ改メルト云フ理由ニナラナイ、昨年も政府デハ餘リ關稅ノ撤廢ト云フ事ニハ御賛成ハナカッタ、色々黒田局長カラ、ドウモ困

ケノ御話ハ昨年モ能ク聞イタガ、ソレデハ迎モ承知ガ出來ナイト云フノデ、衆議院ハ各派ガ一致シテ政府ノ御説明ニ満足スルコトガ出來ズ、遂ニ撤廢ヲ議決シタヤウナ譯デアリマス、隨テ昨午政府ガ御説明ニナツテ居ッタヤウナ理由デハ、最早此案ヲ維持スルコトノ出來ナイコトハ當然デアアル、隨テ昨午ノ議會ノ院議ヲ容レズシテ、茲ニ其儘ニ据置クト云フノニハ、昨年ノ御話ヨリ更ニ進ンダ別ノ理由ガナケレバ、吾々トシテハ承服スルコトガムヅカシイ、斯ウ云フノガ此案ニ對スル沿革デアリマス、ソコデ私ハ先般第四回ノ委員會ニ於キマシテ主稅局長ニ御伺ヲシタ、ソレハ今回ノ關稅改正デ稅ヲ見積ル際ニ於キマシテ、其率ヲ盛ル標準ヲ何處ニ置イタカト云フコトヲ御尋シタ、其際ノ私ノ言葉ヲ要約シマスルト云フト、色々其方法ハアル、又理由モアルダラウガ、其中ニ一ツ看過スコトノ出來ナイ問題ガアル、ソレハ公式ノ意味ニ於テ看過スコトガ出來ナイモノデアアル、何デアアルカト云フト、ソレハ詰リ議會ニ現ハレタル議會ノ意思ト云フモノデアラウト思フ、即チ請願ノ形ニ於テ、或ハ建議案ノ形ニ於テ、或ハ法律案ノ形ニ於テ、議會ガ其意思ヲ發表シタモノニ付テハ、政府ハソレヲドウ取扱ッタカ、當業者ノ陳情デアルトカ、或ハ學者ノ說デアルトカ、政府ガ唯斯ウ考ヘルト

フモノハ、餘リ徹底シタ意見ハ無イヤ
ウニ思フノニ拘ラズ、私共ノ方カラ言
ウト、又更ニ一ツ此撤廢ニ有カナ理由
ヲ加ヘテ來テ居ル、昨年ハ無カッタ問題
デ、今年ニナッテ更ニ之ヲ撤廢スル方ガ
宜カラウト云フ一ツノ新シイ意見ガ出
テ來タ、ソレハ何デアアルカト云フト、綿
絲ヲ今日内地ニ於テ消費スル數量ハ、
先ヅ或人ハ二百萬捆ト見積ツテ居ル、之
ヲ今日ノ關稅ノ率ニ換算スルト三千四
百八十萬圓ニナル、サウスルト此關稅
ガ課ツテ居ルダケ國民ノ消費ノ價格ニ
影響ガアルト考ヘレバ、詰リ約三千五
百萬圓ダケ一般綿絲ヲ消費スル者ガ負
擔ヲシテ居ル譯デアアル、詰リ綿絲ノ形
ニ於テ、綿織物ノ形ニ於テ、ソレダケノ
關稅ノ轉嫁シタ消費稅ヲ拂フコトニナ
ル譯デアアル、ソレダケ高イ物ヲ買ハナ
ケレバナラス、ソレハ半分ト見テモ千
七八百萬圓デアアル、斯ウ云フ事ガアル、
是ハ昨年ハ考ヘ付カナカッタ、而シテ是
ガドウシテ今年サウ重大ニナルカト云
フト、政府ハ今度ノ稅制整理ニ於キマ
シテ綿織物ノ消費稅ヲ撤廢シテ、二十
五百萬圓ダケ其消費稅ハ減額サレル、
ソレガ爲ニ社會政策ガ行ハレテ、中産
階級以下ノ者ガ大變助カルダラウ、私
共モサウダラウト思フ、サウ云フ風ニ
考ヘラレテ、國民ノ生活ノ安定ヲ圖ラ
ウト云フ事ヲ、綿織物ニ付テ御考ヘニ
ナッテ居ル、ソレダケノ事ヲ綿織物ニ付
テ御考ヘニナル位ナラ、之ニ矢張同ジ

關聯シテ居ル所ノ綿絲關稅ヲ撤廢シ
テ、サウシテ綿織物消費稅ノ二千五百
萬圓モ減ラスト云フヤウナ、ソナ國
來ノ歲入ニ影響ノアルコトヲセナクト
モ、僅ニ十萬圓カ十一二萬圓シカ税金
ノ取レナイ此綿絲ノ關稅ヲ撤廢シテシ
マテ、其結果ドウカト云フト、此通りノ
計算ニハナリマスマイガ、稅額全部ガ
國民ノ生活ニ轉嫁サレテ居ルトハ申シ
マセヌガ、其中ノ幾部分ガ轉嫁サレテ
居ル、半分ニシテモ七百萬圓、是ダケノ
モノガ兎ニ角國民ノ負擔ノ上カラ輕減
サレル、斯ウ云フ事ニナルト、政府ガ稅
制整理デ以テ二千五百萬圓ノ綿織物消
費稅ヲ減ラスト云フ御意志ヲ持ッテ居
ル以上ハ、ドウシテモ斯ウ云フ事ニハ
直ニ關係ヲ及ボサナケレバナライコ
トデアラウト思フ、綿織物消費稅ノ撤
廢ト同ジ趣旨デ、而モ片方ニハ歲入減
二千五百萬圓ヲ見積ラナケレバナラス
ガ、此方ハ歲入減ハ僅ニ十萬圓バカリ
見積レバ宜イ、サウシテ其結果ハ國民
ニ是ダケノ大キイ關係ヲ及ボスノダト
云フコトニナラウト私ハ思フ、此二點
ガ私共ガ昨年此問題ヲ議シタ後ニ起キ
タ所ノ新シイ二ツノ理由デアアルノデア
リマス、ドウカ當時政府ヲ代表シテ色
色答辯ノ衝ニ當ラレタ黒田局長カラ此
二點ヲ御伺ヒシテ、更ニ今回議會ノ決
議ヲ用キズシテ、此撤廢ヲ圖ラナカッタ
ト云フコトニ對スル新シキ事由ヲ、昨
年ト違ッタ新シイ理由ガアルナラバ、御

伺ヲ致シタイ
○黒田政府委員 昨年綿織關稅撤廢ノ
法律案ガ衆議院ニ提出サレマシテ、其
御審議ノ委員會ニ私モ列席ヲ致シマシ
テ、只今御述べニナリマシタヤウニ色
色御意見モ拜聽致シタノデアリマス、
今回定率法ノ改正ノ調査ヲ致ス際ニ於
キマシテ、先程御述べニナリマシタヤ
ウニ、是等ニ付キマシテハ、昨年ノ議會
ニ於テ提案サレマシタ御趣旨等モ十
分ニ參考ニ致シマシテ、攻究ヲ致シマ
シタコトハ、先日申上ゲマシテ通りデ
アリマス、ソレニ依テ色々關係各省ト
調査研究ヲ遂ゲマシタ結果、茲ニ提案
ヲ致シテ居リマスルヤラニ、現行ノ稅
率ヲ据置クコトガ、此際ニ於テハ適當
デアラウト云フコトニ結論ガ相成リマ
シタ次第デアリマス、決シテ昨年議會
ニ於テ提案ニナリマシタコト、並ニ更
ニ色々御意見ガ出マシタコトヲ全ク
考慮ニ置カズシテ、忘レテ斯ウ云フ案
ヲ作ッタ譯デハナイノデアリマスカラ、
其事ハ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマ
ス、ソレカラ然ラバ其議論ヲ參酌シタ
ナラバ、何故ニ其院議ヲ重ンジテ、撤廢
ノ舉ニ出ナカッタカト云フ御質問デア
リマス、ソレニハ何カ昨年ヨリモ新シ
キ理由ガ附加ハッタノデアアルカト云フ
御話デアリマスルガ、昨年申述べマシ
タ理由ト云フモノハ、明確ニハ實ハ申
上ゲテ居ラナカッタト私ハ記憶シテ居
リマス、尙ホ攻究致サナケレバナラナ

イ點ガ多々アリマスルノデ、又内地ノ
影響、或ハ商賣ノ狀況、或ハ輸出等ノ關
係、色々ナ關係ニ於テ、尙ホ攻究スベキ
點ガ非常ニ多イノデアリマシテ、直ニ
提案ニナリマシタ撤廢ニハ御同意致ス
コトガ困難デアルト云フ風ナ意味デハ
ナカッタカト思ヒマス、ソレ故ニ昨年以
來之ニ付キマシテハ、十分關係各省ト
間ニ協議ヲ重ネマシテ、調査ヲ致シ
タイノデアリマスルガ、此理由ニ付キ
マシテハ、午前中ニ於キマシテ、矢部政
府委員或ハ工務局長邊リカラ御話ガ
アッタラウト思ヒマスルノデ、私ハ繰返
シテ餘リ詳シク申上ゲナイコトニ致ス
ノデアリマスルガ、要スルニ内地ノ產
業ガ今日既ニ發達ヲ致シマシテ、非常
ナ生産ヲ致シテ居ルト云フコトハ、是
ハ事實デアリマスルガ、併ナガラ内地
ノ綿絲ノ工業ニ對シマシテモ、尙ホ將
來努ムベキ點ガ非常ニ多イノデアリマ
ス、例ヘテ見マスレバ、尙ホ今日輸入ニ
ナッテ居リマスヤウナ細イ絲ト云フヤ
ウナモノニ付テモ、順次進ンデ行カナ
ケレバナラスト云フ風ニ、今日ノ工業
ガ必シモ之ニ依テ關稅ヲ撤廢ヲ致シマ
シテ何等ノ脅威ヲ感ズルコトガナイト
云フ域ニアルカドウカト云フコトニ付
キマシテハ、商工省ノ當局トモ能ク相
談ヲ致シマシタ結果ト致シマシテ、今
日尙ホ此關稅ヲ撤廢スルト云フコト
ハ、内地ノ工業ニ對シテ多少威脅ヲ與
ヘル虞ガアル、現ニ震災ノ際ニ於キマ

シテ免稅ヲ致シマシタ際ニ於キマシテモ、此「イ」ニ當リマス二十四番ヲ超エザルモノニ付キマシテモ、百數十萬圓ノ輸入モアッタヤウナ狀況デアリマシテ、必ズシモ關稅ヲ撤廢スレバ常ニ多量這入ッテ來ルト云フコトヲ申シマセヌデモ、サウ云フ風ナ實例モアリ、又將來ニ於キマシテモ脅威ヲ感ズルト云フ意見ガアルデアリマス、殊ニ將來ニ向ッテハ此細絲ノ方ニ向ッテモ十分ニ生産ニ力ヲ盡サナケレバナラヌ、サウシテ輸出致シマスニ付キマシテモ、先程來御話ガアリマシタヤウデアリマスガ、支那ノ關係ニ於キマシテモ、今日支那ノ關稅ノ問題ガ起ッテ居ルデアリマス、支那ノ關稅ガ上ザラレト云フ風ナ時期ニナリマスレバ、將來ドウシテモ此細絲等ニ付テモ生産ヲ殖ヤシテ、サウシテ海外ニ於テ競争シナケレバラヌト云フ狀況ニアルデアリマス、斯ウトハ、内地ノ工業ニ脅威ヲ感ズルコトナシト云フコトヲ考ヘルコトモ困難ノヤウニ考ヘルノデゴザイマス、又内地ノ消費ノ方カラ見マスト云フト、只今御尋ノアリマシタ通り、一方ニハ綿織物ノ消費稅ヲ廢スル時ニ於テ、幾分デモ綿織物ノ消費者ノ負擔ヲ輕減スルノニハ、綿織絲ノ關稅モ撤廢スルコトガ其方面カラ見テモ宜イデヤナイカト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ一應御尤デアリマスガ、併ナガラ此綿織絲トシ

テ今日這入ッテ來テ居リマスモノハ、多クハ細イ絲デアリマシテ、綿織物ト致シテハ多少消費者ニ負擔ノ能力ノ有ル方面ニ使ハレルモノガ比較的多イト考ヘマス、又此關稅ガアリマスルガ爲ニ、内地ノ普通ノ綿織物ニ使ハレマスルヤウナ絲ガ必シモ關稅ダケ高クナッテ居ルト云フコトモ申サレナイデアリマス、即チ此處ニ關稅ニアリマスルダケ消費者ニソレダケ負擔ガ行ッテ居ルカト申シマス、ソレハ必シモサウ見ルコトハ適當デナカラウ、外國ノ輸入ヲ玆ニ多少妨イデ居リマスルナラバ、内地ニ於テ十分ニ之ヲ供給スルト云フコトニ付キマシテ、内地ノ負擔ノ輕減ヲ圖ルト云フコトモ出來ルヤウニ考ヘマス、先程申述べマシタヤウニ、内地ノ現在ノ工業狀態竝ニ現在ノ消費ノ狀態ヨリ考ヘマシテ、矢張實際ニ於テハ暫ク現行ノ關稅ヲ据置イテ、尙ホ是等ノ發達ヲ期スルコトガ適當デハナカラウカト云フヤウナ考カラ致シマシテ、關係各省協議ノ上デ現行据置ト云フコトニ決メマシタ次第デアリマス

○永田委員 只今色々御深切ナ御話ヲ承リマシタガ、是以上意見ヲ申シマシテモ議論ニナリマスカラ止メテ置キマスガ、ドウモ綿絲關稅ノ据置ニ對スル只今マデノ政府ノ御答辯デハ、昨年ノ吾々ノ決議ヲ翻ス程ノ有力ナ御意見トハ伺ヒ兼ル、私ハ之ニ付テハ甚ダ遺憾トスル次第デアリマス、唯其事ダケヲ申述べマシテ、昨年來ノ成行ノコトハ此邊デ打切りマスガ、更ニ先程當局者ノ御答辯ノ中ニ綿業立國ナドト云フコトハ迎モ出來ナイト云フ御話デアリマシタガ、是ハ甚ダ私意外ニ思フ、吾々ノ考デハ紡績ヲ保護シヤウト云フ政府ノ御趣意、又吾々ガ關稅ヲ撤廢スル方ガ紡績モ良クナルト云フコトモ、共ニ其目的ハ綿業立國ニ置イテ居ルト思フ、政府ノ關稅ヲ据置キサレヤウト云フ目的モ、矢張綿絲カラ更ニ進ンデ綿業ニ行ク、此綿業立國トシテノ保護デアラウト思フ、然ルニ綿業立國ト云フヤウナコトハ迎モ考ヘラレナイト云フ御話デアルガ、是ハ私甚ダ不思議ニ思フ、唯私ハ一ツノ言葉ヲ取ッダゲデナイ、其時ノ御答辯ガ前後ヲ通ジテサウ云フヤウニ受取ラレル、是ハ何カ御考違ヒデナイカト思フ、モウ一度伺ッテ見タイ、ソレカラ又其ノ時ノ御答辯ノ中ニ、操業短縮ト云フコトハ容易ニ行ハレルモノデナイト云フヤウナ御話モアッタガ、關稅ト云フモノガナクナッテシマヘバ、是ハ操業ヲ短縮スルト云フヤウナコトガ是ガ全ク經濟上ノ作用ニ支配サレテ居ルモノデアルト云フ風ニ見ラレルノデアルケレドモ、今日デハ中ニサウハ行カヌ、此點ニ付テモ當局者ノ御話ニ私ハ十分納得シ兼ルノデゴザイマス、序ニ此事モモウ少シ詳シク承リタイ、更ニ今一ツハ特殊紡績ノ御話ガ飯塚サンカラアリマシタ、ソレニ對シテ當局

者ノ御話デハ日本ノ内地ニ現存シナイモノ、造ラレナイモノ、サウシテ織物ヲスル連中ハ必要デアルケレドモ市場ニナイ、斯ウ云フ飯塚サンノ先日ノ御話、ソレハ當局者モ御認メニナッテ居ッタガ、其後ノ方ガボンヤリシテシマッテ分ラナイ、飯塚サンノ御希望デハ實際市場ニナイモノ、サウシテ日本ノ紡績業者ガ造ラレナイモノデアッテ、織物業者ノ必要トスルモノハ、特殊ノ取扱ヲシテ關稅ヲ免除シタラドウカ、斯ウ云フコトデアッタノデアルガ、當局者ノ御意見ハ始ノ方ハ承認シテ居ルラシイ様子デアッタガ、終リノ方ガボンヤリシテシマッテ一向分ラナクナッタガ、サウ云フモノガアルトスレバ是ハ別ニ項目デモ設ケテ、此關稅ハ假ニ稅率ハ總テ据置トシテモ、サウ云フモノハ選リ出シテ特殊ノ取扱ヲスルト云フヤウナ御考デアリマスガ其三ツノ點ニ付テ伺ヒタイ

○宮内政府委員 其點ニ付テハ私言葉ガ簡單デ能ク其趣旨ヲ申上ゲマセンデシタカラ、此場合ニ於テ補足致シマスガ、若シ左様ニ御聽取ニナリマシタナラバ、私ノ申上ゲタ趣旨トハ大分相違スル點ガゴザイマスカラ、一應御辯明ヲ致シマス、第一點ハ綿業立國ト云フコトハ出來ナイト云フヤウナコトヲ申上ゲタトスレバ、是ハ少シ言葉ガ過ギテ居リマスカラ訂正ヲ致シマスガ、大切ナル綿業立國ノ趣意ニ付テハ永田サ

ント御同感デアリマシテ、是ハ是非左様ニ進展致シタイ、又伸張サセルヤウニシナケレバナラヌモノト考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ大切ナモノデアリマスカラ、其根本デアル綿絲紡績ニ付キマシテハ各方面ニ今日脅威ヲ感ジ努力ヲ要シテ居ル次第デアリマスカラ、此際ニ於テハ關稅ノ撤廢ト云フコトハ暫ク見合セマシテ、將來ノ推移ヲ見テ成ベク綿絲紡績ノ工業ニ安定ヲ與ヘマシテ、脅威ナキマデニシナケレバナラヌ、今日ノ支那ニ於テ關稅ガ増徴セラルル議モアルコトデアリマスシ、印度方面ニ於キマシテモ容易ナラヌ狀勢ニアル時デアリマスカラ、聊タリトモ脅威ヲ感ビヌヤウニシテ、綿業立國ノ主義ヲ立テテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、次ニ操業短縮ノコトデゴザイマスガ、是モ甚ダ簡單ニ申上ゲタノデ、御了解ガナカタモノデ遺憾ニ存ジマスガ、操業短縮ト云フコトニ付キマシテモ、成程現行ノ關稅ガゴザイマスレバ、幾分之ニ依リマシテ所謂操業短縮ト云フモノヲ助長スルヤウナ傾ハアルカモ知レマセヌガ、併ナガラ操業短縮ト云フモノハサウ容易ニ行ハルベキモノトモ考ヘテ居リマセヌ、ノミナラズ是ガ關稅ヲ取ルト云フコトハ外ノ意味カラ色々申上ゲテゴザイマスガ、兎モアレ今日ハ斯ウ云フヤウナ事情ニアルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデゴザイマス、三點ノ特殊綿絲ニ

付キマシテハ、是ハ他ノモノト特殊綿絲トヲ區別シテ關稅ヲ盛ルト云フコトニ付テノ考慮ヲ隨分致シマシタ、技術家ニ於キマシテモソレヲ區別スルコトニ付キ十分考究ヲ致シタノデゴザイマスガ、是ガ區別ヲシテ關稅ヲ盛ルト云フコトガ容易ニ出來ナイト云フ結果カラ歸著致シタモノデアリマシテ、實際區別ガ困難デゴザイマス、今日容易ニ行ハレナイト云フコトヲ申上ゲマシタ、又一面ニ於キマシテモ從來サウ云フ綿絲ヲ造ツテ居ルモノモアルソウデアリマスガ、未ダ今日入ッテ來ル數モサウ澤山ハナイノデアリマス、ソレ等ノ點ヲ考慮致シマシテ十分ニ將來研究ヲシタイ、斯様ニ申上ゲマシタ、特殊綿絲ニ付キマシテ、將來段々成功ノ域ニ進ミ、マンチエヌスターグーズ」マデ進ンデ行クト云フコトハ、是ハ飯塚君モ言ハレテ居リマスガ、是ハ至極同感デ、漸次斯様ナ方面ニ進ンデ行カナケレバナラヌト承知シテ居リマス、是ガ爲ニ一面ニ於キマシテ、ソレ等ノ研究ヲ致シ、原毛ヲ以テソレヲ精製シ、更ニ染メテ仕上ゲルト云フコトニ付テハ餘程研究ヲ經ナケレバナラヌ次第デアリマスノデ、將來ニ於テハ洵ニ大切ナルコトデアリマスカラ、其方面ニモ進ンデ行キタイト考ヘテ居ルト同時ニ、紡績業者ノ間ニ於テハ、先程飯塚君モ述ビナリマシタガ、中々サウ云フモノヲ作ッテ吳レナイヤウナ點モアルノデ、ソレ等

ノ紡績業者ニ於テモ漸次ニ左様ナ物ヲ作ルヤウニシテ、又ソレヲ利用スル方ニ於テモ注文ヲ以テ其間ニ圓滑ニ品物ガ自然ニ出來ルヤウニ、綿絲業者並ニ綿布業者共同シテ國運ノ發達ヲ遂ゲテ行クコトヲ期シテ居ル次第デアリマス、斯クシテ綿業立國ノ實ヲ舉ゲルヤウニ考ヘテ居リマス

○加藤委員長 ソレデヤ二百七十一
○長田委員 二百七十一、二百七十四、二百八十二ノ三ツニ付テ御尋スルコトヲ御許シ願ヒマス、棉ノ栽培ニ付テハ内地モ植民地モ絶望ト云フコトニ今日デハナツテ居リマセウカ、尙ホ新聞ヲ見マスルト、鐘ヶ淵紡績會社ガ伯刺西爾ニ於テ日本内地ノ面積ニ同ジクスル位ノ地ニ棉ノ栽培ヲスルト云フ事デ政府ハ之ニ對シテ保護ヲ與フルト云フヤウナ事ヲ書イテアリマシタガ、サウ云フ風ナ企ガアレバソレモ伺ヒタイ、ソレカラ麻ニ付テモ内地ハ見込ハナイカドウカ其點モ……

○加藤委員長 今農林省ノ當局ハ居ナイサウデアリマスカラ
○長田委員 ソレデハ後ニ致シマセウ
○加藤委員長 サウスルト佐々木君
○佐々木(平)委員 私ノ御尋致シタイト思ヒマスノハ、二百八十二ノ羊毛ニ付テデアリマスガ……

○宮内府委員 御尋ノ問題ニ付テハ主稅局長カラ御答スルコトニナツテ居リマスカラ

○岩切委員 ソレデハ二百七十三ニ付テ私ハ知ラヌ事デスガ、當業者ノ言フ所ニ依ルト、改正案ニ依リマス、二百七十二號ノ二ノ甲二十八圓トアルノヲ三十九圓二十錢ト改メ、同ジク乙其他三十圓ヲ四十一圓二十錢ニ改メ、二百七十三號ノ一甲「生」モノ「二十八圓ヲ三十九圓二十錢ニ改メ、乙」其他「三十圓ヲ四十一圓二十錢、斯ウ云フ風ニ改メタ、區分サレタ理由ハ定メシ精製品ト半製品トニ依テ之ヲ分タレタモノダラウト思ヒマスケレドモ事實當業者側カラ言ウト半製品ト云フ名目ノ中カラ精製品ガ輸入サレル、例ヘバ刺繡糸トカ精製シタ撚糸トカ云フヤウナ種類ノ嗜好品ニ類スルモノガ入ッテ來ル、斯ウ云フ風ナ分類ハ自然其間ニ外國品ノ輸入ニ一種ノ關稅ヲ潜ッテ精製品ガ入ルト云フ結果ヲ來スノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ分類ヲスルコトハ宜シクナイデヤナイカト云フ事ヲ申シテ居ルノデアリマスガ、ソレハ若シサウデアルトスレバ、改メテサウ云フ餘地ノナイヤウニ修正シテ貰ッタラドウカ、斯ウ思フノデアリマスガ、之ニ對スル御意見如何デスカ

○矢部政府委員 只今岩切サンノ御尋ハドウモ要領ヲ會得シマセヌデスガ……

○岩切委員 ソレデハ宜シウゴザイマス、之ヲ上ゲマセウ
○佐々木平委員 私ハ只今伺ッタノデ

アリマスガ、第二百八十二號羊毛中ノ「カード」又ハ「コム」シタルモノ毎百斤十四圓五十錢ト御改正ニナッテ居ルガ、此「カード」シマスルモノハ新シイモノ許リデナク、古い屑物或ハ毛織物カラ生ズル所ノ、原語デ申シマスルト「シヨッデイ」トカ申シマスルガ、是等ハ中ニ含ムノデアルカ、又ソレ等ハ全ク除外サレルノデアリマスガ、此點ニ付テ御所見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○黒田政府委員 只今御尋ノ古い毛ヲ「カード」シタヤウナモノハ、是ハ矢張羊毛ノ「カード」又ハ「コム」シタモノデアッテ、十四圓五十錢ヲ課稅サレルノデアアルカト云フ御尋ト伺ッタノデアリマスガ、此二百八十二號ニ掲ゲテアリマスモノハ、是ハ絲ニシタモノデアリマシテ、之ヲ「カード」又ハ「コム」シマシテ、ソレカラ更ニ絲ニ織ルト云フモノニ大體出來テ居ルノデアリマス、只今御尋ノ方ハ、是ハ古毛ノ事デアリマシテ、是ハ或ハ古い羅紗等ヲクヅシマシテ、ソレヲ解グシテ毛ニスル、元ニ戾シマシテ、ソレヲ唯假ニ揃ヘタニ過ギナイモノデアリマス、是ガ即チ只今御尋ノ「シヨッデイ」ト言ハレテ居ルモノデアアル、是ハ二百八十二號ニ這入ルモノデナクシテ、二百九十五號ノ古い毛ノ纖維、屑纖維ト共ニ、無稅ノ取扱ヲ致スベキモノト考ヘテ居リマス

○山本委員 此羊毛、山羊毛及駱駝毛ハ、原料トシテ悉ク無稅ニサレテ居リマスルガ、一方ニ駱駝デアルトカ、若クハ最モ高價ナ毛織物ノ原料ハ、總テ無稅トナッテ居リマス、其點ニ對シテハ何カ御考慮ヲ拂ハレタコトガアルノデアリマスガ、同ジ毛デモ、極ク安イ普通ノ毛ガアリ、物ニ依テハ全ク贅澤品モアル、所ガ原料ヲ除外ハ全部奢稅稅ガ掛ッテ居ル、唯原料ナルガ故ニ一切無稅ニナル、成品ナルガ故ニ贅澤品トナリ、十割ノ最モ重イ奢稅稅ヲ課スルト云フコトガアリマスガ、此關稅ノ改正率ヲ御定メニナル時ニ、何カ御考慮デモアッタカ、ドウカト云フコトヲ伺ッテ置キタイ

○黒田政府委員 茲ニ掲ゲテアルノハ羊毛、山羊毛、駱駝毛デアリマスガ、羊毛デアリマシテモ、中ニハ上等ナ毛ガアルニ拘ラズ、總テ是等ノ物ヲ一括シテ無稅ニシテ居ルガ、ドウ云フノカト云フ御尋デアリマスガ、此趣旨ハ大體ニ於キマシテ、羊毛、山羊毛、駱駝毛ノ如キハ、未ダ内地ニ於テ殆ド出來ナイノデアリマス、内地ニ生産ガ出來ヌノデアリマス、而モ是等ノ原料モ、竝ニ毛織物ト云フモノハ、段々需要ガ増加シテ來ルノデアリマスカラ、是等ノ絲以後ニ付キマシテハ、成ベク之ヲ内地ニ於テ發達サセタイ、海外ニ仰グヨリモ、内地ニ於テ發達サセタイト云フ考ヲ持チマシテ、其原料ニナル絲、即チ内地デ出來ナイ物ニナッテ居ル羊毛類ハ、之ヲ

無稅ニスルノガ適當デアルト云フノデ無稅ニ致シタノデアリマス、中ニハ御話ノヤウニ、羊毛ノ中ニハ上等ノ物モアルノデアリマスガ、是等ヲ一々區別致シマシテ課稅スルコトハ困難デアリマス、大體前申シマシタヤウニ、絲以後ノ「カード」「コム」モ同様デアリマスガ、成ベク之ヲ内地ニ於テ發達サセタイト云フ趣旨カラ、其原料タルモノハ總テ無稅ニスルコトニ致シタノデアリマス

○山本委員 工業ヲ保護スルト云フ意味ニ於テノ御處置ハ、御尤ト思ヒマスガ、高等政策ノ上カラ見テ、例ヘバ駱駝ノ毛ノ「シャツ」ニ對シテハ、一方デ十割ノ稅ヲ課シテ、一方デハ原料デ入レテ日本デ作レバ無稅デアルト云フ、如何ニモ高等政策ノ上カラ見テ、稅ノ不公平ヲ來タス、成品デ這入ッテ來ル物ハ十割、原料デ這入レバ無稅、是デハ表デケ締メテ裏ヲ開ケ放シテアル、成程工業保護カラ來レバ、御說ノ通りデアアルガ、其意味ハ合ハヌ、一方ニ於テハ同ジ物デ贅澤稅ヲ課シ、原料デ這入ルカラト云ウテ無稅ト云フコトハ不合理デアアル、此點ニ對シテ何カ御考ガアルノデアリマスガ

○山本委員 勿論全體ノ關稅トシテハ、只今御話ノ如クデ、贅澤稅トノ關係ハ考慮シテ居リマス、只今駱駝ノ「シャツ」ハ贅澤稅ヲ課セラレルト云フ御話ガアリマシタガ、毛織物ノ「シャツ」

ナドハ贅澤稅カラ除イテ居ルノデアリマシテ、大體絹ガ這入ッテ居リマセヌ毛織物ハ、贅澤稅カラ除イテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ其點ニ於キマシテハ、必シモ牴觸ハ致サナイト考ヘタノデアリマスガ、唯其中デモ上等ノ毛ト普通ノ毛ガアルト云フコトハ勿論デアリマス、其點ハ區別ガ中ニ困難デアアルシ、又大體先程申上ゲタ趣旨カラ課稅致シタノデアリマス、必シモ此點ニ於テハ贅澤稅ト關聯致シマセヌ

○飯塚委員 一寸ソレニ關聯シテ伺ヒタイト思ヒマスガ、今山本君ノ質問モ大體其國家ノ國策トデモ言ヒマスガ、關稅政策デハナクシテ、毛絲ト云フモノニ對スル國策ト云フモノニ付テ、何カ御研究ガアッタノデハナイカト云フ御質問ノヤウニ承リマシタ、關稅ハ唯是デ宜イトカ、惡イトカ言フノデナイト思ヒマス、是ハ最モ重大ナル問題ト思ッテ居リマス、商工省ナドニテハ餘程御研究願ハナケレバナナイ問題ガ山本君ノ質問ノ中ニ含マレテ居ルト思フ、商工省ノ御方ハ是非一ツ是ハ御研究ヲ願ヒタイ、ソレハ一體毛織物ト云フモノハ實ニ必要ナ物デ、是ハ暖カクスルニハ毛ガ一番宜シイ、毛織物工業ハドウシテモシナケレバナラヌケレドモ、日本ノ毛織物ニ使フ毛ト云フモノハ、是ハ皆外國カラ買フ物デアアル、日本デ緬羊ノコトナドニ付テドウナサッテ居ルカ知ラヌガ、是ハ見込ガ無い、ソレ

デはハ自然ニ任セルト云フト、皆日本人ハ毛ガ暖カイ、駱駝ノ「シャツ」ガ宜イト云フノデ、毛織物ヲ買フヤウニナッテシマツテ、原料ノ毛ノ無イ此日本デ、將來ドウナルカト云フコトヲ考ヘルト、毛織物ニ付テハ餘程國策ヲ考ヘナケレバナラヌト思フ、是カラ大體毛織物ハ使ハナイヤウニシナケレバナラヌト思フ、是ガ根本ニ於テ違ッテ居ル、現ニ「モスリン」ノヤウナモノハドウ考ヘルカ知リマセヌガ、是ハ一番日用品ダト云フヤウナ考デ使ッテ居ルガ、アノ原料ノ毛ト云フモノハ皆外國カラ來テ、而モ一番高イモノガ日本ニ來テ居ル、英吉利アタリデハ、日本デハ斯シナ上等ノ毛ヲ持ッテ行ッテ何ニスルダラウト言ッテ、馬鹿ノ國ダ、贅澤ノ國ダト言ッテ笑ッテ居ルト云フ事情ガアリマス、此一番高イ毛ヲ日本ニ入レテ何ニスルカト云ヘバ「モスリン」ニ使フ、「モスリン」ト云フモノハ唐縮緬トカ云フヤウナ大變宜イヤウダケレドモ、ソレガ皆子供ノ着物ニナル、屑ニナッテシマウ、サウシテ浪費サレテシマッテ居ル、斯ウ云フヤウナ有様デアリマスカラ、何時迄モ是ガ續ケバ、山本君ガ言ハレタヤウニ唐縮緬亡國論デ「モスリン」ヲ好ンデ日本ガ使ウヤウニナレバ、遂ニハ國ガ亡ビテシマフ、斯ウ云フ場合デアルカラ、此毛織物ニ付テドウシヤウカト云フコトハ、農林省ナリ商工省デハ、高等政策トシテ主トシテ考ヘナケレバナラヌト

云フコトガ山本君ノ御質問ニアルト思フノデアリマス、ソコデ此毛織物、駱駝ノ毛トカ、或ハ羊毛ト云フヤウナモノハ、如何ニシテカ輸入ヲ減ズルヤウナ方針ヲ立テナケレバ、遂ニハ毛織物亡國論ト云フヤウナ結果ニナル、サウシテソレニ代ヘル所ノモノハ何ガアルカト云ヘバ、絹ガ有リ餘ッテ困ル程デアル、此レノ賣物ガ無イ、亞米利加ニバカリ使ッテ貰ッタデハ困ル、日本デモ毛ノ代リニ生絲ヲ使フト云フコトヲシテ、サウシテ毛ノ輸入ヲ止メテ絹ヲ澤山使ッテ、輸入ト輸出トノ間ヲ調和シテ、適當ナ國策ヲ立テルト云フコトハ、纖維工業ニ付テノ大議論デアアル、是ハモウ必ズ其議論ト云フモノガ今日ハ起ラヌカモ知レマセヌケレドモ、近キ將來ニ起ル時期ガアルト思フ、ソレヲ唯輸入スルカラト云ッテ、輸入ニ任セテ置クト云フヤウナコトハ、纖維ノ原料工業ニ對スル國策ガ立タナイモノト思フ、是ハ山本君ガ大ニ憂慮セラレル點ハ其處ニ在ルダラウト思フ、ソコデサウ云フコトデアリマスカラ、是ダケノ事ハ一ツ御説明ヲ願ヒタイト云フノデアリマス、今此表ニ付テ見マシテモ、例ヘバ毛織物ノ中ノ丙ノ一、「イ」ロ「トアル、其「イ」ノ如キハ何カト云ヘバ、所謂毛絲デス、是ガ五千何百萬トカ入ッテ居ッテ、是ガ子供ノ肩掛ケダノ其他ノ無駄ナ物ニナッテシマフ、毛織物ヲ學校デ教ヘルトカ云ッテ、大變宜イヤウデアアルケ

レドモ、皆ソナ事デ無駄ニナッテシマフ、アア云フ高イ物ヲ買ッテ浪費サセルト云フヤウナコトヲ自由ニサセテ置イタナラバ、特ニ贅澤品ヲ設ケテ趣意ガ何ニモナラヌ、此丙ノ一「イ」ト云フ「メートル」式番手三十二番ヲ超エサルモノトアル、是位ツマラヌモノハナイ、是ハ非常ナ贅澤品デアリマス、是等ハ何トカシテ贅澤品ト云フモノヲ特ニ課稅サレルト同時ニ、何カノ方策ニ依テ之ヲ成タケ使ハセナイト云フ方法ガ御考ナケレバナラヌ答ダト思ヒマス、之ニ付テハ何トカシテ欲シイ、此丙ノ一「イ」ト云フモノハ毛絲デアアル「ロ」ト云フノハ「モスリン」若クハ「セル」ノ毛デアアル、是ハドウモ宜クナイ物デアアル、子供ノ使フ毛絲ト云フヤウナ物ハ、何トカシテ制限シテ、浪費サセナイヤウニスルト云フコトニ付テ、此關稅率ヲ決メル時ニ考慮ヲ拂ハレタカ、拂ハレテモ或ハ製造工業ヲ保護スルト云フヤウナコトデ、方法ガナクテ斯ウ云フ事ニシタノデアアルカドウカ、或ハ考慮シタケレドモ、差支ナイト云フ考デ居ッタカ丙ノ一「イ」ニ付テノ何カ御考慮ガアッタカ無イカラ伺ヒタイ、ソレヲ以テ商工省ノ纖維工業ノ原料ニ對スル所ノ政策ガドウ位ノ程度ニアルカト云フコトヲトスルニ足ルト思フ

○矢部政府委員 一應例ノ上カラ御説明申上ゲタイト思フ、只今ノ飯塚代議士ノ御尋ハ御尤ト思ヒマス、デ今回ノ改正案ハ、御話ノ如ク羊毛竝ニ「トップ」ノ輸入額ト云フモノガ一億圓ヲ超エテ居ル、毛絲ノ輸入額ガ五千萬圓ヲ超エテ居ル、毛織物ガ輸入額五千何百萬圓、合セマス二億何千萬圓ニナル、是ガ段々殖エテ來マシタノハ、矢張洋服等ノ流行ニ連レテ殖エテ來マシタガ、近來ハ女子ノ子供ガ之ヲ着ルヤウニナツタ、是ガ中ニ大キイノデ、俄ニ殖エテ參リマシタヤウデアリマス、將來モ益増進シテ止マナイコトト考ヘマスノデ、二億カラ三億ニナルノハ遠キ將來デハナカラウト考ヘテ、私共ハ皆憂ヘテ居ル次第デアリマス、併ナガラ之ヲドウ云フ風ニ調節シテ行クカト云フト、羊毛デ供給スルコトハ差當リムヅカシイ、農林省ニ於テ努力シテ居ルケレドモ、イキナリ羊毛ノ自給自足ト云フコトハムヅカシイ事デアアル、植民地ニ於テモ内地ニ於テモ、供給スルコトヲ計畫シナケレバナラヌガ、今之ヲドウスルト云フコトハ、到底出來ナイ事デアアル、ソレ故ニ羊毛以上ノ保護ヲ加ヘタ物ニ付テ考ヲ及ボサナケレバナラヌ、毛絲モ矢張自給スル策ヲ立テナケレバナラヌ、毛織物ニ付テモ自給スル所ノ策ヲ立テナケレバナラヌ、是等ニ付キマシテ先ヅ以テ「トップ」ノ製造カラ考ヘナケレバナラヌ、「トップ」ガ内地ニ於テ製造サレルヤウニナリマスレバ、屑毛ガ出來ル、此屑毛ナルモノガ第二ノ絲ヲ造ルノニ最モ重要缺クベカラザル物デア

ル、即チ安イモノヲ造ル上ニ於テモ非

常ニ都合ガ好イ、一方洋服ガ流行シテ、

毛織物類ガ内地ニ殖エマスレバ、是亦

非常ニ都合ガ宜シイノデアリマシテ、

其意味ニ於キマシテ「トツ」ニハ今回

稅ヲ掛ケルト云フコトニ致シマシタ、

ソレカラ生絲ニ付キマシテモ、御尋ノ

通り注意ヲ加ヘテアリマス、此「メ」ト

式三十二番ヲ超エザルモノニ付キ

マシテハ二十七圓七十錢、其他ノ細絲

ニ付キマシテハ三十二圓四十錢ト云フ

譯ニナツテ居リマシテ、是ハ細絲ノ方ニ

付キマシテハ、只今御話ノ如ク諸方面

ニ於テ女學生ガ濫費ヲスル形迹ガアル

ト云フノデ、是ハ贅澤稅ヲ設ケルトキ

ニ當ツテ問題トナツテ、大ニ詮議ヲ致シ

マシタガ、何分細絲ダケニ使ハレルモ

ノヲ區別スルコトガ出來ナイノデ、餘

儀ナク通ガシタノデアリマシテ今回ノ

改正ニ當リ十三圓二十錢ヲ二十七圓七

十錢ニ引上ゲマシタ——佛蘭西協定ガ

アリマスノデ二十七圓七十錢ガ適切ニ

掛ケラレルノデアリマス「ロ」ノ方ノ絲

ハ佛蘭西協定ガアリマシテ、三十二圓

四十錢デアリマスケレドモ七十五「パ

ーセント」四ガ佛蘭西協定ニナツテ居リ

マシテ、實際課稅ヲ受ケルモノハ二十

ニ出來テ居ル積デアリマス

○加藤委員長 山内君

○山内委員 二百八十三ノ丙ノ「ロ」ニ

付テ、從來十七圓五十錢ガ三十四圓、其

他一割ノガ七步五厘ニナツテ居リマス、

是ハ私ハ能ク存ジマセヌケレドモ「モ

スリン」ノ原料デハナイカト思ヒマス

「モスリン」國論モ飯塚君カラ御話ガ

アリマシタガ、當業者ノ陳情ニ依リマ

スト、無稅ノ原毛ヲ輸入シテ製織スル

事業家ハ大變都合ガ好イ、ソレハ紡織機

ヲ備ヘテ居リマスカラ、サウ云フヤウ

ナ五六ノ大キナ會社ハ、關稅率ノ引上

ハ便宜デアアル、而モサウ云フ會社ハ矢

張「モスリン」等ヲ製造シツツアルノデ

アル、所デ「モスリン」或ハ「セル」ノ如

キ薄物ヲ織ル紡織機ヲ持タナイ小資本

家ハ、此關稅ノ引上ニ對シテ非常ニ不

利益ヲ來シテ、五六ノ會社ヨリ自己ノ

事業ヲ奪ハレルヤウニナル、而シテ需

要ノ多イ「モスリン」ガ高クナツテ、國民

生活ヲ脅威スルヤウニナリハシナイカ

ト云フ陳情ガ出テ居リマス、ソレカラ

次ハ稅番ノ三百一、二ノ甲ノ「イ」ニ屬

スル毛織物ガ從來ノ儘デアルトスレ

バ、外國ノ製品ガドシ——這入ツテ來ル

ノデアアル、ソチラノ方ハ以前ノ儘デ關

輸入ガ益多クナル、之ガ爲ニ吾々ノ

活計ガ出來ナイト云フコトヲ訴ヘテ居

リマスガ、政府ノ之ニ對スル御所見ハ

如何デアリマスカ

○大山商工技師 「モスリン」業者ノ中

ニハ、大キナ會社ト小工場ト大體二ツ

ニ分ケ得ルノデアリマスガ、大會社ハ

「モスリン」ノ專業者デアリマシテ、小

工場ノ方ハ、内地ノ「モスリン」ノ値段

ト輸入絲ノ市價ノ鞘ヲ見マシテ、景氣

ノ好イトキハ輸入絲ヲ以テ製織スル、

景氣ノ惡イトキハ轉業ヲスル、所謂隱

現自在ト云フ業者デアリマスカラ「モ

スリン」業ニ付テハ專業者ヲ考ノ中心

ニシナケレバナラスト云フコトニナル

譯デアリマス、ソレデアリマスカラ「モ

スリン」自體カラ申シマス、大會社ヲ

保護スル傾ニナルコトハ已ムヲ得ナイ

ト思ヒマスガ、毛絲ノ關稅引上ニ依テ

毛絲ノ事業ガ日本ニ興ルヤウニナリマ

シタ折柄カラ申シマス、原料ノ事業

ガ振ハナイデ、織物業ダケ發展スル譯

ニ參リマセヌ、毛絲ノ關稅引上ニ依テ

事業ガ圓滿ニナレバ、内地ノ毛絲ヲ使ッ

テ居ル小工場ノ企業モ安全ニナリマス

カラ、輸入絲ガ少シ高クナルト止メナ

ケレバナラスト云フヤウナ不安定ハ緩

ナリマセヌ、矢部政府委員カラ御話ノ

如ク「モスリン」業者ノ立場ヲ考慮致シ

マシテ、太絲ヨリ細絲ノ率ヲ非常ニ低

クシテ居リマスノデ、其點ハ政府トシ

テモ十分ニ考慮シタノデアリマス、ソ

レデ毛絲ノ方ヲ引上ゲテ、ナゼ「モスリ

ン」ニ屬スル毛織物ノ關稅ヲ其儘ニシ

タカト云フ御意見デアリマスガ、「モス

リン」ハ既ニ相當ノ發達ヲ致シマシテ、

多少毛絲ヤ「トツ」ノ關稅ガ引上ニ

ナツテモ、外國ノ影響ヲ受ケルコトハナ

イト云フ確信ヲ持ツテ居リマスノデ、斯

ノ如ク致シタノデアリマス、附加ヘシ

申シマスガ、毛絲ヲ上ゲレバ「モスリ

ン」ガドノ位影響ヲ受ケルカト云フト、

ソレハ極メテ僅カデアリマシテ、「ヤ

ール」一錢二三厘ニシカ當リマセヌ程

度デアリマス「モスリン」ノ値段ヲ一

「ヤール」ハ、九十錢ト致シマス、一歩

程ノ影響ニシカナリマセヌノデ、之ニ

依テ小「モスリン」工場ガ廢業スルウヤ

ナ打撃ハ全然無イト思ヒマス

○山内委員 尙ホ御尋致シマスガ、稅

番ノ三百一ノ二ノ甲……

○加藤委員長 三百一ハ後ニシテ下サ

イマセヌカ

○山岡委員 イヤ、ソレニ關聯シテ居

リマス

○加藤委員長 サウデスカ

○山内委員 ソレガ爲ニソレヲ從來ノ

五十五圓ニ據置キニナツテ居ルカラ、海

外カラ「モスリン」ガ輸入サレテ來ル、

稅引上ト相俟ツテ其率ヲ定メナケレバ

益ヲ受クルコト尠クナイト思ヒマス、

而シテ毛絲ノ關稅引上ハ「トツ」ノ關

稅引上ト相俟ツテ其率ヲ定メナケレバ

益ヲ受クルコト尠クナイト思ヒマス、

而シテ毛絲ノ關稅引上ハ「トツ」ノ關

稅引上ト相俟ツテ其率ヲ定メナケレバ

益ヲ受クルコト尠クナイト思ヒマス、

而シテ毛絲ノ關稅引上ハ「トツ」ノ關

稅引上ト相俟ツテ其率ヲ定メナケレバ

益ヲ受クルコト尠クナイト思ヒマス、

而シテ毛絲ノ關稅引上ハ「トツ」ノ關

稅引上ト相俟ツテ其率ヲ定メナケレバ

益ヲ受クルコト尠クナイト思ヒマス、

而シテ毛絲ノ關稅引上ハ「トツ」ノ關

稅引上ト相俟ツテ其率ヲ定メナケレバ

益ヲ受クルコト尠クナイト思ヒマス、

而シテ毛絲ノ關稅引上ハ「トツ」ノ關

稅引上ト相俟ツテ其率ヲ定メナケレバ

益ヲ受クルコト尠クナイト思ヒマス、

而シテ毛絲ノ關稅引上ハ「トツ」ノ關

稅引上ト相俟ツテ其率ヲ定メナケレバ

ソレデ是ハ所謂大會社ダケノ保護ニ
ナツテ、吾ミノヤウニ紡織機ヲ持タヌ者
ハ非常ナ困難ニ陥ルト云フコトヲ述ベ
テ居ル、所ガ今既ニモウ内地ノ「モスリ
ン」業モ相當ニ發達シタカラ、決シテ此
輸入品カラ壓迫ヲ受ケルト云フヤウナ
考ハ無イト云フ御見込ノコトヲ、今商
工技師カラ御説明ニナツテ居ル、能ク私
等ハ此當業者ノ事情ハ能ク分リマセヌ
ガ、果シテ政府ガ今仰シヤルヤウナ事
情デアレバ、先刻飯塚君カラ言ハレル
ヤウナ、斯ノ如キ贅澤品ニモ屬スルヤ
ウナ不經濟ノ物ヲ輸入スルト云フコト
ニ致シテハ、強チ此率ハ不當デモアル
マイト思ヒマスケレドモ、私ノ間ハン
ト欲スル所ハ、動トモスルト政府ノ改
良政策希望ノ爲ニ、中産階級ノ事業家
ヲ壓迫スル、斯ウ云フ傾ガアリハセン
カ、此事ヲ私ハ憂ヘテ居ル、總テノ方面
ガ所謂資産階級ノ大工業者ハ保護ヲ受
ケテ、小工業者ハ保護ヲ受ケナイト云
フヤウナ傾ガアリハセンカ、此點ヲ私
ハ憂ヘテ居ルモノデアリマス、果シテ
小工業者ガ今仰シヤルヤウニ脅威ヲ受
ケナイモノトスレバ結構デアアル、今少
シク此小工業者ニ脅威ヲ與ヘナイト云
フコトノ何等カモウ少シ明確ナ理由ハ
ナイデセウカ、モウ一應御所見ヲ伺ヒ
タイ

リマセヌ、私共カラ致シマスト云フト、
小工業トシテノ毛織物業者、大工業ト
致シマシテノ毛織物業者トハ、各立場
ガ違フノデヤナイカト思ヒマス、小工
業ハ小工業トシテ發達スベキ自ラ徑路
ガアリマスノデ、サウ云フヤウナ方面
ヲ考慮致シマスレバ致シマス程、原料ノ
供給ガ内地ニ無イト云フコトハ、甚ダ
將來ヲ考ヘルト云フト不安ニ堪ヘナイ
ノデアリマス、ソレデ此毛織ノ關稅引
上ハ、日本ニ毛織専門ノ工場ヲ成ベク
餘計ニ作ラセタイト云フコトデアリマ
シテ、取モ直サズソレヲ需要スル諸リ
紡績ヲ持チマセヌデ織物ヲ造リマス小
工業者ヲ助ケルト云フコトノ幾分カ助
ケニシタイト云フヤウナ意味ガ含マレ
テ居リマスノデ、小工業者ヲ寧ロ保護
スルヤウナ意味ニナツテ居リマス、決シ
テ御心配ニハ及ビマスマイト思ヒマ
ス

○山内委員 今少シ、只今ノ御説明デ
能ク分リマシタガ、今日ノ毛織ヲ製造
致シマス所ノ紡績業者ハ内地ノ小工業
者ニ供給スルダケノ毛織ハ今アルデセ
ウカ、今ノ小工業者ハ内地產ヲ多少ハ
使ツテ居ルノデゴザイマモウカ、全ク外
國品ノミニ俟ツテ居ルノデゴザイマセ
ウカ、實際ノ狀況ハ如何ナモノデゴザ
イマセウカ

○大山商工技師 只今ノ所デアリマス
ト云フト、毛織ニ對スル關稅ガ非常ニ
低イノデアリマシテ歐羅巴戰爭以來獨
逸ノ爲替ガ下ツタリ、佛蘭西ノ爲替ガ
下ツタリ致シマシタ關係上、甚ダ毛織ノ
供給力ハアリマシテモ、思フヤウニ供
給ハシテ居ラス、併ナガラ少クモ五百
萬封度以上ノ毛織ハ内地ノ毛織ニ依テ
現在供給サレテ居ルガ、是ダケデハ勿
論足ラスノデアリマスガ、現在ノ能力
ヲ發揮シテ且現在新設ニ着手シテ居ル
相當大キナ計畫モアリマスノデ、ソレ
ガ成立チマスレバ殆ド日本ノ需要ニ應
ズルコトハ差支ヘナイト思ハレマス

○加藤委員長 長田君、二百八十二ニ
質問ガアリマスカ

○長田委員 アレハ今小山次官ニ渡シ
マシテ御調査ノ書類ヲ頂クコトニナツ
テ居リマス

○加藤委員長 二百八十三——奥村千
藏君

○奥村委員 只今山内委員カラ御尋ニ
ナリマシタガ、私モ矢張二百八十三ノ
稅番ニ就テ當局ニ御尋シタイノデアリ
マスガ、只今大山技師ノ御答ニナリマ
シタ内地ノ毛織機ト申シマセウカ、之
ヲ持ツテ居ル會社ノ生産力ハ優ニ内地
ノ需要ヲ充タスヤウナ御話デアリマシ
タガ、是ハ私共ノ手許ニ來テ居ル日本
羊毛工業會ノ陳情書デアリマスガ、其
陳情書ノ中ニハ色ミノ會社ガアリマシ
テ、其中ニハ毛紡機ヲ持ツテ居ラスモノ
ガ澤山アルノダガ、是等ノ會社丈ケデ
ハ需要ヲ充タスニ足ルモノデハナイト
私ハ思フ、現ニ愛知縣等デハ茲ニ今稅

番二百八十三ニ載ツテ居ル所ノ絲ハ、是
ハ合セテ日本ノ和服トデモ言フカ「セ
ル」地——和服用ノ「セル」地ヲ拵エテ
居ルノデアリマスガ、是等ハ大山技師
ノ御見解ト違ヒマシテ、私ノ聞ク所ニ
依ルト是ハ殆ド輸入品ニ俟ツテ居ル、若
シ是ガ輸入品二百八十三番ノ如ク、今
度ノ改正率ガ高クナルト云フト大工業
組織ノヤウナ組織ノ下ニヤツテ居ル會
社ヨリハ、在來カラアツテ日本ノ綿織物
業カラ變テ參リマシタル毛織物業
等ガ破「壞」サレルヤウニ思フ、現ニ早ヤ
既ニ愛知縣等デハ非常ナ打撃ヲ被リツ
ツアルヤウデアリマス、ソレハ何デア
ルカト申シマス、資金ノ關係ヤラ或
ハ其日本ノ毛紡機——現ニ私ハ岐阜縣
ノ大垣ニ居リマスガ、大垣ニハ大山技
師ノ豫想サレテ居ルガ如ク、中央毛織
ト云フ非常ナ生産力ヲ持タウトシテ生
レツツアル所ノ會社ガアル、此會社ガ
完成スルト或ハ貴方ノ理想ガ實現スル
カモ知レマセヌガ、ソレハ他ノ洋服地
等ノ織物ニ致ス所ノ原料絲ヲ生産スル
ノデハナカラウカト思ヒマス、ドウカ
其邊ニ就テ若シ政府ニ御調ガアリマシ
レナラバ具體的ニ御説明ヲ願ヒタイ

○大山技師 只今ノ御質問ハ小工業者
ハ打撃ヲ受ケルヤウニナツテ、大キナ工
場ダケガ利益ヲ受ケルノデハナイカト
云フコトデアリマスガ、先程御答シタ
ノデ大體盡キテ居ルヤウニ思ヒマス
ガ、現在ノ毛織ノ生産力ハ紡績ノ錘數

カラ言ヒマス云フト……

○奥村委員 毛絲ノ鍾數等ヲ御示シ願ヘマス結構デス

○大山商工技師 計畫中ノモノデアリマス云フト、名古屋ニ日本毛織ガ計畫シテ居ルノガ一番大キイ、是ハ四萬鍾トカ五萬鍾トカ聞イテ居リマス、ソレカラ先程申殘シマシタガ、日本ノ毛絲ハ寧ろ外國ノ輸入毛絲カラ比較致シマス、技術ノ劣テ居ルト云ヘバ劣ッテ居ルノデアリマスガ、原料等ニ就テハ寧ろ良イノデアリマス、毛絲ハ寧ろ内地物ノ方ガ宜イト云フノガ一般ノ評デアリマシテ、其點カラ行キマス云フト日本ノ生絲業ハ技術ノ點ハ顧慮スル必要ハナイノデアリマス、計畫サヘ進メバ需要ヲ充タスコトハ容易ナコトト信ジマス、大垣ノ中央毛絲、日本毛織、是等ガ今ノ所デハ主ナル毛糸ノ供給者デアリマス

○奥村委員 今鍾數ノ御話ヲ承リ稍了解致シマシタガ、サウスルト地方ニア和服用ノ「セル」地ノ原料ナドニモ供給シ得ラレルト御考デアリマスカ

○大山商工技師 其通リデアリマス

○奥村委員 サウスルト今ノ政府委員ノ御説明ニ依ルト近イ中ニ原料絲ガ内地ノ織物業者ニ依テ出來ル、ソレマデニ確立シテ居ルナラバ何故倍近クニ改正サレタカ、保護シナクテモ今日ノ狀態デソレマデ進ンデ居ルノデアリマスカ、其點ニ付テ政府委員ノ御答辯ヲ願ヒ

タイ

○大山商工技師 毛絲稅率ノ割出シニ付テハ只今「モスリン」業及「セル」用絲ニ付テ、ソレ等ノ機業家ニ非常ナ影響ノナイヤウニト云フコトニ十分注意ヲシテ先程矢部政府委員カラ申上ゲタヤウニ、寧ろ細絲ヨリハ太絲ガ安イト云フヤウナ却ッテ反對ノ稅率ニナッテ居リマス、只稅率ノ上リマシタ根據トシテハ「トップ」ニ課稅シタ關係上、毛絲ヲ其儘ニシテ置クト「トップ」ノ輸入ヲ防ギ、毛絲ノ形ニナツタモノノ輸入ヲ獎勵スルヤウニナリマスノデ、其間ノ調和ヲ圖ッテ斯ウ云フ稅率ニシタノデアリマス

○加藤委員長 二百八十六ノ質問ガアリマスカ

○長田委員 二百八十六ノ輸入表ヲ見ルト、極メテ僅カデアリマスガ、是ハ二百八十五ノ繭ノ原料トシテ作ルモノデアリカラ、繭ガ無稅ナラバ外國デ加工シタモノヲ無稅デ入レル必要ハナイト思ヒマスガ、現在通リ百斤三十圓ニシテ置ケバ、モウ斯ノ如キ輸入ハ消エルト思ヒマスガ、特ニ設ケタ理由ハドウ云フ譯デアリマスカ

○大山商工技師 眞綿ニ付テ現行ノ百斤三十圓ノ稅率ヲ無稅ニシタノハオカシイト云フヤウナ御質問デアリマスカ、眞綿ノ原料ハ主トシテハ野蠶絲デ作リマシタ眞綿ガ必要ナノデアリマスカ、其野蠶絲デ作ッタ眞綿ハ所謂「ベニ」デアリマシテ、是ハ滿鐵ガ獎勵シテ

機械ヲ貸下ゲタノカ、與ヘテシマッタノカ、兎ニ角安東縣ニ滿鐵ノ獎勵ニ依ル工場ガ出來テ、其製品ヲ内地ヘ持つテ來ルコトガ關稅ノ爲ニ事實出來ナイト云フ事情ガアリマシタノデ、ソレハ主トシテ野蠶ノ眞綿、而モ「ベニ」デアラナラバ、内地ノ「ベニ」ト全然競争ノ立場ニ在ルモノデナイカラ、ソレガ爲ニ野蠶ノ「ベニ」ヲ無稅ニシヤウト云フコトガ根本デ、此野蠶ノ「ベニ」カラ作リマシタ野蠶絹紡絲トデモ申シマセウカ、ソレハ繭ノ原料ニナルノデ成ベク安クシタイト云フ希望デ、斯ウ云フ風ニ致シマシタノデ、普通ノ眞綿及「ベニ」ハ殆ド輸入ガアリマセヌノデ、寧ろ野蠶眞綿「ベニ」ヲ無稅ニスルナラバ、普通ノモノヲ無稅ニシタラドウカト云フヤウナコト決メタノデアリマシテ、「ベニ」ハ紡績ノ原料デアリマスカ、日本デモ非常ニ生産モ多シ、毛絲ノ屑カラ作ルモノデアリマスカ、之ヲ無稅ニシタカラト云ッテ、内地ノ「ベニ」業眞綿業ガ脅威ヲ受ケルモノデハナカラウト云フコトデ斯ウ云フヤウニ決シタノデアリマスカ

○長田委員 サウスルト眞綿「ベニ」共ニ二百八十五ノ繭原料トシテ作ルコトハ明カデアリマスカ

○大山商工技師 是ハ主ニ屑物デアリマス、「キピン」出殻繭、撥出繭、ソレカラ作リマスカ

○長田委員 安東縣ニアル富士紡ノ支

店カ何カアノ一ツノ會社ダケデスカ

○大山商工技師 今ノ所ハサウデアリマス

○加藤委員長 二百九十、松本君

○松本委員 二百九十ノ人造絹ハ約五割弱ノ引上ニナッテ居リマスガ、是ハ内地ノ生産ガ幼稚デアルト云フヤウナ理由カ、或ハ贅澤品デアルト云フヤウナ理由カラ、斯様ニ非常ナ引上ヲナサッタノデアルカ、ドウカソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○矢部政府委員 二百九十號ノ人造絹ハ現行八十七圓九十錢ノモノヲ百二十五圓ニ引上ゲヤウト云フノガ此案デアリマス、之ニ付テ簡單ニ一應説明ヲ申上ゲマスガ、御承知ノ如ク人造絹ハ大正三年頃カラ米澤ニ於テ研究致シテ居リマシタ、其研究ノ成功シタ結果大正七年ニ一ツノ會社ガ米澤ニ出來マシタ、其外戰時輸入ガ絶エタ所カラ大イニ勃興シテ三重縣、神奈川縣其他各府縣ニ相當起リマシタ、尙ホ近頃ニ至ッテ滋賀縣ノ旭絹織株式會社ナルモノガ起リ、同一式ニ依リ製造シテ居リマス、現在デハ何レモ戰後外國品ノ爲メニ壓倒セラレマシテ、米澤ト廣島ニ於ケル帝國絹絲會社ノ工場、旭會社ノ滋賀縣ニ於ケル工場、是ガ主ニ働イテ居ルダケデアリマス、現在働イテ居ルノハ是ダケデアリマス、斯様ナ譯デアリマスカレドモ、戰後獨逸品等ガ非常ニ安ク入テ來ル、是ハ何トカ獎勵ヲシテ行カナ

クレバナラヌ、助長シテ行カナケレバ
ナラヌト云フヤウナコトカラ引上ラ見
ルヤウニナリマシタ、一方消費者ノ關
係ヲ見ルト、是ハ普通ノ品物ト異リ、絹
ニ代用セラレルモノデアリマシテ、多
少値段ガ高クテモ差支ヘナイモノニ屬
スルデアリマスカラシテ、我國ニ於テ
此製造ヲ發達サセルヤウニ仕向ケテ行
クコトガ必要デアラウト思フ、現在歐
米各國ニ於テモ皆製造シテ居リマシ
テ、其産額ハ生絲ヲ凌駕スルヤウニナ
リ、捌ケ口ニ困ル所カラ皆東洋——日
本支那ノ如キヲ目指シテ來ルコトニ
ナツテ來マシタノデ、相當是ハ警戒ヲ加
ヘテ、出來ルモノナラバ内地ニ於テ發
達ヲサセテ行クガ至當デアルト認メマ
シテ此案ガ出來タ譯デアリマス

○松本委員 御説明ヲ拜聴致シマシタ
ガ、私ノ所見ハ二ツトモ政府委員ノ御
考ト相違シテ居リマス、只今ノ御話ニ
依ルト、尙ホ幼稚デアルト云フコトデ
アリマス、成程現在ニ於テ、我國ノ需要
ニ十分デナイト云フコトハ御説ノ通り
デアリマセウケレドモ、現在帝國竝ニ
旭等ノ成績ニ見、或ハ配當ノ點カラ見、
或ハ株ノ市價等ガ非常ニ騰貴シテ居ル
ト云フ事カラ考ヘ、又帝國ノ社債募集
ノ當時ニ於テ、其趣意書ニハ原價百三
十五圓デ出來ルト云フコトヲ明ニ書イ
テ居リマス、然ルニ現在ノ市價ハ百封
度三百五十圓モ致シテ居ル、尙ホ政
府委員モ無論御承知デアリマセウガ、

大日本紡績ガ計畫ヲシ、或ハ三井其他
ニ於テモ有力ナ計畫ガ行ハレテ居リマ
ス、是ハ單ニ出來ルデアラウカト云フ
想像問題デナク、現實ニ始マツテ居リマ
スノデ、現在ノ八十七圓九十錢ト云フ
保護關稅ヲ以テシテ十分ナル企業ガ日
本ニ發達スルデアラウト云フコトハ、
想像ニ難クナイト思ヒマス、此點ニ付
テ政府委員ノ御考ト私共ハ所見ヲ異ニ
シテ居リマス、又人造絹絲ハ政府委員
ノ御考ハ先ヅ生絲ノ代用品云々ト云フ
御考デアリマスガ、成程只今ノ市價ハ
聊カ綿絲ヨリ高イノデアリマスケレド
モ、私共ノ見ル所ニ依ルト、人造絹絲ト
云フモノハ、唯絹ニ似テ居ルカラ斯ウ
云フ名前ガ附イタノデ、全ク木綿ト絹
トノ中間ノモノデアツテ、私共ハ成ベク
人造絹絲ヲ安ク、吾ミガ着テ居リマス
絹ノ代リニ普及サセルコトガ願ル我國
ノ事情トシテ適當デアラウト考ヘマ
ス、隨テ私共ハ之ニ重稅ヲ課シテ牆壁
ヲ置クト云フヤウナ事ハ、頗ル工合ノ
惡イ政策デアアルマイカト考ヘテ居リ
マス、尤モ是ハ根柢ニ於テ全然考ヲ異
ニシテ立論シテ居リマスカラ、結論ニ
於テ一致シナイ事ガ或ハ當然デアルカ
モ知レマセヌガ、此點ニ付テハ社會政
策のノ見地ニ立ッテ更ニ今少シ御考慮
ヲ煩シテハドウカト考ヘマスガ、政府
ハ如何ニ御考デアリマスカ

○平野商工技師 人造絹絲ニ付キマシ
テノ御考ヲ拜聴致シマシタ、サウ云フ

御考ノオアリニナルコトヲ私共モ決シ
テ無理トハ存ジマセヌ、ソレハ昨年ア
タリカラ日本ニ於ケル人造絹絲製造業
ノ形勢ガ俄然一變シマシテ非常ナ
ト世間デ見ラレル程ノ成績ヲ擧ゲルヤ
ウニナツテ居リマス爲ニ、恐ラク其結果
デアラウト思フ、ソレカラ續ク新規企
業ガ起リマシタ爲ニ、日本ニ於ケル人
造絹絲事業ト云フモノガ非常ニ有利ナ
モノデアルト云フ風ニ世人一般カラ考
ヘラレテ居ルヤウナ事ニナツテ居ルコ
トハ私共モ認メテ居リマス、併ナガラ
私共ガ此稅ヲ立案シタ當時ニ於キマシ
テハサウデナカッタノデアリマス、此人
造絹絲工業ガ起リマシテ最早八九年ニ
ナリマスケレドモ、其間非常ナ苦境ニ
在ッタノデアリマス、成程昨年アタリカ
ラ非常ニ好況ニナリマシタケレドモ、
其好況ノ原因ガ何處ニ在ルカト云フコ
トヲ考ヘテ見ルト、大キナ原因トシテ
ハ一ツハ爲替ノ關係デアリマス、日本
ノ爲替ガ下リマシタ爲ニ、外國品ガ比
較的高ク付イテ輸入ガ不引合ニナツタ
ノガ一ツノ原因デアリマス、ソレカラ
日本ニ於ケル人造絹絲ノ需要ガ急激ニ
膨脹致シマシタ結果トシテ、供給ガ動
モスレバ不足スル傾向ガアル、其二ツ
ノ原因ニ依リマシテ俄ニ活況ヲ呈シ、
其結果トシテ相當ノ利益ヲ見ルニ至ッ
タト大體考ヘテ居リマス、日本ニ於ケ
ル人造絹絲工業ヲ諸外國ノソレニ比較
致シマス、マダ其規模ニ於キマシテ

格段ノ相違ガゴザイマスノデ、約十分
ノ一甚シキハ二十分ノ一位ノ小規模デ
ヤツテ居リマス、隨テ生産費ガ高クナル
コトハ勿論ノ話デアリマス、ソレカラ
原料等ニ於テモ日本ノ方ガ高イ物モ相
當ゴザイマス、隨ヒマシテ對等ニ之ヲ
競争サセマスト非常ニ不利益デアリマ
シテ、或ル程度ノ關稅ハドウシテモ置
カナケレバナラナイト考ヘマス、ソレ
カラモウ一ツ斯ウ云フ事モ考ヘナケレ
バナラナイト思ヒマス、ソレハ諸外國
ニ於キマシテハ皆非常ニ高率ノ關稅ヲ
課シテ、國內ノ人造絹絲工業ノ發達ヲ
促シテ居リマス、其結果ト致シマシテ
各國ニ非常ナ大キナ人造絹絲ノ工業ガ
起リマシテ、中ニハ其國內ノ需要ニ應
ズル以上ニ海外ニ輸出スル殊ニ東洋ニ
向ッテ輸出スルコトヲ目的トシテサヘ
計畫セラレタ大規模ノ企業ガゴザイマ
ス、ソレカラモウ一ツハ製造工程ニ於
キマシテ、製出セラレルノ全部ガ良イ
品ト云フ譯ニ參リマセヌ、一割或ハ甚
シキハ二割ノ屑——屑ト申シテモ實用
ニ適スルモノデアリマスガ、品質ノ惡
イ物ガ必ズ出來ル、ソレ等ノ物ハ歐米
ニ於テ餘リ需要ガアリマセヌ所カラ、
サウ云フ品質ノ少シ劣ルヤウナモノヲ
日本トカ支那トカ云フ生活程度ノ比較
的低イ所ニ向ッテ捌口ヲ求メルト云フ
事實モゴザイマス、所ガ日本ノ人造絹
絲工業ニ於キマシテハ、出來ル品物全
部ニ互リマシテ、一定ノ生産費ヲ割當

テナケレバナリマセヌ、其生産費ノ中ニ最モ大キナ因子トナルモノハ銷却費デアリマス、ソレハ此工業ハ非常ナ激烈ナ藥品ヲ使ヒマス爲ニ諸機械ガ非常ニ傷ミマス、ソレト同時ニ最後ノ絲ヲ引出ス工程ト云フモノハ非常ニ微妙ナル組織ノ機械デ、恰モ懷中時計ノ中ノ機械ノヤウナ非常ナ繊細ノモノデアリマス、サウ云フ機械ヲ使ヒマス爲ニ傷ミガアル、隨テ銷却費ト云フモノガ非常ニ高ク付キマス、モウ一ツ此工業ハ日進月歩ノ勢ニナリマシテ、段々機械ガ新シイ式ノモノニ變ヘラレテ行クト云フ事實ガアリマス、此ニツデ其銷却費ト云フモノヲ計算致シマス場合ニハ、其工業ノ基礎ハ非常ナ薄弱ニナルノデ、私共ハ密カニ只今日本ノ人造絹絲工業ガ如何ニモ利益ヲ擧ゲテ居ルヤウニ見エテ居リマスガ、其銷却ト云フ點ヲマダ出來立テノモノデアルカラ至ッテ疎カニシテ居ルデハナイカト密ニ考ヘテ居リマスガ、サウ致シマス可ナリノ利益ガ生ジマス、併ナガラ其銷却ヲ正當ニヤリマス、少クトモ一封度ニ付テ一圓位ノ銷却ヲシナケレバナラヌ、ソレデアリマスカラ二圓ノ原價出來マスモノガ焉ゾ知ラン三圓掛ッテ居ル、サウ云フ風ニ計算致シマス、我國ノ物ハ爲替ガ恢復致シマシタ曉ハ、外國ノ物ト對等ニハ參ラナイ、少クトモ茲ニ百斤ニ付テ百二十五圓位ノ差ガアリマセスト、外國ノ生産費ト突合ハヌ、外國

ニ於キマシテハ日本ニ投資ヲシテ居ル、先程申シタ品質ノ劣ッテ居ル物デアリマス、其生産費ヲ原價ニシテ銷却費ヲ加ヘラレテ居ル、即チ歐羅巴ニ於テ自國ニ賣ッテ居ルモノハ銷却費ヲ負擔セヌ、日本ニ來ルモノハソレヲ負擔サセテ競争ガ出來ル、所ガ日本ノ物ハ全部デゴザイマスカラサウ云フ譯ニハ參リマセヌ、サウシマス、ドウシテモ少クトモ爲替ガ恢復致シマシタ曉ニハ百二十五圓位ノ稅ガアリマセヌト對等ノ競争ハ困難デアル、始終脅カサレテ行クト云フヤウナコトニナリハシナイカト云フ風ニ考ヘテ居リタ次第デアリマス

トシテ非常ニ憂フベキ問題ハ、先ヅ現在ニ於テ非常ナ有力ナル會社ガ澤山ナ資金ヲ投ジテ計畫ヲシツアル、此場合ニ於テ政府ガ更ニ燎原ニ火ヲ點ズルヤウニ五割以上ノ保護ヲスルト云フコトニナリマス、此趨勢ハ益甚シクナツテ、非常ナ景氣ノ後ニ不景氣ト云フヤウナ、非常ナ悲惨ナル事態ヲ惹起スルヤウナ場合ガアリハセヌカト私ハ密カニ懸念致シテ居リス、又需要家ト云フ立場カラ參リマス、如何ニモ現在十分ナル成績ヲ上ゲツアル會社、而モ有力ナル會社ガ將ニ之ヲ計畫セントシツアルニモ拘ラズ、更ニ此價格ヲ引上ゲルヤウナ關稅ノ牆壁ヲ設ケルト云フヤウナコトハ、社會政策ノ見地カラ云ツテ矛盾致シテ居リハシマイカ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス、併シ是ハ申上ゲマシタ所ガ詮ノ無イコトデアリマスカラ、是デ止メルコトニ致シマス、唯終リニ一寸伺ッテ置キタイハ、十四年度ノ輸入金額ガ分ッテ居リマシタラバ、其金額ヲ承ッテ置キタイ

同時ニ、日本ノ最モ重大ナル産業ニドウ云フ結果ガ及ボスカト云フコトハ、恐ラク産業政策中ノ最モ重大問題トシテ御研究ニナッテ居ルト思ヒマス、ソレデ此人造絹絲ヲ獎勵シテ、人造絹絲ヲ有ユル方法ニ依テ國內ニ於ケル製造獎勵其他需要ヲ普ク廣クサセテ、サウシテ日本ノソレニ依テ剩リ所ノ生絲ヲ成ベク多ク海外ニ出スト云フコトハ、必ズ御考慮ニナッテ居ルト思フノデアリマス、サウ云フ意味ニナリマス、ソレハ一ツ伺ヒタイ、更ニ此輸入稅ノ百二十五圓、此稅率ノ割出シ方ヲ只今松本君カラ御尋ニナッタノデアリマスガ、外國ノ生産費ト日本ノ生産費ト、其彼我ノ生産費ノ間ノ差ニ對スルモノガ、即チ保護稅率ノ算出サレル基礎ニナッテ居ルノデアルカ、ソレカラ此人造絹絲輸入ニ對シテ、此重稅ヲ課セラレルト同時ニ、其原料タル「バルブ」、普通製紙ニ使フ「バルブ」ハ百分ノ二八デアルガ人造絹絲ニ對スル所ノ原料ノ「バルブ」ハ三割五分デアル、製紙以外ノ「バルブ」ハ四百一號ト云フ部類ニ屬スルト思ヒマスガ、之ニ依ルト原料ニ對シテハ三割五分ノ稅ヲ課サレテ居ル、等シク工業原料トシテ一方ノ「バルブ」ハ二分八厘、人造絹絲ノ方ハ三割五分ト云フ差ヲ付ケラレタ理由ハ、何カ特殊ノ理由ガ其所ニ在ルノデアリマス、此四ツノ點ヲ承リタイト思ヒマス

○宮内政府委員 山本サンカラノ今ノ

○松本委員 ドウモ大體ガ意見ノ相違ノヤウデ寔ニ困リマスガ、大分機械銷却其他ニ付テモドウデアラウカト云フヤウナ御話モアリ、私モ聊カ之ニ多少關係保持ヲッテ居リマス者デ、大體ニ於テ今ノヤウナ餘程細カナ工業デアリマスケレドモ、併シ政府委員ノ今ノ御心配ニナルヤウナ程度デナイト考ヘテ居リマス、現實ニ今上ガリツツアル利益ヲ適當ナル銷却ノ下ニ、ソレノ會社ガ成績ヲ擧ゲツアルト云フコトヲ私ハ考ヘテ居リマス、併シ是等ハドウモ基礎ガ違ッテ居リマスノデ、強テ論爭スル必要モナカラウト思ヒマスガ、要スルニ私共ノ見ル所デハ現在ノ所此程度ニ於テ十分ナル利益ガ上ガリツツアルト私ハ信ジテ居リマス、ソコデ此結果

○矢部政府委員 大正十四年ニ於ケル人造絹輸入額ヲ申上ゲマス、數量ガ六十二萬四千四百五十九斤、金ガ二百八十二萬四千三百十二圓デアリマス

○山本委員 只今ノ事ニ關聯シテ私モ一二伺ッテ置キマス、人造絹絲ニ對スル政府ノ御方針ハ、此人造絹絲ノ獎勵ヲシテ、其製造ニ依テ日本ノ生絲ノ輸出高ヲ増ス、人造絹絲其物ヲ獎勵スルト

○宮内政府委員 山本サンカラノ今ノ

御尋ノ第一點ヲ私カラ御答致シマシ
テ、其他ノ點ハ他カラ申上ゲマス、人造
絹絲ハ申上ゲル迄モナク非常ニ世界ニ
於キマシテモ需要ガ増シテ居リマス、
其勢ハ甚シキ勢ヲ以テ長足ノ進歩ヲ爲
シテ居ル次第デゴザイマス、是ガ漸次

ニ我國ニモ大分入ッテ居ルコトハ御承
知ノ通りデゴザイマス、斯様ナ重要ナ
ル物デゴザイマスルカラ、國內ニ於キ
マシテモ之ヲ生産ヲ致シマシテ、サウ
シテ或ハ之ヲソレナリ使フナリ、或ハ
他ノ綿ニ交ゼテ使フナリ致シマシテ、
此需要ノ急ニ應ズルト云フコトハ、最
モ必要ナ事ト斯様ニ考ヘマシテ、人造
絹絲ニ付テ將來外國ノ壓迫ニ堪ヘマシ
テ發展スルト云フコトニ付テ、十分ニ

保護致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス
ノデ、之ニ就キマシテ生絲ノ方ノ關係
デゴザイマスガ人造絹絲ニハ人造絹絲
獨特ノ長所ナリ短所ナリヲ以テマシ
テ、サウシテ又是ガ漸次ニ發展致シテ
來ルノデゴザイマス、各國左様ナ狀勢
ニナッテ居ルノデゴザイマスカラ、我國
ニ於キマシテモ此狀勢ニ順應シテ發展
ヲセナケレバナラヌ、斯様ニ考ヘテ居
ル次第デアリマス、人造絹絲ハ又獨特
ノ用途モ持ッテ居ルノデゴザイマスカ
ラ、十分發展セシメタイト云フ考デゴ
ザイマス

○矢部政府委員 只今御尋ノ後段ノ原
料タル「バルブ」ノ稅率適用ニ付テ御答
ヲ致シマス、人造絹絲ノ原料タル「バル
ブ」ト、製紙用ノ「バルブ」トハ限界ガナ
イノデ、區別ガ付キマセヌ所カラ、矢張
同ジ三百六十一號ノ「バルブ」ニ依テ稅
率ヲ適用致シテ居ル次第デアリマス、
此稅率ハ三百六十一號ヲ御覽ヲ願ヒタ
イト思ヒマス

○山本委員 製紙用ト同ジモノデスカ
○矢部政府委員 製紙用ト同ジ稅率ヲ
適用致シテ居リマス

○山本委員 關聯シテ承リマスガ人造
絹ト書イテゴザイマスガ、絹布ノ意味
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○矢部政府委員 只今問題ニナッテ居
リマス二百九十號ノ人造絹ト申シマス
ノハ絹布ハ這入リマセヌ、何故保護セ
ヌカト云フト、甚ダ絲トシテ保護シ難
イモノガ這入ル、絲ヂヤナイ、他ノ項目
ニ這入ルト云フノデ絹ト申シマシタ、
絹布ハ包含シテ居リマセヌ

○山本委員 第一段ニ御尋シタ此政府
ノ人造絹絲ニ對スル御方針ト云フモノ
ハ、サウ致シマススト人造絹絲ト生絲ト
ハ全ク別個ノ問題デアアル、世界ノ人造
絹絲ノ發達ニ伴ウテ居ラヌ國デモ、今
日造ラナケレバナラヌカラ保護スルト
云フノデ、生絲トハ經濟上ノ關係ガ別
個ノ問題デアアル、生絲ノ關係ハ自然ノ
成行ニ任シテ、國ノ經濟政策ヲ根本ト
シテ其影響ガドウナル、又如何ナル方
針デ進ムト云フコトニ對シテ何カ確
定シタル或ル方針ヲ以テ此問題ヲ御覽
ニナッテ居ルカドウカト云フコトヲ伺ッ

○山本委員 關聯シテ承リマスガ人造
絹ト書イテゴザイマスガ、絹布ノ意味
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○山本委員 關聯シテ承リマスガ人造
絹ト書イテゴザイマスガ、絹布ノ意味
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○山本委員 關聯シテ承リマスガ人造
絹ト書イテゴザイマスガ、絹布ノ意味
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○山本委員 關聯シテ承リマスガ人造
絹ト書イテゴザイマスガ、絹布ノ意味
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○山本委員 關聯シテ承リマスガ人造
絹ト書イテゴザイマスガ、絹布ノ意味
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○山本委員 關聯シテ承リマスガ人造
絹ト書イテゴザイマスガ、絹布ノ意味
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○山本委員 關聯シテ承リマスガ人造
絹ト書イテゴザイマスガ、絹布ノ意味
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○山本委員 關聯シテ承リマスガ人造
絹ト書イテゴザイマスガ、絹布ノ意味
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○山本委員 關聯シテ承リマスガ人造
絹ト書イテゴザイマスガ、絹布ノ意味
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○山本委員 關聯シテ承リマスガ人造
絹ト書イテゴザイマスガ、絹布ノ意味
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○山本委員 關聯シテ承リマスガ人造
絹ト書イテゴザイマスガ、絹布ノ意味
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○山本委員 關聯シテ承リマスガ人造
絹ト書イテゴザイマスガ、絹布ノ意味
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○山本委員 關聯シテ承リマスガ人造
絹ト書イテゴザイマスガ、絹布ノ意味
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○山本委員 關聯シテ承リマスガ人造
絹ト書イテゴザイマスガ、絹布ノ意味
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○山本委員 關聯シテ承リマスガ人造
絹ト書イテゴザイマスガ、絹布ノ意味
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○山本委員 關聯シテ承リマスガ人造
絹ト書イテゴザイマスガ、絹布ノ意味
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

蠶食スルモノダト云フヤウナ懸念ガアリマス、ソコデ問題ハ亞米利加歐羅巴ニ於テモ、吾々ガ日本ニ於テ見タヤウナ感想ト等シク、先年はガ絹物ノ範圍ヲ侵スノデヤナカラウカト云フ心配ガ一ツアツタノデ、之ニ關聯シテ内地デ所謂人造絹絲ニ依テ出來ル織物ヲ奢侈品ト見ルカ、或ハ綿製品ト同一ニ必要品ト見ルカト云フコトガ、此場合ニ聽イテ置キタイト云フコトカラ、此御尋ヲシタ譯デアリマス、幸ニ大藏省ニ於テ御説明ヲ蒙レバ結構デアリマス

○矢張絹ト同様ニ看做シテ居リマス
○長田委員 前段ノ御答ハ、私共ノ質問ニ對シテ關係ハアリマセヌガ、此問題ニ付テハ農林次官ノ御出デノトキニ御尋スルコトニ致シマス

○飯塚委員 私人、人造絹絲ノ將來ト云フコトハ別トシテ、稅ヲ盛ツタコトニ付テ御深切ナ説明ガアリマシタガ、一體稅ヲ盛ツタノハ外國品ト日本品ト比較シテ、相當競争シ得ルト云フコトガ原則デアツテ、此八十七圓ト云フ稅立派ニ儲カルノデアリマス、私モ人類絹絲ノ製造ヲヤツテ見マシタガ、是ハ規模ガ小サクテハイカヌ、相當ノ設備ヲシテヤリマスレバ儲カルノデアリマス、是ハ化學工業デアリマスカラ、技術ガ要リマスガ、設備ガアレバ立派ニ出來マス、現ニ日本ノ旭工場デ出來タ品物ハ立派ニ出來テ居ッテ外國品ニ劣リマセヌソレデアリマスカラ、製造スル場合ニ硝酸ヲ使フカラ腐ルトカ、水ヲ使フカラドウノト云フコトハ技師ニハ能ク分ッテ居リマスカラ、政府デ御心配スル程ノコトハアリマセヌ、要ハ日本デ拵ヘテ外國品ト競争ガ出來ルカドウカト云フコトデアリマスガ、八十七圓デ儲カリ過ギル位デアリマス、今日此種ノ工業ガ「プレミアム」付デ續々起ッテ參リマスガ、今日三百圓ノモノガ百五十圓モ掛ケレバ十分デアリマス、サウシテ屑ガ出マスカラ、ソレヲ以テ紐ノヤウナ物ヲ拵ヘマスカラ、屑マデモ上

值ニ賣レルト云フヤウナ譯デアリマシテ、是ハ矢張技師ハ或ハ農林省ノ方ノ話ヲ聞イタカ知レマセヌガ、商工省ノ技師ニハ分ッテ居ナケレバナラヌ、ソコデ唯恐レルノハ先キヘ行ッテ競争ガ起ルト云フコトデアリマス、内地ニ於テモ今日段々盛ニナリ掛ケテ居ルカラ、生産過多ノ時代ガ來ルカモ知レマセヌガ、一體保護ヲスルト云フコトハドウ云フ結果ヲ產ムカト云フト、餘リ世話ヲシ過ギルトイカナイ、少シ苦シイ位ニ、寒イ時ナラバ寒イ思ヒヲサセルト云フ所ニ保護ノ効能ガアルト思フ、今日八十幾圓デモ儲カルト云フモノニ、ソレデハ危險ダト云ツテ、深切ニシ過ギルト、終ニハ内地ニ於テ生産過多ニ苦マナケレバナラヌヤウニナルト思ヒマス、今日デハ三井ノヤウナ所デモヤツテ居リマスガ、餘リ深切過ギルト云フコトハ、人造絹絲工業ヲ保護スル所以デナイト思ヒマスカラ、此點ハ御考慮ヲ願ッテ置キマス、ソレカラ外國カラ來ル沖着値段ト、日本デ現在ヤツテ居ル工場渡シトノ差ガ百二十五圓デナケレバ行立タヌト云フコトデアレバ、吾々ハ默ッテ承服スルケレドモ、八十七圓デ十分儲カルト云フコトデアレバ、餘リ深切過ギルコトニナルカラ、如何ニ御辯解ナサツテモ、却テ人造絹絲ノ害ニナルト云フコトニ御考慮ヲ願ヒタイ、兎角商工省ハ保護ヲ爲サル上ニ於テ意ヲ用ヒルノハ結構デアリマスケレドモ、却

テ角ヲ矯メテ牛ヲ殺スト云フ傾向ガ何カニ付デアリマスカラ、少シ御反省ヲ願ヒタイト思ヒマス、モウ一ツハ先頃矢張技師ハ絹ト木綿ニ付テ御話ガアリマシタガ、今日ハ日本ノ絹ヲ宣傳シテ、木綿ヲ着タ者ニ絹ヲ着セヤウトスルノデアツテ、サウスルニハ人造絹絲ノ研究ノ程度ハ何所ニ在ルカト云フト、如何ニシテ天然絹絲ニ見セタル宜カラウカト云フコトデアリマスガ、是ハ又技術家ニハ能ク分ッテ居ル、今日デハ餘リ光ルノハ人造絹絲ト見ラレルカラ光ノ無イヤウニ、絹ノ程度ニ光ラシテ貫ヒタイト云フノガ要求デアリマス、一方デハ手觸リガ硬イカラ、軟カニ絹ノヤウナ手觸リニシテ、貫ヒタイト云フノデ、是ハ結果絹ノ範圍ヲ益蠶食シヤウト云フ傾ニナツテ居リマスカラ、人造絹絲ト云フモノハ絹ノ敵ニ定マツテ居ル、ケレドモ敵ナラバ日本ノ生絲ハ減ルダラウカト云フト、ソレハ人間ガ殖エル、隨テ需要モ殖エ金モ殖エルカラドン(殖エテ來ル、斯ウ云フコトモ能ク肚ヲ極メテ、サウテ此問題ヲ決シテ貫ヒタイ、ソレカラ此人造絹絲ト云フモノヲ餘リ高クシテナライ理由ハ何カト云フト、今日日本ノ織物界デ人造絹絲ヲ一番使フノハ京都ト桐生デアアル、何ニ使フカト云フト、絹ヲ使ッタ所ニ之ヲ使フ、木綿ヲ使ッタ所ニ之ヲ使フ、上州ニ出來ル帶ト云フモノハ殆ド此人造絹絲ニナツテ來タ、又輸出方面ニ對シテモ非

ハ矢張絹ト同様ニ看做シテ居リマス
○長田委員 前段ノ御答ハ、私共ノ質問ニ對シテ關係ハアリマセヌガ、此問題ニ付テハ農林次官ノ御出デノトキニ御尋スルコトニ致シマス

○飯塚委員 私人、人造絹絲ノ將來ト云フコトハ別トシテ、稅ヲ盛ツタコトニ付テ御深切ナ説明ガアリマシタガ、一體稅ヲ盛ツタノハ外國品ト日本品ト比較シテ、相當競争シ得ルト云フコトガ原則デアツテ、此八十七圓ト云フ稅立派ニ儲カルノデアリマス、私モ人類絹絲ノ製造ヲヤツテ見マシタガ、是ハ規模ガ小サクテハイカヌ、相當ノ設備ヲシテヤリマスレバ儲カルノデアリマス、是ハ化學工業デアリマスカラ、技術ガ要リマスガ、設備ガアレバ立派ニ出來マス、現ニ日本ノ旭工場デ出來タ品物ハ立派ニ出來テ居ッテ外國品ニ劣リマセヌソレデアリマスカラ、製造スル場合ニ硝酸ヲ使フカラ腐ルトカ、水ヲ使フカラドウノト云フコトハ技師ニハ能ク分ッテ居リマスカラ、政府デ御心配スル程ノコトハアリマセヌ、要ハ日本デ拵ヘテ外國品ト競争ガ出來ルカドウカト云フコトデアリマスガ、八十七圓デ儲カリ過ギル位デアリマス、今日此種ノ工業ガ「プレミアム」付デ續々起ッテ參リマスガ、今日三百圓ノモノガ百五十圓モ掛ケレバ十分デアリマス、サウシテ屑ガ出マスカラ、ソレヲ以テ紐ノヤウナ物ヲ拵ヘマスカラ、屑マデモ上

テ角ヲ矯メテ牛ヲ殺スト云フ傾向ガ何カニ付デアリマスカラ、少シ御反省ヲ願ヒタイト思ヒマス、モウ一ツハ先頃矢張技師ハ絹ト木綿ニ付テ御話ガアリマシタガ、今日ハ日本ノ絹ヲ宣傳シテ、木綿ヲ着タ者ニ絹ヲ着セヤウトスルノデアツテ、サウスルニハ人造絹絲ノ研究ノ程度ハ何所ニ在ルカト云フト、如何ニシテ天然絹絲ニ見セタル宜カラウカト云フコトデアリマスガ、是ハ又技術家ニハ能ク分ッテ居ル、今日デハ餘リ光ルノハ人造絹絲ト見ラレルカラ光ノ無イヤウニ、絹ノ程度ニ光ラシテ貫ヒタイト云フノガ要求デアリマス、一方デハ手觸リガ硬イカラ、軟カニ絹ノヤウナ手觸リニシテ、貫ヒタイト云フノデ、是ハ結果絹ノ範圍ヲ益蠶食シヤウト云フ傾ニナツテ居リマスカラ、人造絹絲ト云フモノハ絹ノ敵ニ定マツテ居ル、ケレドモ敵ナラバ日本ノ生絲ハ減ルダラウカト云フト、ソレハ人間ガ殖エル、隨テ需要モ殖エ金モ殖エルカラドン(殖エテ來ル、斯ウ云フコトモ能ク肚ヲ極メテ、サウテ此問題ヲ決シテ貫ヒタイ、ソレカラ此人造絹絲ト云フモノヲ餘リ高クシテナライ理由ハ何カト云フト、今日日本ノ織物界デ人造絹絲ヲ一番使フノハ京都ト桐生デアアル、何ニ使フカト云フト、絹ヲ使ッタ所ニ之ヲ使フ、木綿ヲ使ッタ所ニ之ヲ使フ、上州ニ出來ル帶ト云フモノハ殆ド此人造絹絲ニナツテ來タ、又輸出方面ニ對シテモ非

常ニ使ハレル、私今日持テ來マセヌデ
シタガ、日本デモ一番上等ナ「ハイカ
ラ」十人ノ裏地ハ人造絹絲ダケデヤッ居
ル、一番ザラ／＼シテ宜イト云フ、是ハ
政府委員ニ私見セタコトガアリマス、
又今日日本ノ海外ニ向ッテノ輸出織物
ヲスルニモ、人造絹絲ヲ入レタ織物ガ
南洋方面ニ非常ニ見込ガアル、絹ニ中
中南洋方面ニ見込ハナイ、故ニ木綿ノ
所ニ人造絹絲ヲ交ゼテ織ルト云フコト
ガ輸出貿易ニ必要デアル、此際ハ人造
絹絲ト木綿トヲ交ゼテ織物ヲ拵ヘテ、
サウシテ南洋方面ノ輸出貿易品ヲ作ル
コトニ商工省ナドハ着眼サレテ獎勵サ
ルベキデ、之ヲ高クセズトモ宜イモノ
ヲ態々高クスルト云フコトハ餘リ深切
過ギル、ソカラ現在ノモノヲ成ベク安
クシテ、サウシテ日本ノ産業ヲ害セザ
ル程度ニ於テ是ガ輸入ヲ獎勵シテ、南
洋方面ニ商品ヲ賣付ケルコトガ今日ノ
得策デアリマス、旁々サウ云フ事カラ
考ヘルト、之ヲ上ゲルナドト云フコト
ハ全ク心得違デヤナイカト私ハ思フ、
能ク御考慮ヲ願ヒタイト思フ

○加藤委員長 今ノ質問ニハ御答辯ガ
アリマスカ——ソレデハ今ノハ御注意
ダサウデスカラ答辯ハアリマセヌ、サ
ウスルト此第八類ニ付テ通告ノ順序ハ
是デ終ッタノデスガ……

○飯塚委員 私ハ二百八十七生絲ノ所
デ「野蠶絲」其ノ他「ト云フ所ガアリマ
ス、野蠶絲ハ無税ニナリマシタガ、是ハ一
體農林省ノ所管ダト云ッテアリマスガ、
外國カラ來ル所ノ生絲ニ二割五分ノ税
ヲ課スルト云フコトノ是ハ農林省ノ所
管デアラウト思フ、併シ商工省ノ方ノ
意見ヲ確メテ置カナケレバナラヌト思
フノハ、元來生絲ハ支那ノ生絲ガ這入
ル、他カラハ生絲ハ這入ラヌ、私共絹織
物製造業者ハ日本ノ現在ニ於テ度々聯
合會ヲ開イテ、支那ノ生絲ノ輸入税ヲ
全廢スル決議ヲシテ、商工省或ハ農林
省ヘ陳情シテ居ル、議會ニモ此事ハ問
題ニナッテ來タコトガアリマス、然ルニ
前ニ三割ノモノガ二割五分ニナッタカ
ラ五分減ッタト云フコトデアリマスガ、
是ハ農林省デハ多クノ生絲業者ノ意見
ヲ聽イテ生絲ト云フト日本ノ生絲ガ澤
山アルカラ、支那カラ生絲ガ這入ルト
日本ノ生絲ヲ脅威スルト云フコトデ、
生絲業者ハ非常ニ反對ヲシテ居ル、ケ
レドモ其反對ノ理由ハ何モ意義ガナイ、
ソレハドウカト云フト、支那ノ生絲ト
日本ノ生絲ノ價格ノ差ハ何所ニ在ルカ
ト云フト、商工省ハ能ク御分ニナッテ居
ルト思フガ、日本ノ生絲ト支那ノ生絲
ノ値段ノ決マルノハ何所カト云フト、
紐育ノ市場デ決マル、格付カラ云フナ
ラバ日本ノ生絲モ支那ノ生絲モ格ハ同
ジコトデ、價格ハ所謂世界ノ市場ニ立ッ
テハ同ジデアリマス、同ジ絲ナラバ何
モ強テ支那ノ生絲ガ日本ヘ這入ル筈ハ
ナイ、日本ノ生絲モ支那ノ生絲モ同ジ
價格ダカラ支那ノ物ガ必シモ安クナ
イ、故ニ決シテ支那生絲ガ這入ルト云
フ虞ハナイ、故ニ之ニ關稅ヲ置ク必要
ハナイノデアリマス、關稅ヲ置ク必要
ガナイノヲ、支那ノ生絲ガ日本ニ這入
ルト危ナイト云フノデ、サウ云フヤウ
ナコトヲ農林省ヘ行ッテ言フト、農林省
ハ其當業者ノ言フコトヲ聞イテ御尤ダ、
三割ト云フヤウナ事デシタラ宜カラウ
ト云フノデ斯ウナッタノダラウ、併シ商
工省ノ方カラノ大ニ論駁ヲ加ヘテ貫ハ
ナケレバナラヌ事ガアル、日本ヘ吾々ガ
支那生絲ヲ輸入シウト云フノハ、徒ニ安
イカラ入レルト云フノデハナイ、生絲
ハ同ジ生絲デモ性質ガ違フ、九州ノ絲
ト北海道ノ絲ハ違フ如ク、日本ノ生絲
ト支那ノ生絲ハ性質ガ違フ、隨テ用途
ガ違フ、企業家ガ支那ノ絲ニ依テ或ル
織物ヲ拵ヘタイト思ッテモ、三割ノ稅ガ
アルカラ其織物ヲ造ルコトガ出來ナ
イ、現ニ南洋或ハ印度ノ方ヘ向フ所ノ
絹物「サロン」ノヤウナモノハ絲ガ硬ク
ラ、塵埃ノ中ニ入ッテモ塵埃ノ付カヌヤ
ウナザラ／＼シタ絲デナケレバ、織レ
ナイ、支那ノ絲ヲ持ッテ行クト造レル、
其性質ガアル、日本ニ於テ絹織物ヲ盛
ニスルト云フナラバ各種ノ適當ナル原
料ヲ日本ニ入レテ、サウシテ適當ナル
料デ織ッテ輸出織物ヲ盛ニスルノデナ
ケレバ出來ヌト云フコトハ明カデア
ル、南洋邊リノ「ロンギ」「サリ」ノ
ヤウナモノハ支那絲デナケレバ出來ナ
イ、日本ノ絲デ拵ヘタ織物ハ南洋、印度

方面ノ實用品トシテ行カナイ、ソレデ
支那デ以テ——却テ支那ノ絲ヲ輸入シ
テモ詰ラナイカラ、絲屋何カハ近頃織
物ノ工場ヲ拵ヘテ、サウシテソレ等ノ
織物ヲ拵ヘルコトニ努メテ居ル、是ハ
日本市場デ、掌握出來ルモヲ、此税金ヲ
置イテ支那ノ適當ナル絲ヲ入レナイヤ
ウナ牆壁ヲ築イタ結果デアアル、實ニ國
家ノ爲ニ宜シクナイ政策ヲ執ッタコト
デアリマス、此事ヲ能ク——農林省ノ
生絲ハ何デモ同ジ様ニ考ヘテ居ル迷妄
ヲ開イテ貫ヒタイト思フ、ソレヲ今迄
ノ如クニ默ッテ負ケルト云フコトハ商
工業ノ努力ガ私ハ足りヌコトダラウト
思フ、斯様ナ事デアリマスカラ、此點ニ
付テ商工省ト云フモノハ如何ノ御考ヲ
持ッテ居ルカ、又内地ニ於テモ其通り、
現ニ朝鮮向ノ織物ハ皆支那カラ這入ッ
テ來ル、朝鮮人ノ趣味ニ適シテ居ル所
ノ絹織物ハドウシテモ日本ノ絹デハ
イカナイ、アノ「ジクン」トカ或ハ硬イ
所ノ絹ト云フモノハ皆支那絲デナケレ
バ出來ナイ、何トカシテ朝鮮ニ向ク所
ノ絲ヲ拵ヘヤウトシテモ出來ナイ、支
那ノ七里絲ノヤウナ、アア云フ性質ノ
絲デナケレバ出來ナイ、サウ云フモノ
ヲ拵ヘヤウトシテモドウモ出來ナイ、
故ニ海外ニ輸出スル所デハナイ、内地
ノ朝鮮向ノ織物ヲ拵ヘルニモ支那ノ絲
ガ這入ッテ來ナケレバ出來ナイ、幾ラ税
金デ保護シテモ原料ヲ仰ガナケレバ出
來ナイト云フコトハ、是ハ絹織物ノ爲

ニ遺憾ナコトデア、性質ノ同ジモノハ海外ノ紉育ニ於テ表ガ決ッテ居ルガ、支那ノ絲ハ必ズ安クナイ、吾ミガ入レタイト云フノハ性質ノ上ニ於テ入レタイノデ、價格ノ上ニ於テ入レタイノデハナイ、斯ウ云フコトデアリマス、是ハ農林省ノ政府委員ガ御出デスカラ能ク御聽取ヲ願ヒタイ、併シ之ヲ私ガ言フヨリハ斯ウ云フコトヲ説明シテ、農林大臣ニ是デ宜シイト言ハセルノハ商工省ノ責任デア、私ハ商工省ヘ幾度行ツテ居ルカ知レナイ、小山君ノ如キハ私議論ニ決シテ不賛成デハナイ、能ク事情ヲ知ッテ居ルケレドモ、其事情ヲ知ツテモ未ダ此事ガイカナイト云フコトハ、商工省ト云フモノハドウ云フ内部ノ關係ガアルカ知ラヌガ、努力ガ足リナイト思フ、一段ノ努力ヲ願ヒタイ、故ニ農林省ガ能ク御分リデアラナラバ、是ハ二割五分ト云フモノヲ省クカ、今此場合農林省ニ向ッテ此絹織物業者ガ税金ノ撤廢ヲ決議スルト云ッテモ、今ココデ迷妄ヲ開クト云フコトハムヅカシカラウト思フ、是デハ全ク違フ、當業者ノ希望——絹織物ニ課シテ居ルノハ宜シクナイト云フコトヲ商工省ノ中ニ於テ是非共農林省ニ御交渉ヲ願ッテ、事實ヲ御話ヲ願ヒタイ、吾ミノ意見ヲ附スルノハ姑ク措キマスルガ、御考慮ヲ願ヒタイ、是ダケノコトヲ申シテ置キマス

○加藤委員長 何カ御答ガアリマスカ
○桐瀬政府委員 承ッテ置キマス

○加藤委員長 商工省ハ御演說ノ趣ヲ承ッタト云フコトデアリマス、ソレデハ長田君、今農林次官ガ出タカラ……
○長田委員 農林次官ニ伺ヒタイ、二百九十ノ人造絹ガ問題ニナッテ居ルノデハ、今飯塚先生ノ御演說——御質問ニ依リマシテモ此人造絹絲ガ絹織物ノ範圍ヲ蠶食シテ行クト云フコトハ、モウ是ハ議論デハナイ事實ダト、斯ウ斷定シテ居ル、私モ實際其通りダト思ッテ居リマス、併シ農産物ノ方ノ側カラ養蠶獎勵ヲスル、アノ位置ニ立ッテ、今日モ農林省ハ矢張亞米利加ニ於ケル生絲ノ販路ハ將來無限デア、今日歐米ニ於テ最モ旺盛デア、所ノ人造絹絲ノ生産ハ事實デア、是ハ絹綿交織ニシテ始メテ需要ガアル譯デアッテ、其需要範圍ハ寧ろ綿織物ノ範圍ヲ侵スモノデアッテ、絹織物ノ範圍ヲ侵スモノデハナイ、故ニ安心シテ養蠶ヲスルガ宜シイト云フコトデ、實際其言葉ヲ、何處カラ出タノ力知ラヌガ金科玉條トシテ養蠶ヲ勸メテ居ルヤウナ譯デア、養蠶モ一年ヅツノモノデアリマスケレドモ、御承知ノ通りニ桑カラ用意セナケレバナラヌノデアリマスカ、ソレヲ勸メテ居ルノデアリマスルガ、果シテ飯塚代議士ノ御意見ノ如ク、又吾ミガ實際ニ日本ニ於テ見テ居ル如クデアリマスルナラバ此議論ハ根柢ニ誤リガアッテ、矢張絹織物ノ範圍ヲ蠶食シテ行クモノト思ハレル、今飯塚氏ハ、併シソレトモ心配

スル要ハナイ、亞米利加モ歐羅巴モ人口ハ殖エテ行ク、日本ノ人口モ殖エテ行ク、ソレニ伴レテ絹織物ノ需要モ殖エテ行クノダカラ安心シテ宜イト云フコトデアリマスルガ、ソレダケデハ養蠶ノ方ノ側ニ於テハ不安ニ感ジテ居ルカラ、ソレデ農林省ハ此事實ナリ、飯塚君ナドノ言ハレル有力ナ御意見ハ御認メニナリマス、亞米利加ニ於テモ人造絹絲ナルモノハ矢張絹織物ノ範圍ヲ蠶食シテ行クモノナリト云フ御考デアリマセウカ伺ッテ置キタイ

○小山政府委員 人造絹絲ガ近年其研究技術ノ進歩、隨テ品質ノ改良等カラ著シク需要ノ増加ヲ見マシテ、現在世界ノ生絲產額トシテ推定ノ數ニ比較シテ見マスレバ、人造絹絲ガ漸ク極ク僅カ、四十年此方ノ研究發達カラ見マシテ、天然絹絲ヨリモ寧ろ人造絹絲ノ方ガ其數ガ凌駕シテ居ルト云フヤウナ趨勢ガ現レルト認メマス、之ニ就キマシテハ洵ニ我ガ輸出貿易ノ殆ド——十四年度ハ八億八千萬圓ニモ達シマスル所ノ天然絹絲、即チ生絲貿易ノ將來ト云フコトカラ見マシテモ、深ク此將來ヲ考慮研究ヲ致サナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、而シテ人造絹絲ノコトニ付キマシテハ是ハ商工省ノ當局ヨリ御說明ヲ申上ゲマシタコトト考ヘマス、ソレデ御諒承ニナッタコトト存ジマスルガ、農林當局ト致シマシテハ、只今申上ゲマシタヤウナ趨勢ヲ見マシテ、而シテ我國ノ生絲ノ對策ト云フモノニ付テハ研究ヲ怠ラヌノデアリマス、併シ人造絹絲ガ殊ニ歐洲大戰後著シク進歩發達ヲ遂ゲマシテ、只今申上ゲルヤウナ天然絹絲トノ間ノ接近ヨリモ寧ろ凌駕シテ居ルト云フヤウニナッテ參リマシタノデアリマス、其用途ヲ見マスルト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、即チ人造絹絲ノ發達及此需要ハ木綿、毛布、天然絹絲此三ツノモノト竝立シテ參ルベキモノデア、而シテ人造絹絲ト天然絹絲トハ一見シテ其用途ガ同ジヤウナ風ニモ考ヘラレマスケレドモ、實際ニ之ヲ使用シテ居リマスルモノノ狀態カラ、又供給ヲ致シテ居リマスル所ノ其事情カラ見マスルト、只今申上ゲマシタヤウニ、寧ろ木綿織物ノ方ニ其用途ガ廣マッテ行クノデハナイカ、同時ニ毛織物、天然絹絲ノ方ニモ其影響ノアルベキコトハ無論研究シテ居ナケレバナラヌノデアリマスガ、要ハ只今申上ゲマシタヤウニ、木綿、毛布、天然絹絲、而シテ人造絹絲ト竝ンデ進ンデ行クモノデア、斯ウ吾ミハ觀テ居ルノデアリマス、然ラバ天然絹絲ノ我國輸出ノ將來及養蠶業ノ將來ノ對策ニ於テ、餘リ多ク懸念スル所ハナイカト云フコトニナラウト思ヒマスガ、我國ノ養蠶業ノ發達ト、而シテ我國ノ生絲貿易ノ過去ヲ見マシテ、非常ナル其増加ヲ致シテ居ルノデアリマス、例ヘバ大正十四年繭ノ產額ハ七千六百萬貫デ

大正十四年繭ノ產額ハ七千六百萬貫デ

アリマシテ、明治三十三年カラ三十七年、五箇年平均ニ比シマシテ、十八割ノ増加ヲ致シテ居リマス、而シテ之ヲ飼育季節ニ分ケテ見マスルト、春蠶ハ十二割ノ増加デアリマス、ソレカラ夏秋蠶ハ三十一割ノ増加デアリマス、御手許ニ差上ゲテ置キマシタ農林省ノ統計ヲ御覽下サイマスレバ、其點ハ更ニ詳細ニ明瞭ニナラウト思ヒマスカラ、是ハ申上ゲマセヌ、斯様ナ次第デ我國ノ生絲貿易ハ著シキ進歩發達ヲ致シテ居リマス、併シ此所ニ特ニ注意ヲ致サナケレバナラヌコトハ、生絲業ト申シテモ、要スルニ其内容ハ三ツデアラウト思ヒマス、即チ養蠶業ニ屬スルモノハ是ハ農業ノ類別ニ入り、而シテ生絲ニ屬スルモノハ工業ニ入り、而モ其生産ヲ海外ニ出シマスルモノハ商業ノ範圍ニ屬サウト思ヒマスカラ、農業、工業、商業、此三ツヲ兼ネテ居リマス所ノ我國ノ大切ナル生絲ノ將來ノ對策トシテハ、此何レノ方面ニモ相當ノ努力ヲシテ行カナケレバナラナイト考ヘテ居ルノデアリマシテ、是ガ爲ニ農林省ノ最モ力ヲ注ガナケレバナラヌノハ養蠶業デアリマス、而モ其養蠶業ノ更ニ農業方面ノ重要ナル點ト見ラレマスノハ、即チ桑園ノ問題デアリマス、桑園ノ改良、飼育ノ方法、而シテ蠶種、是等ニ付テノ研究及其當業者ノ技術進歩等ヲ促サナケレバナラヌノデアリマス、昨年五十議會ニ於テ農村振興費ノ中ノ御協賛ヲ

經マシタ繭ノ共同倉庫及乾繭裝置、是等ハ繭質ノ——絲ノ質ノ上カラ考ヘマシテモ、此施設ヲ大切トシテ諸君ノ御協賛ヲ得マシタ點デアリマス、又近ク此議會ニ提案致シマシテ諸君ノ御審議御協賛ヲ得タイト思ッテ居リマスルノハ、蠶絲業法ニ關スル所ノ改正法律案デアリマス、是等ハ主トシテ蠶種ノ方面ノ當局ノ調ベマシタ所ヲ申上ゲマシテ、而シテ御審議ヲ願ヒタイト考ヘテ居ルヤウナ譯デアリマス、製絲ノコトニ付キマシテ——即チ生絲ノコトニ付キマシテハ、我國ノ此操練業ガマダ——モウ少シ——モウ少シ所デハナイ、非常ニ努力シテ此方面ノ進歩發達、改良シナケレバナラナイト考ヘマス、一釜ニ付テ三捆半若クハ四捆ト云フガ如キ其生産能率デハ私共ハ決シテ生絲貿易ノ將來ニ付テ其當ヲ得テ居ルモノトハ考ヘマセヌ、殊ニ我國ノ物價ノ狀態、隨テ勞銀ノ騰ッテ參リマス所將來等カラ考ヘマシテモ、更ニ生産費ヲ低減シテ、以テ海外ニ於ケル市場ノ、我國ト將來或ハ考慮ノ中ニ入レナケレバナラナイト考ヘルヤウナ支那ニ於キマスル所ノ生絲ノ對策、又昨今當業者ノ中ニハ其點ノ研究ヲ怠ラナイヤウデアリマスガ、米國西海岸ニ於テル大規模ノ養蠶事業、是等ノコトカラ考ヘマシテモ、我國ノ生絲ノ此操練業ハ一釜カラ四捆、五捆、六捆ト云フ風ニ其能率ヲ上ゲテ行キタイト私共ハ考ヘテ居リマス、現ニ京都

ノ郡ニ製絲ノ如キハ、相當ノ成績ヲ舉ゲテ居リマス、又徳島縣ニハ僅カナ小サナ生絲業者デアリマスケレドモ、十捆以上ノ成績ヲ舉ゲテ居ルト云フヤウナ事ガアリマシテ、此點ハ當局ニ於テモ非常ニ考慮ヲ拂ヒマシテ、研究致シテ居ルヤウナ譯デゴザイマス、要ハ一釜カラ六捆七捆ト云フ風ナ能率ガ舉ッテ參リマスレバ、人造絹絲ノ發達ト將來ノ事ヲ考ヘマシテモ、只今申シマスヤウニ並立シテ參ルト思ヒマスカラ、我國ノ養蠶業ヲ益發達セシメ、農家ノ副業ト申シマシテモ——今日ハ副業ニハ相違アリマヌケレドモ、副業ヲ更ニ進メターツノ有力ナル生産物ニナッテ居ルノデアリマスカラ、當局トシテハ右申上ゲタ如クニ考ヘマシテ、此方面ノ努力ヲ怠ラズニ居ル譯デゴザイマス

○長田委員 ドウモ大變ニ詳シク御答辯ヲ得マシテ恐縮致シマシタ、之ヲ要スルニ人造絹絲ハ如何ニ發達致シマシテモ天然絹絲ヲ脅カサナイ、我が生絲貿易ハ益將來樂觀スベキモノダト斯様ニ了解シテ宜シウゴザイマスカ

○小山政府委員 人造絹絲ノ只今ノ研究ハ、農林當局トシテハ勿論天然絹絲ト相俟ッテ有力ナル對象物ト致サナケレバナラヌノデアリマスカラ、相當ニ研究ハ致シテ居リマスガ、此研究ノ結果ドウ云フ風ニナラウカト云フコトハ、商工省ノ方ノ御答辯ヲ煩シタイト

思ヒマスガ、農林省ト致シマシテハ只今申上ゲマスヤウニ、過去ニ於ケル需要ノ増加、及將來人造絹絲ガ如何ニ研究ヲ致シテ參リマシテモ、天然絹絲ト根本的ニ其性質ヲ異ニシテ居リ、殊ニ其需要ノ方面デハ、全ク別個ノ取扱ノヤウナ風ニ迎ヘラレテ居ルノデアリマスカラ、私ハ我國生絲貿易ノ將來ガ、人造絹絲ノ發達ガアリマシテモ、決シテ前途ヲ悲觀致シテ居リマセヌ

○加藤委員長 ソレデハ第八類ノ質問ハ是デ終了致シマシタ、今日ハ第九類ニ入りタイト思ッタノデアリマスケレドモモウ時間ガ五時ニナリマシタカラ是デ散會ヲ致スコトニシマス、但シ第九類ニ付テハドウゾ質疑ノアル方ハ豫メ今日御通告ヲ願ヒマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後四時五十一分散會

大正十五年二月十八日印刷

大正十五年二月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社